

みんなの こえで みんなを げんきに

● コロナ×こどもアンケート

コロナ×こどもアンケート 第1回調査 報告書

2020年6月22日
修正 2021年4月5日
修正 2023年12月18日



コロナ×こどもアンケート報告書

はじめに.....	3
調査について	4
調査結果.....	5
基本属性.....	5
回答者人数と回答日	5
学年.....	6
性別.....	7
居住地域	8
保護者のこどもとの関係性	9
特別支援	9
家庭の状況	10
家族構成	10
家庭の状況.....	14
新型コロナウイルス（コロナ）関連	18
家庭内でのコロナ感染者.....	18
コロナに関するメディアおよび知識.....	19
コロナに関する知識.....	20
外出自粛状況	21
受診状況	22
コロナについての困りごと	24
経済状況について.....	28
学校・勉強・友人への連絡状況.....	29
登校・登園（保護者・こども）	29
勉強.....	30
友だちとの連絡	33
外出頻度・運動・スクリーンタイム・生活リズム	34
外出.....	34
運動.....	36
スクリーンタイム	38
生活リズム.....	40
こどもが家にいるときの状況.....	41
こどもたちの健康と生活の質（QOL）	42
0～2歳児の健康状態.....	42
3～17歳児の生活の質（QOL）	45
ストレス反応.....	60

症状.....	60
継続期間および影響.....	67
親子の関わり.....	69
好ましい関わり.....	69
好ましくない関わり.....	74
保護者のメンタルヘルス.....	78
こころの状態.....	78
保護者のストレスケア.....	79
こどもたちが必要としている支援や情報.....	80
相談したいこと.....	80
保護者が必要としている支援や情報.....	81
こどもたちの声.....	84
知りたいこと・ほしいもの.....	84
本調査への意見.....	87
保護者の声.....	91
知りたいこと・必要なもの.....	91
本調査への意見.....	97
おわりに.....	98

はじめに

今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックによる社会混乱において、こどもたちは、おとな社会での様々な規制よりも大幅に先行して、3月はじめから休校要請の影響を受けました。多くのこどもたちが、学習だけでなく、発達に重要な交友の機会や運動の機会などを奪われることになってしまいました。その後、COVID-19流行拡大に伴い、全国で緊急事態宣言が発出され、異例の外出自粛・長期臨時休校／休園という状況になりました。緊急事態宣言解除後、6月現在もなお、以前の生活には程遠いと感じている人も少なくないと思います。今後の生活がどうなっていくのか、誰も正確に予想することができない状況です。おとなたちと同様に、もしかしたらそれ以上に、こどもたちも、不安や困りごとを抱えているのかもしれないかもしれません。おとなと比べて、社会に声をあげることが難しいこどもたちは、いまどのような状況に置かれているのでしょうか。おとなたちは、こどもたちのために何ができるでしょうか。

私たち【コロナ×こども本部】は、このような状況下であってもこどもたちの心身の健康や権利が損なわれることは最小限にとどめなければならない、という強い気持ちでつながった、研究者・医師らの集まりです。2020年春に、こどもたちと保護者の様子をたずねる第1回全国オンライン調査【コロナ×こどもアンケート】を実施し、多くの方にご協力いただきました。その中間解析結果は、一般向けのほか、教育機関や保育機関などに向けて公表してきました。こどもたちや保護者、こどもたちと関わる様々な方々に知っていただきたい・一緒に考えていただきたいことがたくさんあったからです。

本報告書では、この第1回調査の全体の結果をご報告させていただきます。お時間のない方もぜひ、終盤の「こどもたちの声」だけでもお読みいただくと幸いです。こどもたちが何を考えているのかを知ることで、きっと、感じること、見えてくるものがあるはずです。私たちも、調査の解析・分析を通して、こどもたちからたくさんことを学んでいます。

こどもたちの支援に取り組まれている多くの方々の一助となりましたら幸いです。

2020年6月22日

国立成育医療研究センター コロナ×こども本部 一同
co_kodomo@ncchd.go.jp

調査について

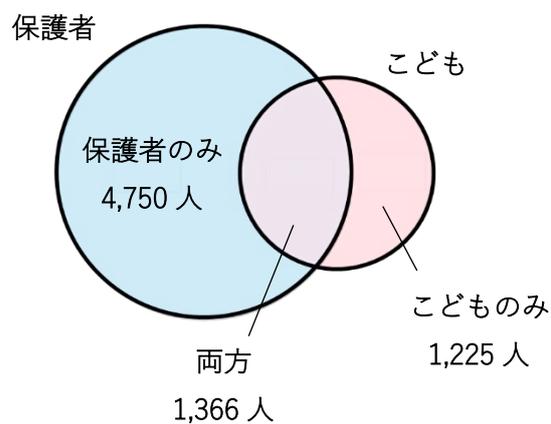
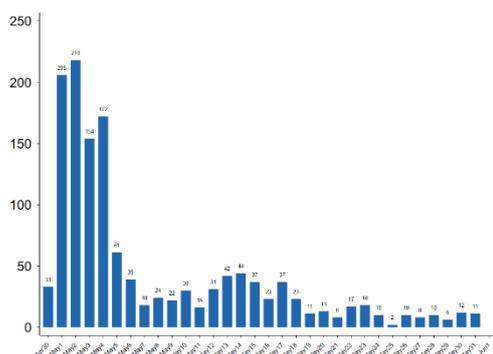
- 実施主体
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター コロナ×こども本部
(http://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/index.html)
- 実施時期
2020年4月30日～2020年5月31日（※6月1日未明まで回答受付）
- 対象
(1) 7～17歳のこども (2) 0～17歳のこどもの保護者
- 実施方法
インターネット調査
- リクルート協力団体
Yahoo!きっず（ヤフー株式会社）
産婦人科オンライン・小児科オンライン（株式会社 Kids Public）
- 調査概要
 - ・ こどもが未就学児（6歳以下）の場合には保護者に回答を依頼した。
 - ・ こどもが小学生以上（7歳以上）の場合には、こどもだけ、保護者だけ、あるいはこどもと保護者両方に回答を依頼した（回答者が選択した）。
 - ・ こどもと保護者両方の場合には、はじめに保護者、続いてこどもが回答した。家族構成など共通部分する部分は保護者だけに回答を依頼した。
 - ・ こどもを対象とした調査票は年齢により3段階のふりがなレベルを設定した。
 - ・ 調査内容は、基本属性、家庭の様子、生活の様子、健康・生活の質（Quality of Life）、ストレス反応、親子の関わりや家庭でのトラブル、保護者のメンタルヘルス、困りごとやニーズなど。
- 調査財源
厚生労働科学研究
「児童・思春期精神疾患の診療実態把握と連携推進のための研究」
国立成育医療研究センター社会医学研究部裁量経費

調査結果

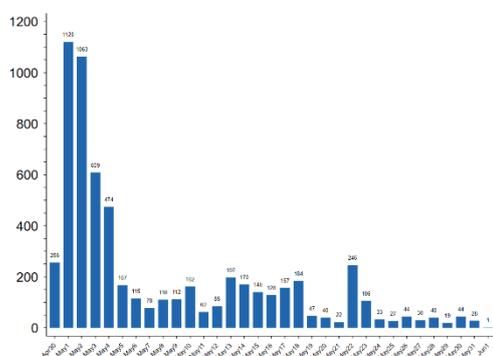
基本属性

回答者人数と回答日

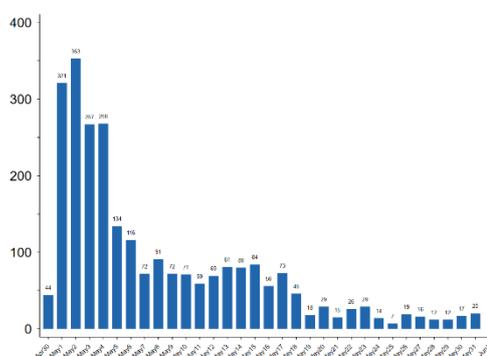
保護者・こどもいずれか (7,341 回答)



保護者 (6,116 人)



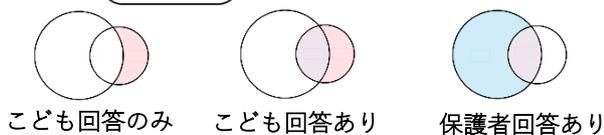
こども (2,591 人)



- ・保護者 6,116 人、こども 2,591 人、あわせてのべ 8,707 人から回答を得た。
- ・保護者とこども両方での回答は、1,366 組だった。

・以下、**こども** はこどもによる回答、**保護者** は保護者による回答を表す。

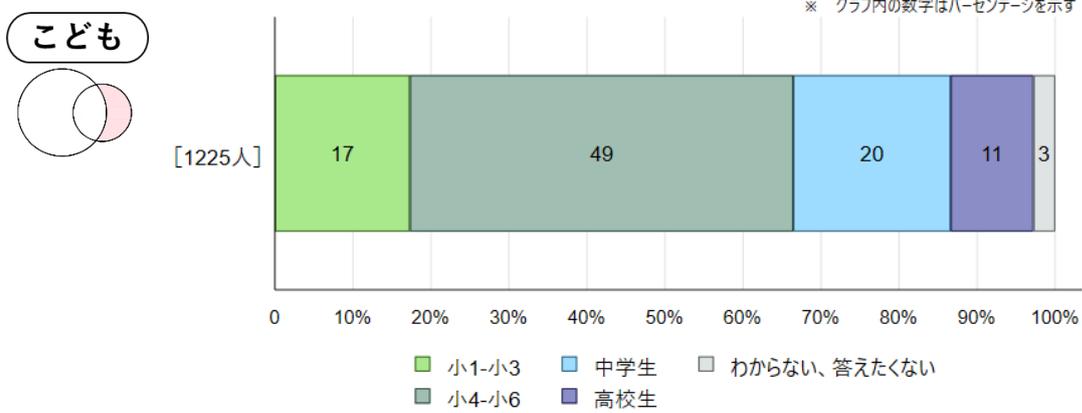
・質問による対象者をベン図で示す。



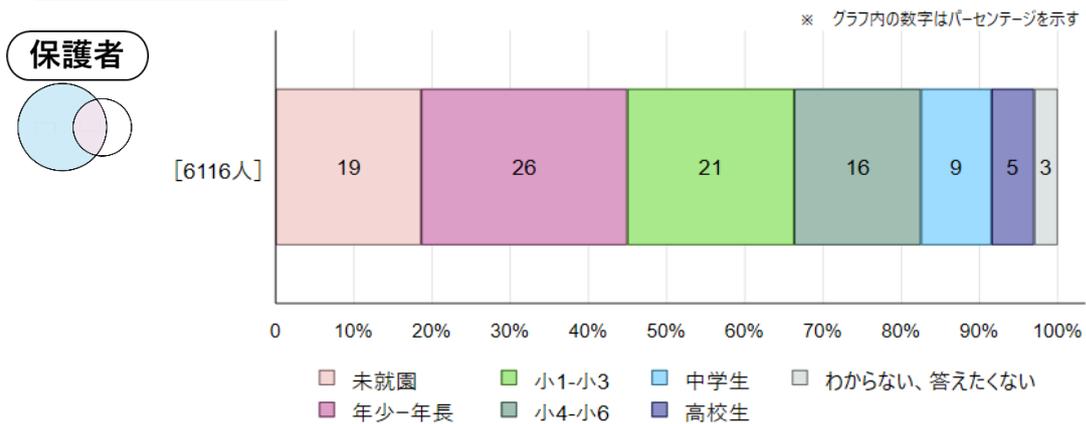
・回答中断などにより質問によって回答者数が異なる。

学年

あなたの学年は？/お子さまの学年を教えてください。

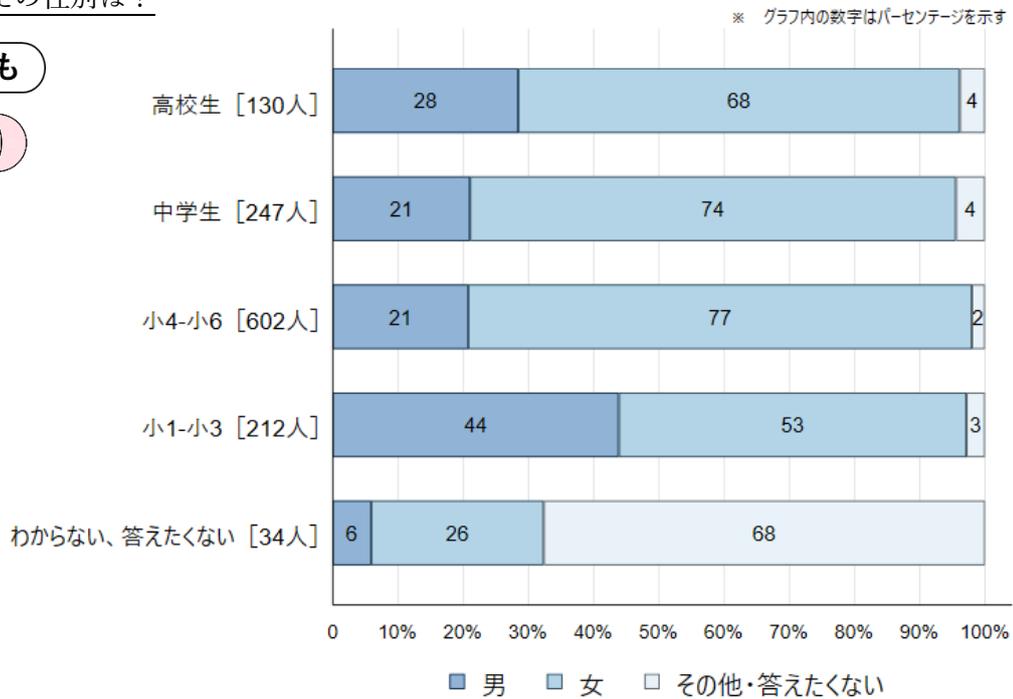
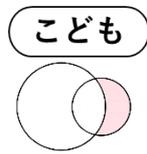


お子さまの学年は？ (保護者回答ありの 6,116 人)

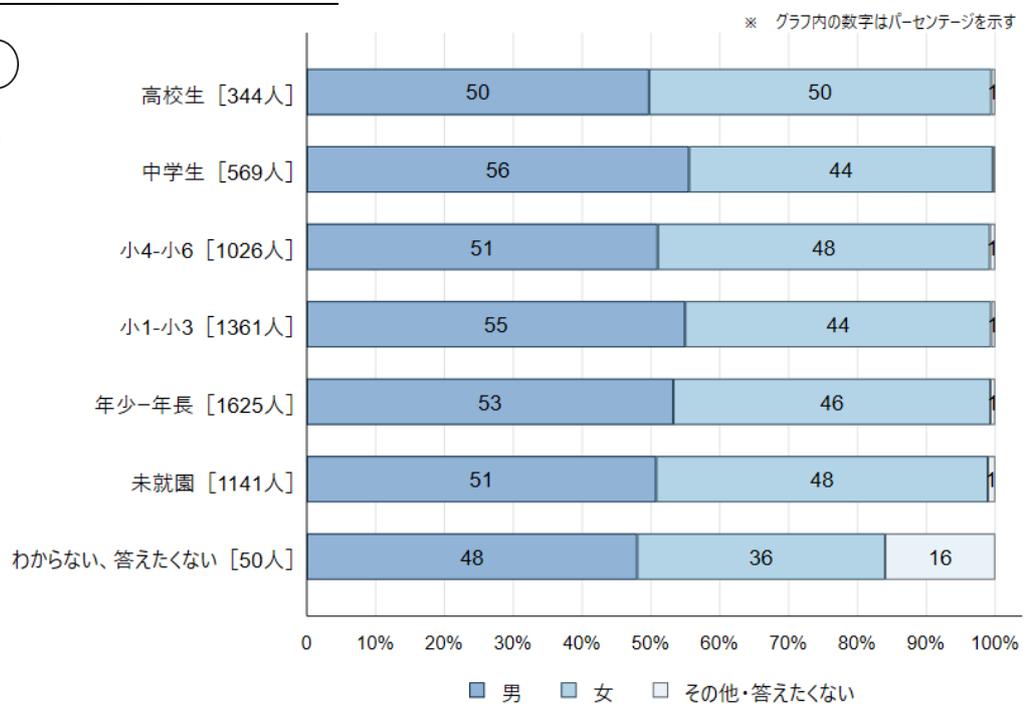
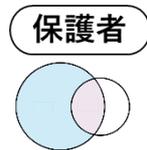


性別

あなたの性別は？



お子さまの性別を教えてください。(保護者のみ・両方回答者対象)

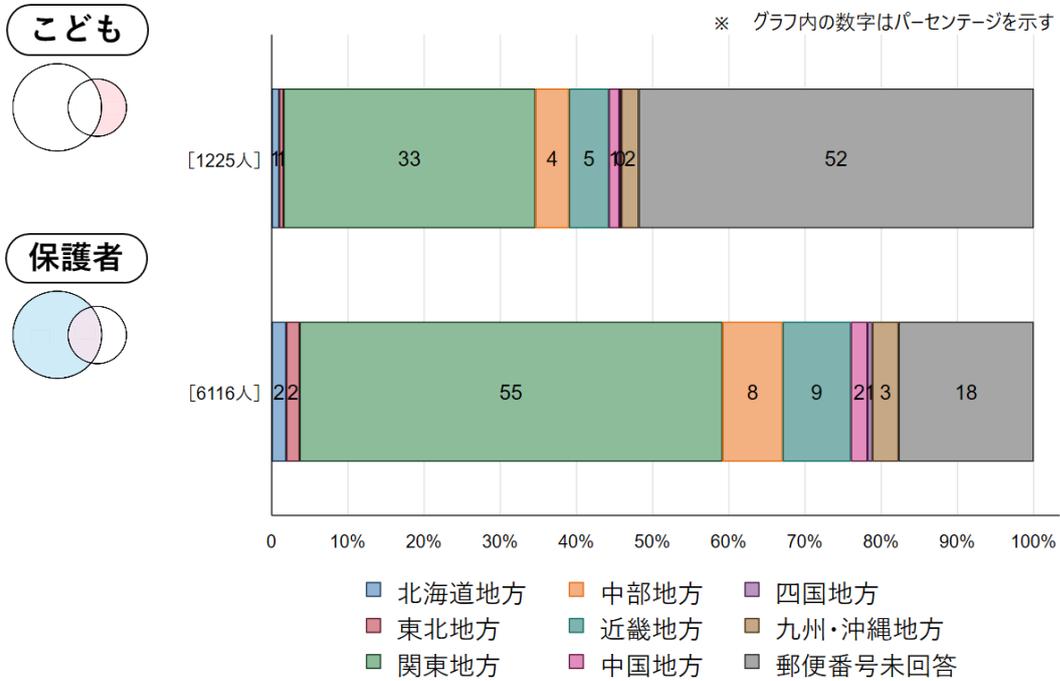


- ・ こどもの回答者は、男子が全体の25%、女子が70%だった。
- ・ 保護者の回答では、男子の保護者が53%、女子の保護者が46%だった。

居住地域

郵便番号を7桁の数字で教えてください。

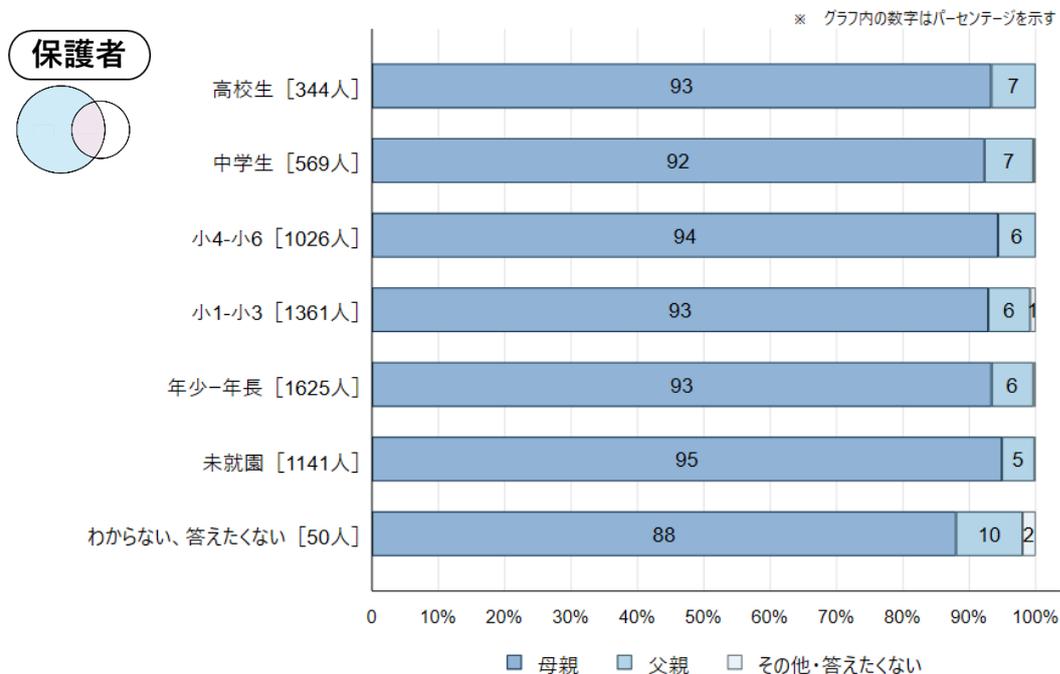
(わからない・答えたくないときは9999999と入力してください。)



- ・全体の77%から回答が得られ、そのうち68%が関東在住だった。
- ・居住地域は郵便番号から同定した。

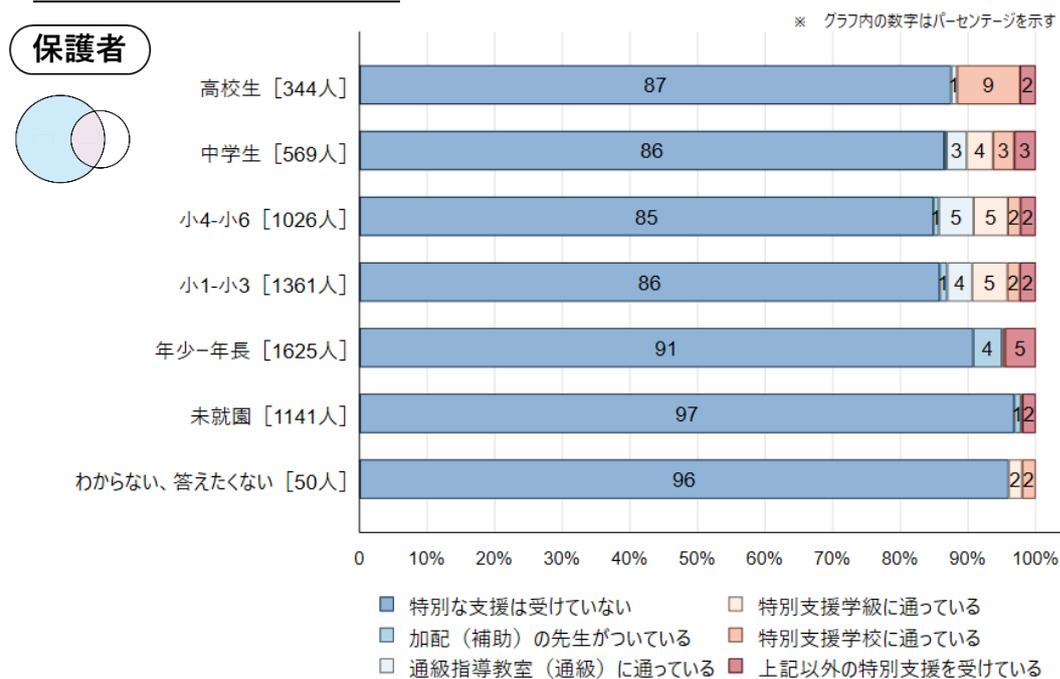
保護者のこどもとの関係性

お子さまとの関係を教えてください。



特別支援

お子さまは、学校または園で、健康上や行動面の問題などに対する特別支援を受けていますか？（保護者のみ）

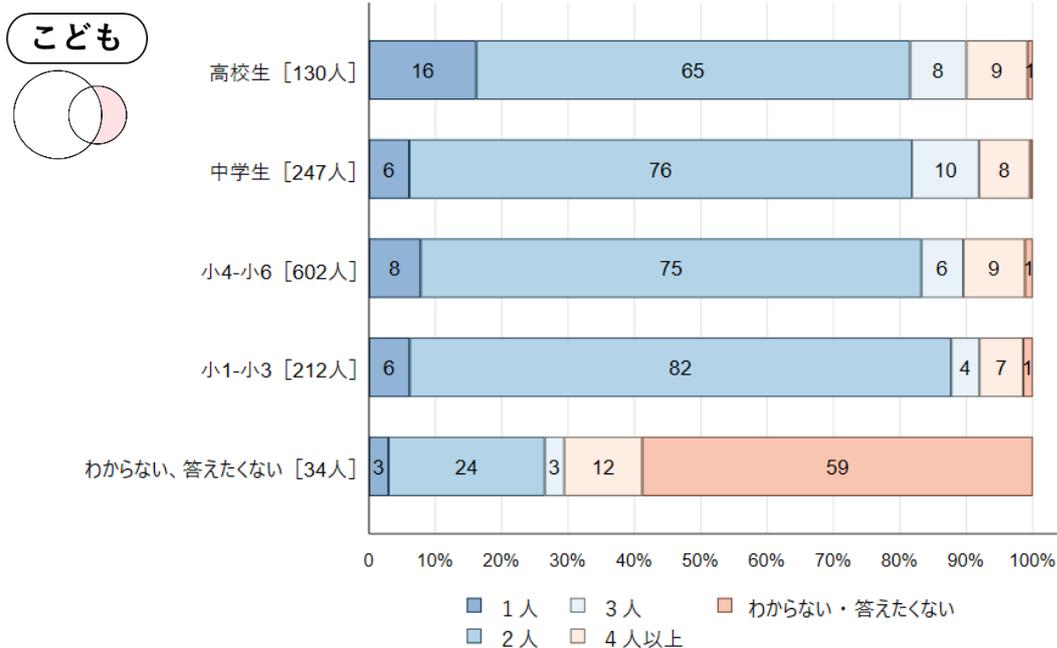


家庭の状況

家族構成

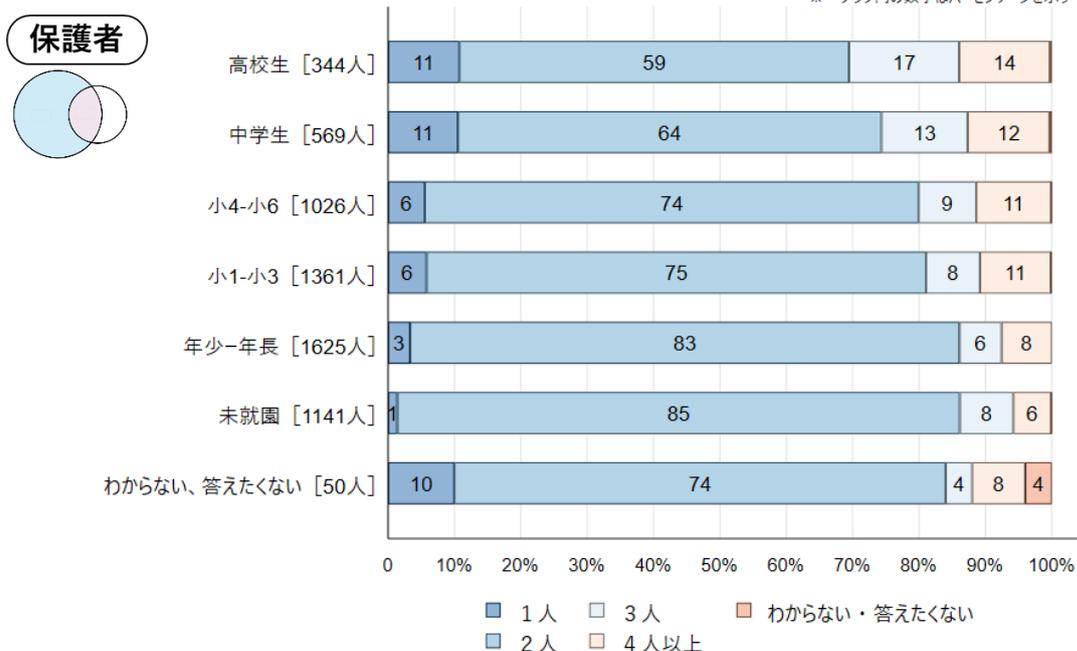
いっしょに住んでいるおとなは何人いますか？

※ グラフ内の数字はパーセンテージを示す



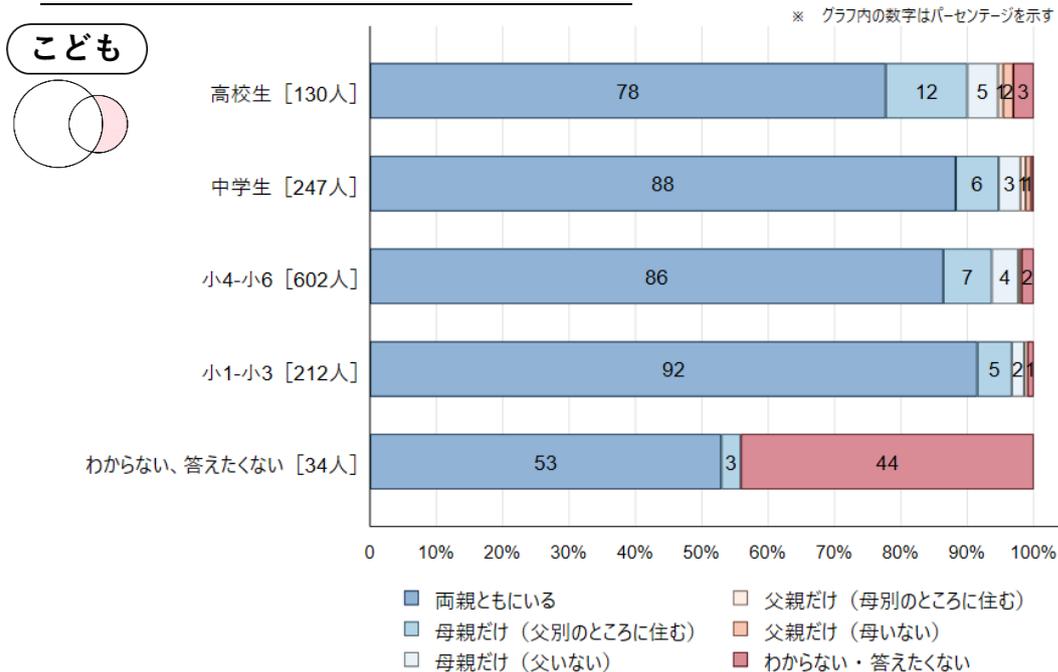
お子さまと同居しているおとなは、あなたも含めて何人いますか？

※ グラフ内の数字はパーセンテージを示す

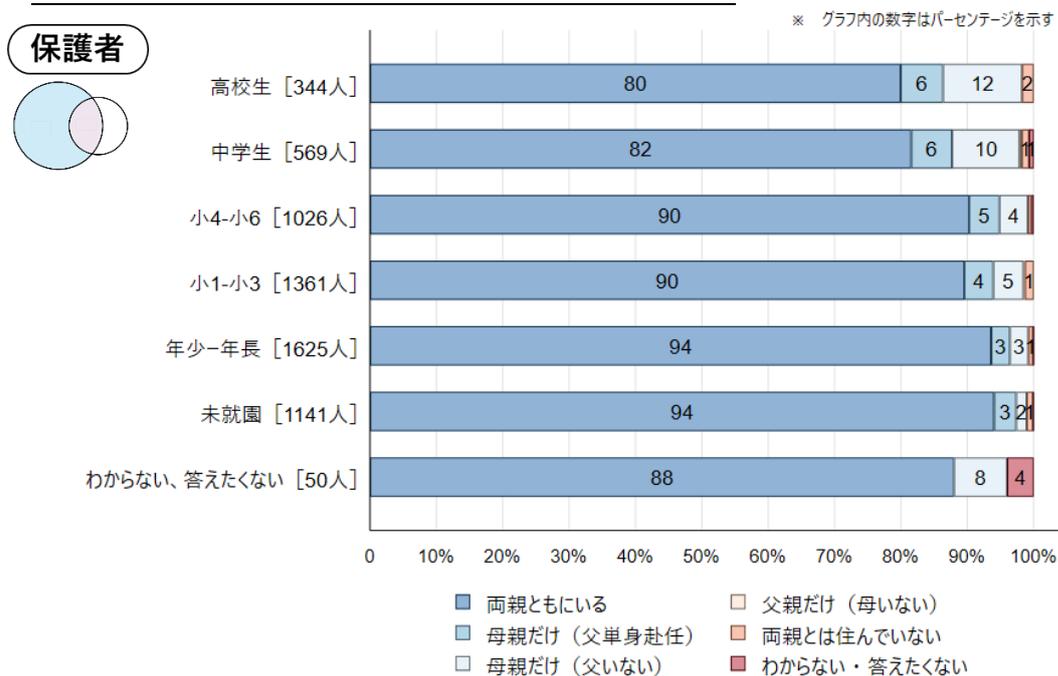


- ・一緒に住む大人の人数は「2人」が全体の76%だった。
- ・「1人」と回答したのは全体の6%だった。

お父さん、お母さんと一緒に住んでいますか？

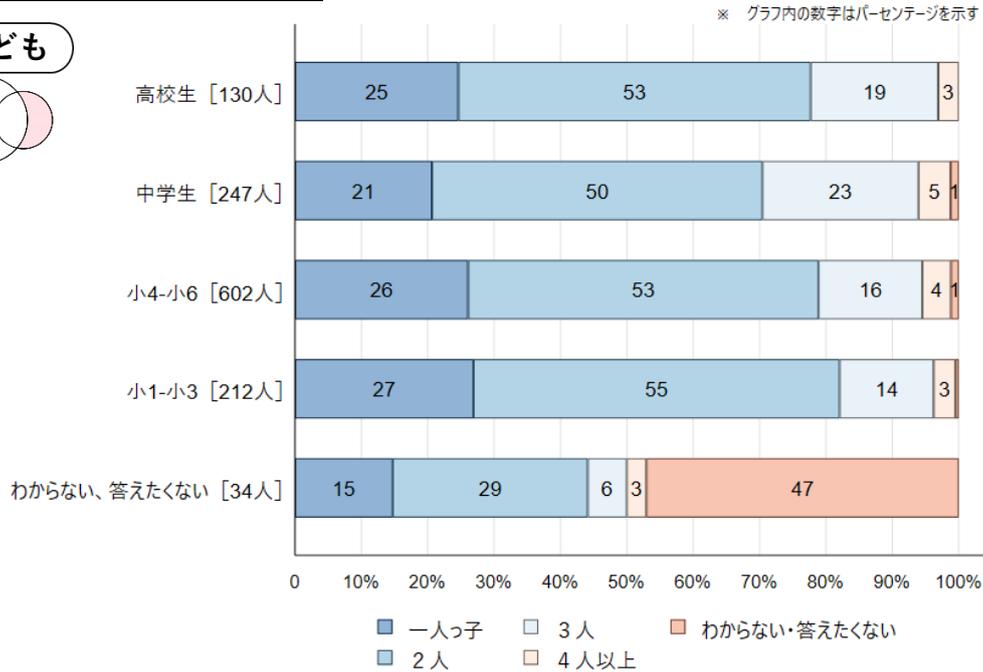
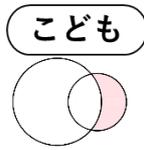


お子さまの両親は、お子さまと一緒に住んでいますか？

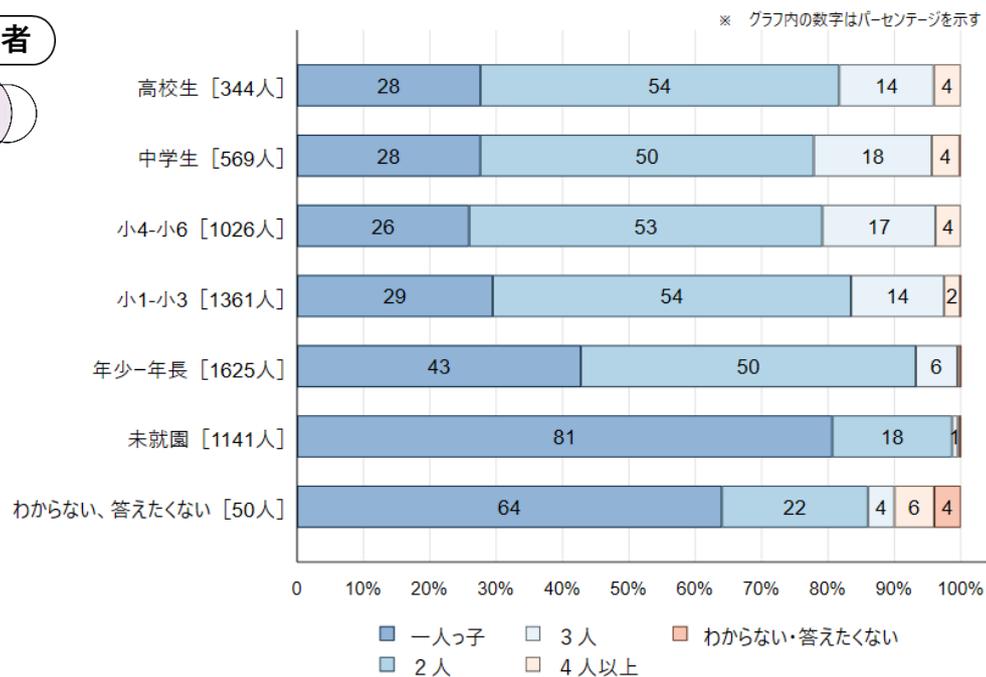
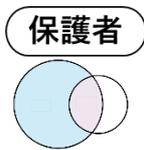


- ・ こどもの両親との同居について「両親ともにいる」と回答したのは全体の90%だった。
- ・ 中学生、高校生で「両親ともにいる」と回答したのは82%だった。

きょうだいは何人いますか？

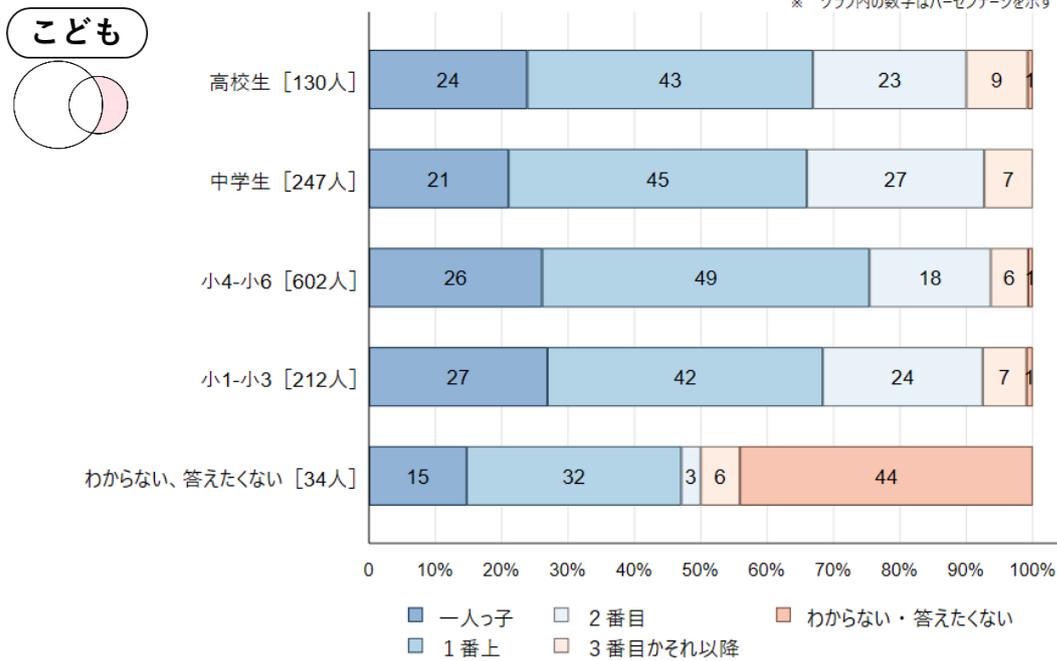


お子さまにきょうだいは何人いますか？

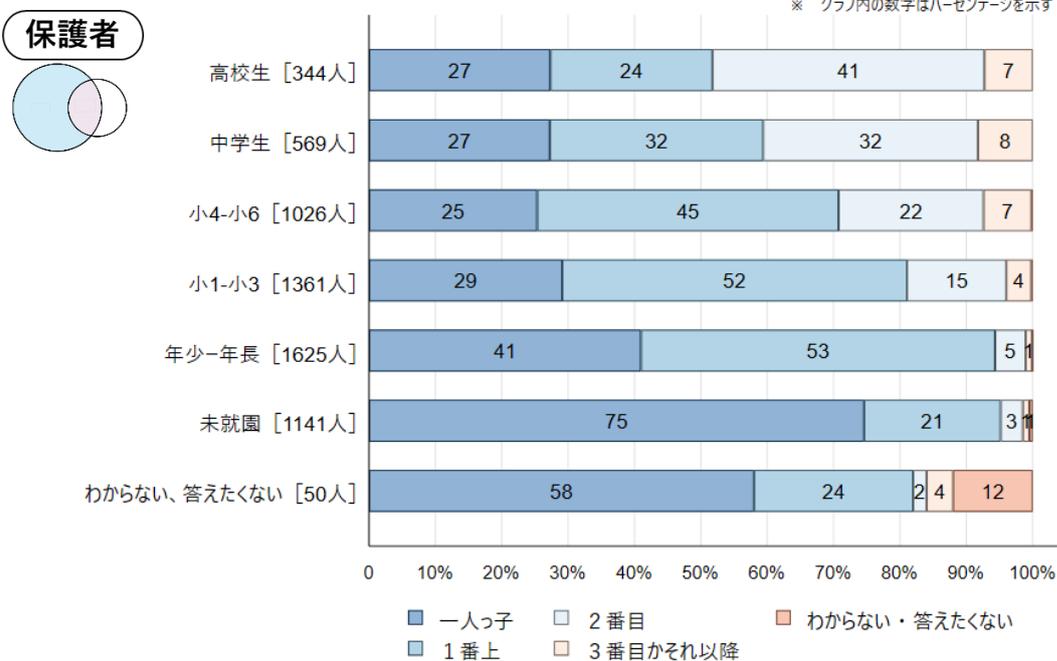


・全体では「1人」「2人」「3人」「4人以上」が各々39%、47%、11%、2%だった。

あなたはきょうだいの中で何番目？



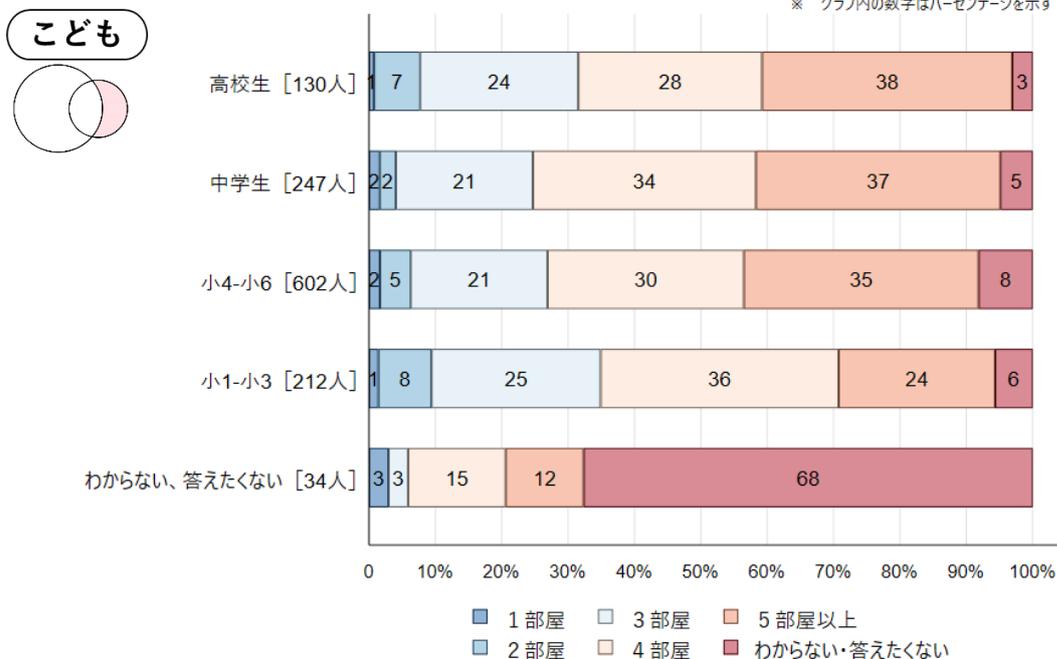
お子さまはきょうだいの中で何番目ですか？



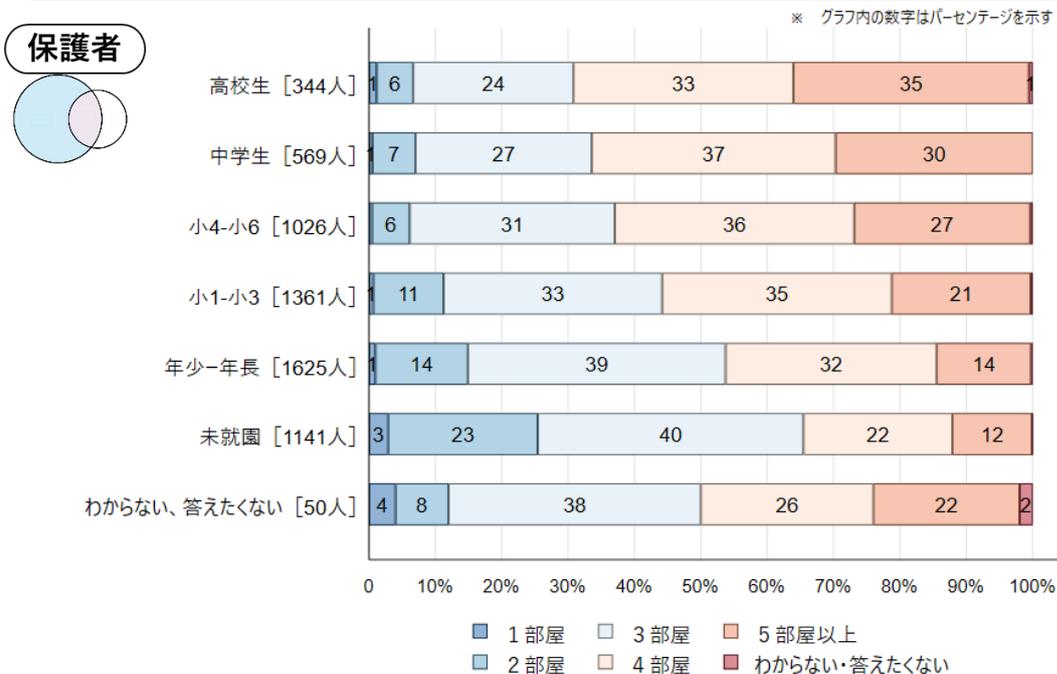
- ・「一人っ子」の回答が全体の38%だった。
- ・「一番上」「2番目」「3番目かそれ以降」は各々42%、15%、4%だった。

家庭の状況

うちにお部屋はいくつありますか？（キッチン、お風呂、トイレなどは数えません）

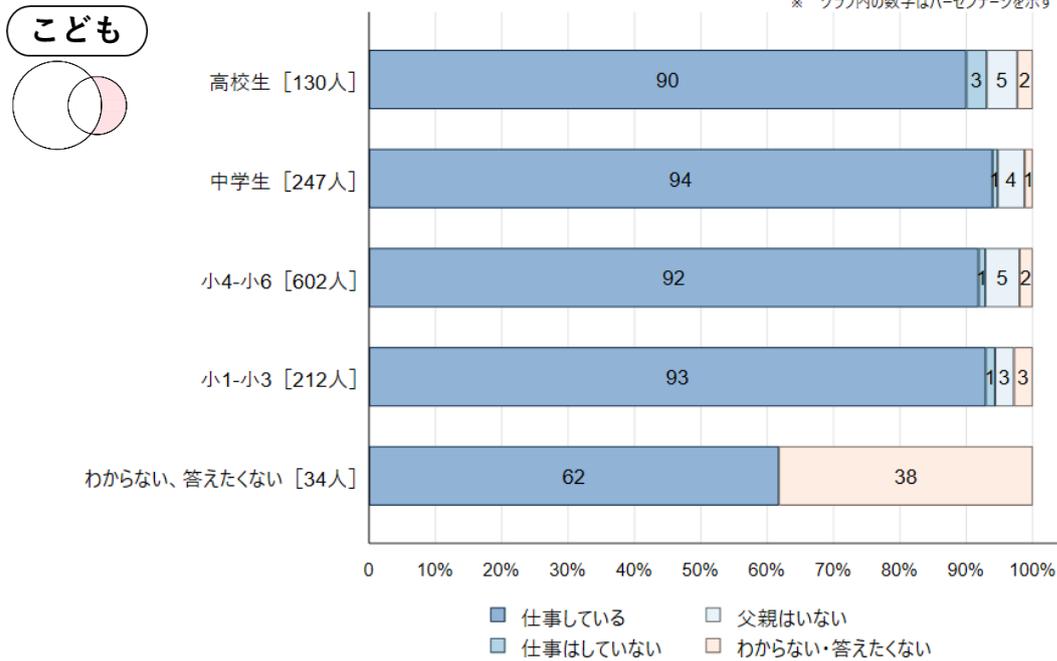


家には部屋はいくつありますか？（※キッチンや浴室・トイレなどは数えません）

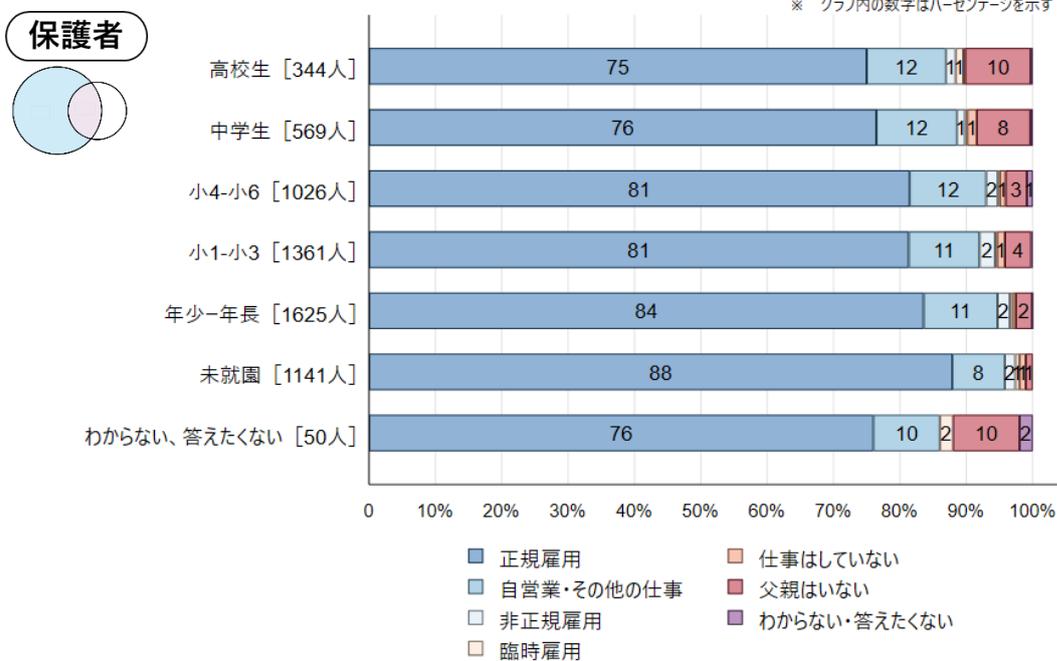


・全体では「3部屋」「4部屋」がいずれも32%、「5部屋以上」が22%だった。

お父さんはふだんお仕事をしていますか？

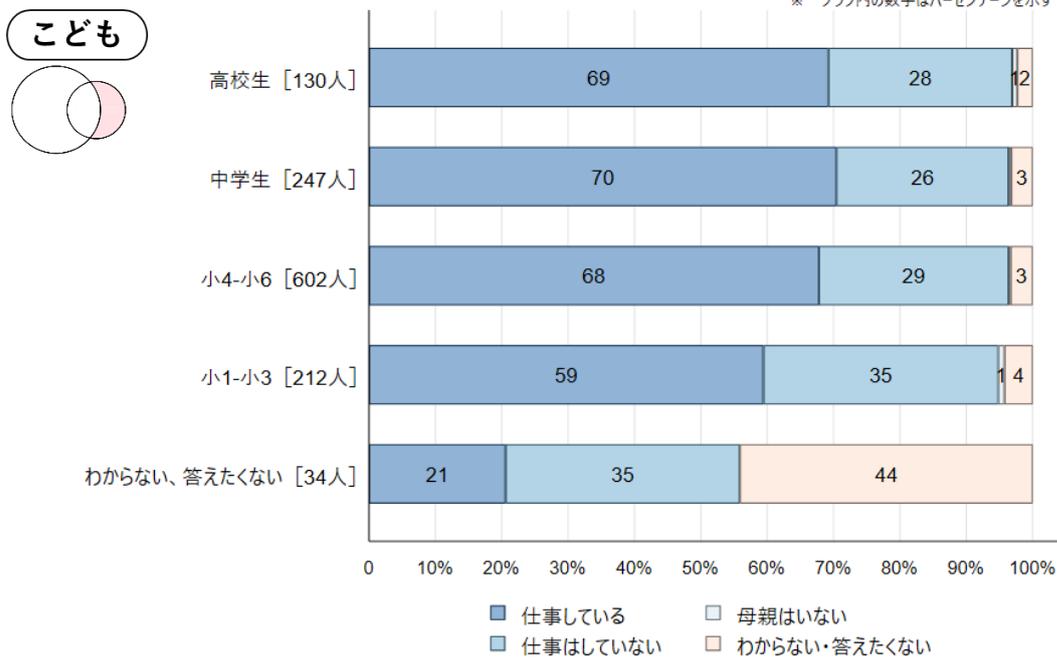


お子さまのお父様の就労状況を教えてください。

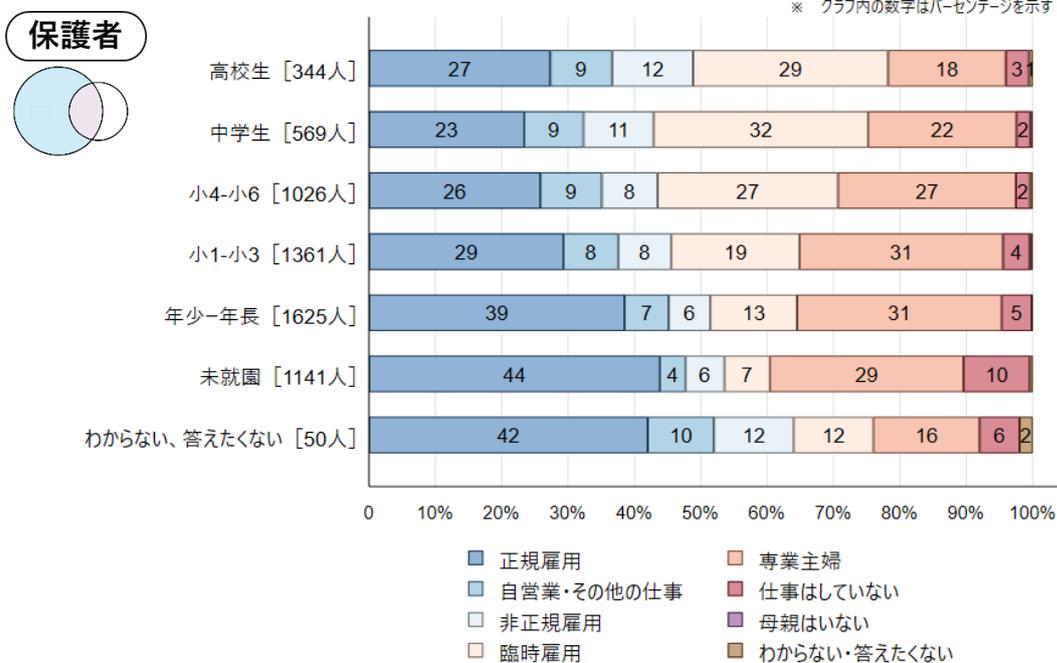


- ・ こどもの回答では「(お父さんは) 仕事をしている」が全体の91%だった。
- ・ 保護者の回答では、「正規雇用」が82%、「自営業・その他の仕事」、「非正規雇用」、「臨時雇用」が各々11%、2%、0.5%だった。

お母さんはふだんお仕事をしていますか？

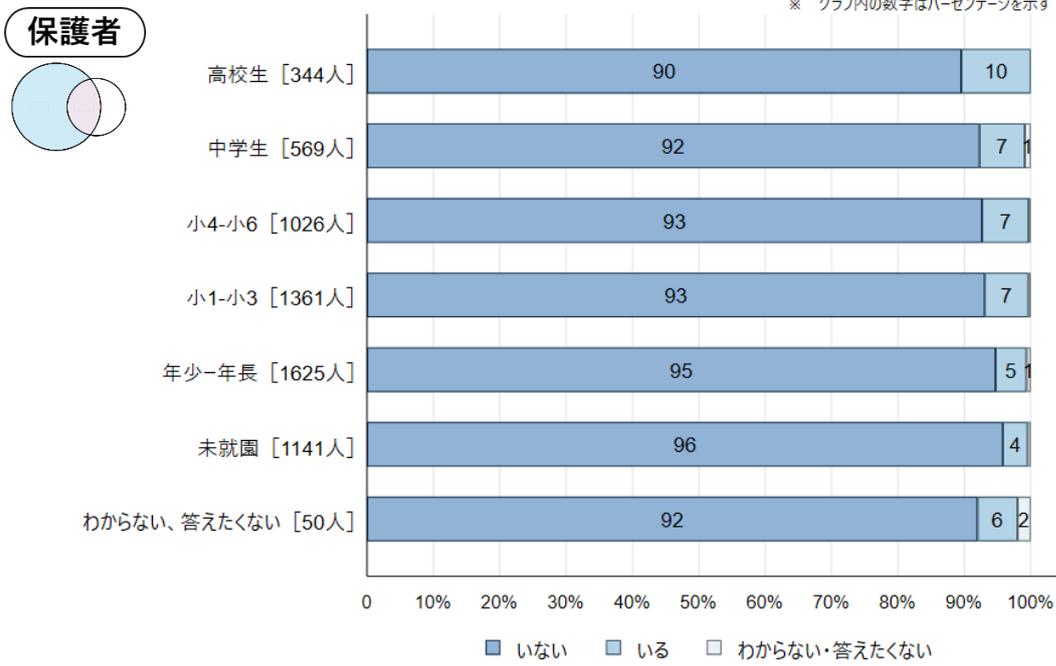


お子さまのお母様の就労状況を教えてください。



- ・こどもの回答では「(お母さんは) 仕事をしている」が全体の66%だった。
- ・保護者の回答では、「正規雇用」が33%、「専業主婦」が28%、「自営業・その他の仕事」、「非正規雇用」、「臨時雇用」が各々7%、8%、18%だった。

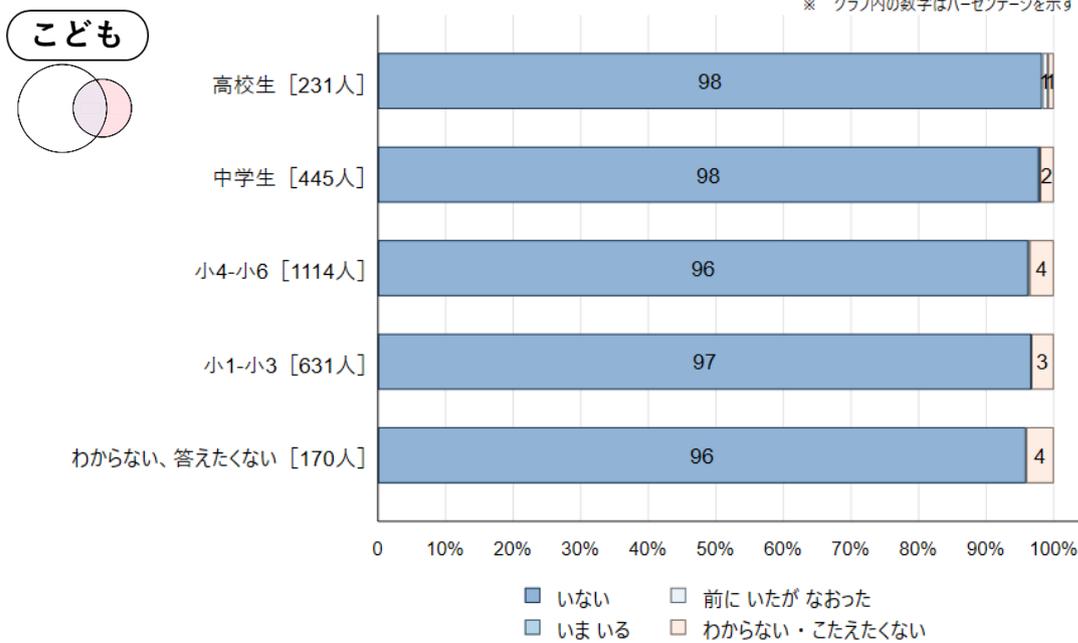
お子さまと同居されているご家族で、介護や医療的ケアが必要な方はいますか？



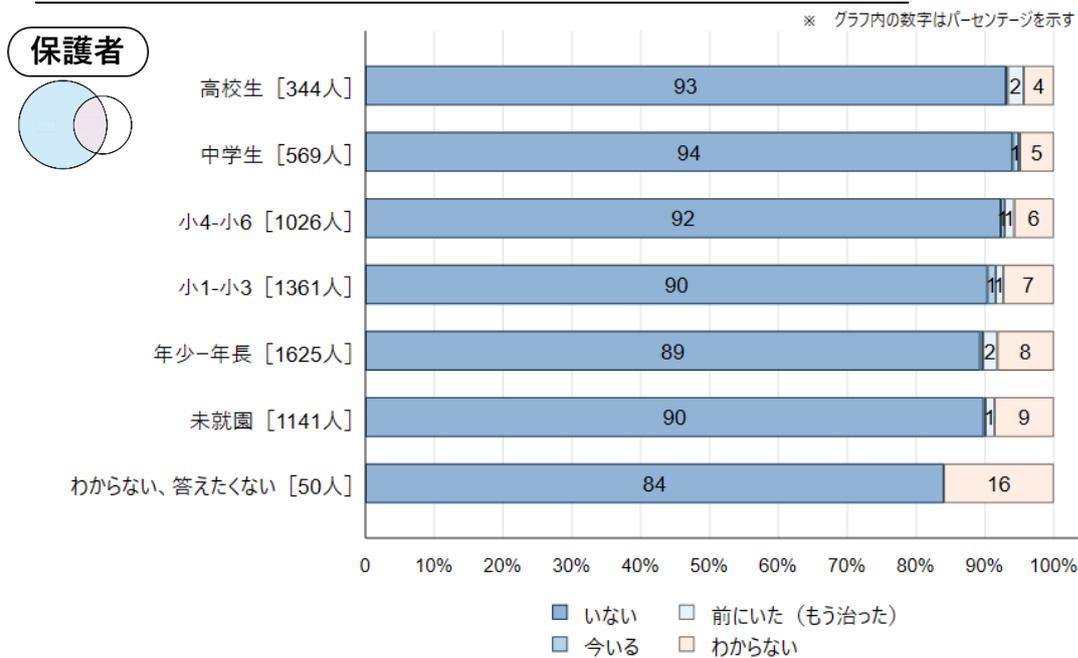
新型コロナウイルス（コロナ）関連

家庭内でのコロナ感染者

おうちではコロナにかかった人はいますか？



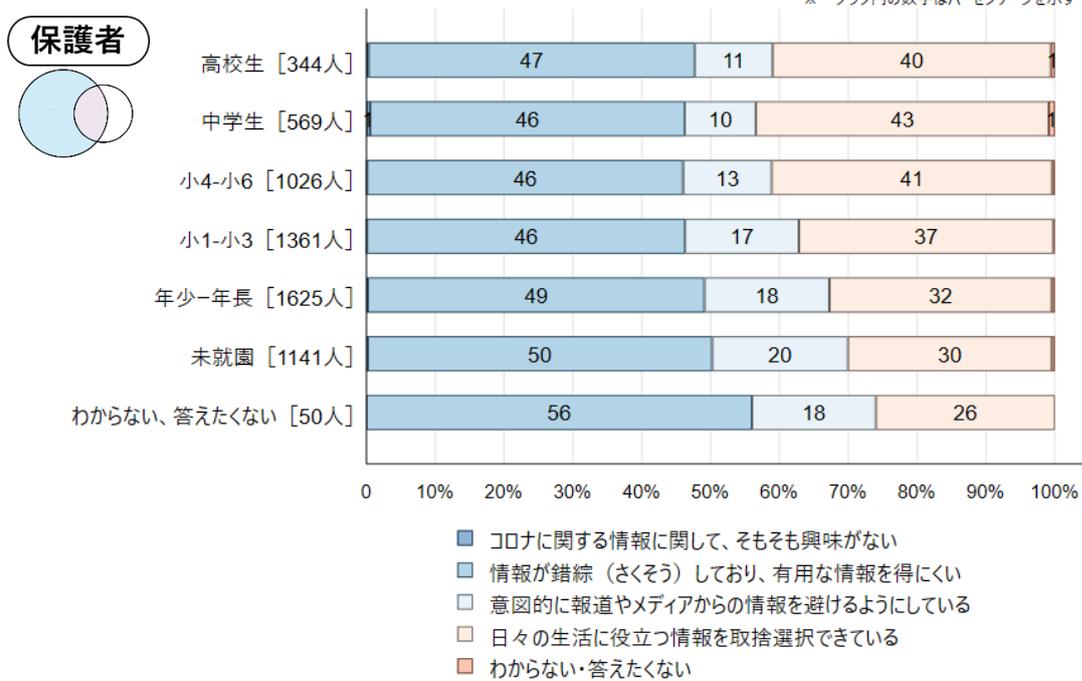
あなたの同居者でコロナに感染した（かもしれない）人はいますか？



- ・ こどもの回答では、「（感染者が）いまいる」が0.08%、「前にいた」が0.1%だった。
- ・ 保護者の回答では、「今いる」が0.6%、「前にいた」が1.4%だった。

コロナに関するメディアおよび知識

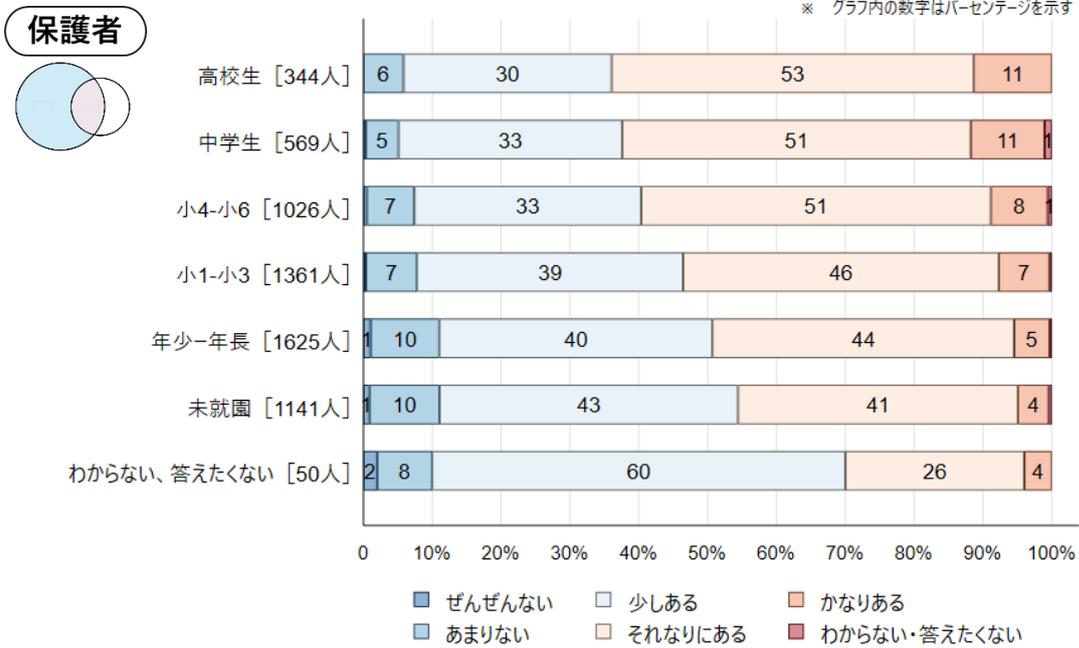
コロナに関する各種報道やメディアからの情報について、あなたの感じ方に
1番近いものはどれですか？



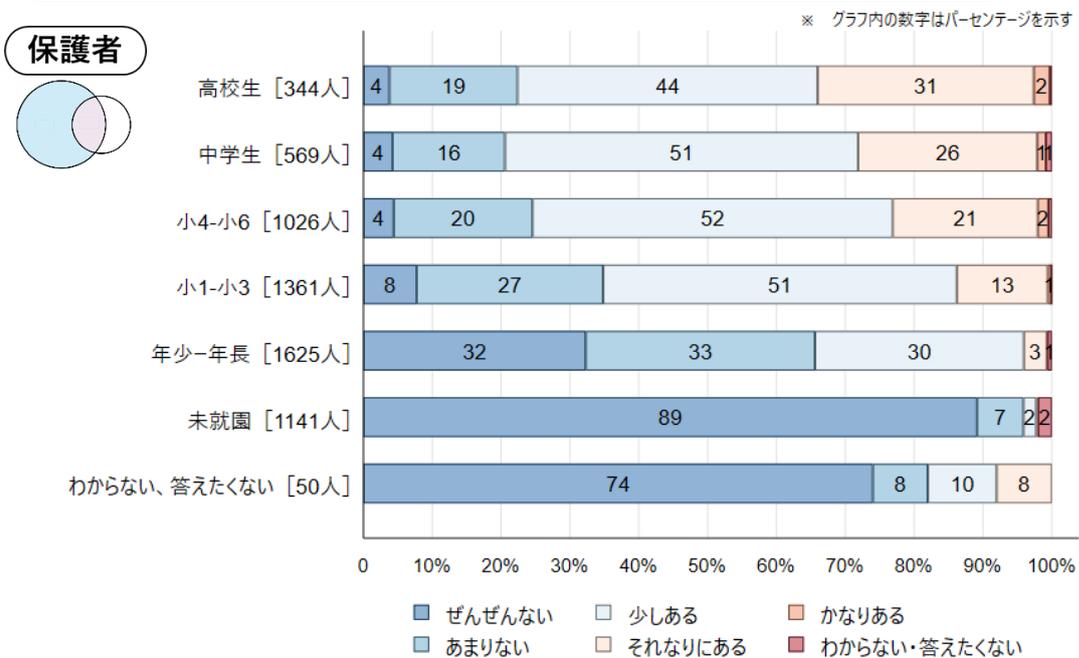
- ・「情報が錯綜しており、有用な情報が得にくい」が最も多く、全体の47%を占めた。
- ・こどもの年齢が小さいほど、「意図的に報道やメディアからの情報を避けるようにしている」と回答した保護者が多い傾向があり、未就園児の保護者では20%だった。

コロナに関する知識

コロナに関して、あなたの知識はどのくらいありますか？



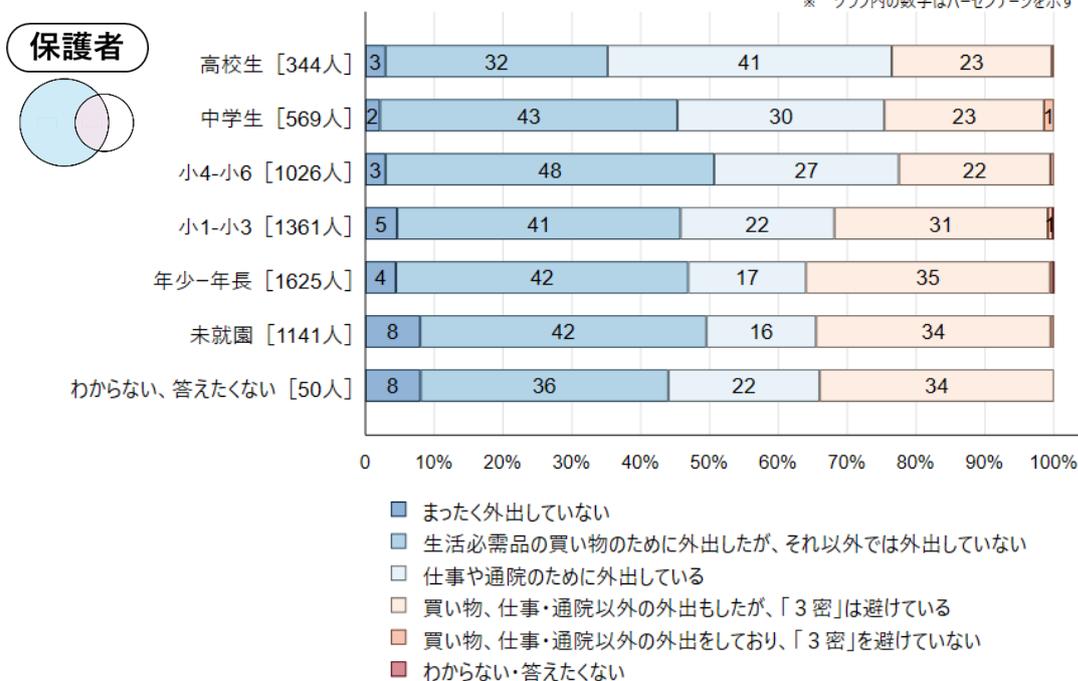
コロナに関して、あなたのお子さまの知識はどのくらいありますか？



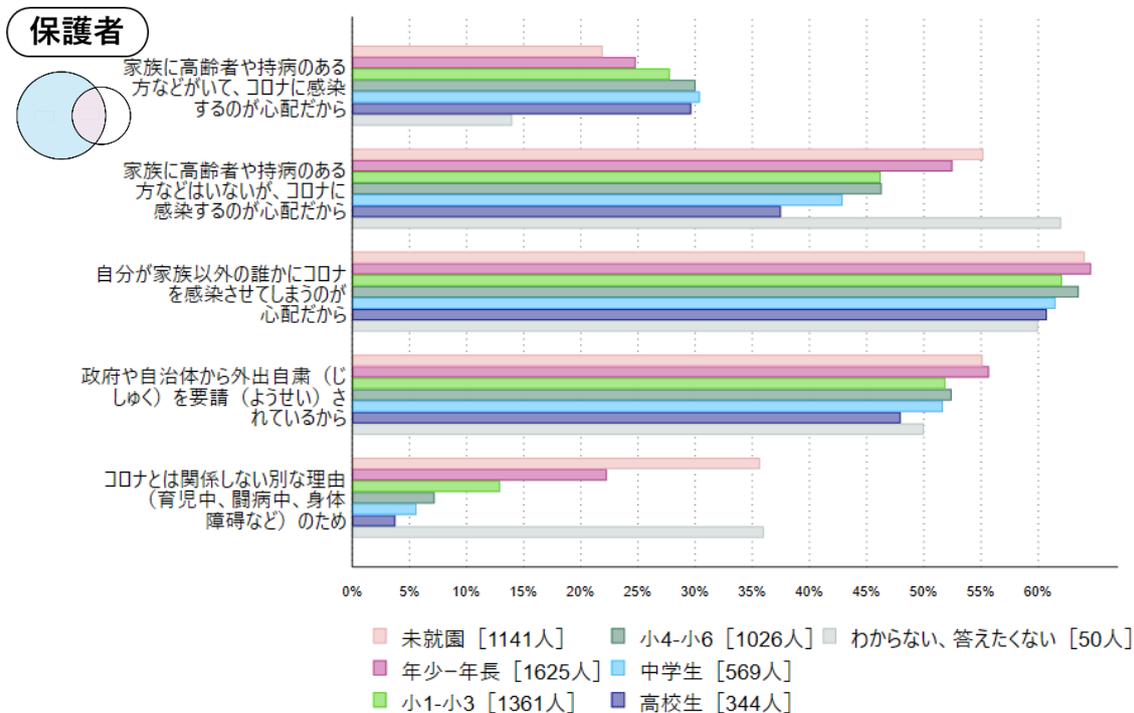
- ・保護者の知識は、「少しある」、または「それなりにある」で80%以上を占めた。
- ・こどもの知識については、小学生以上では「少しある」が半数程度を占めた。

外出自粛状況

この1週間の、あなたの外出状況に、1番近いものはどれですか？



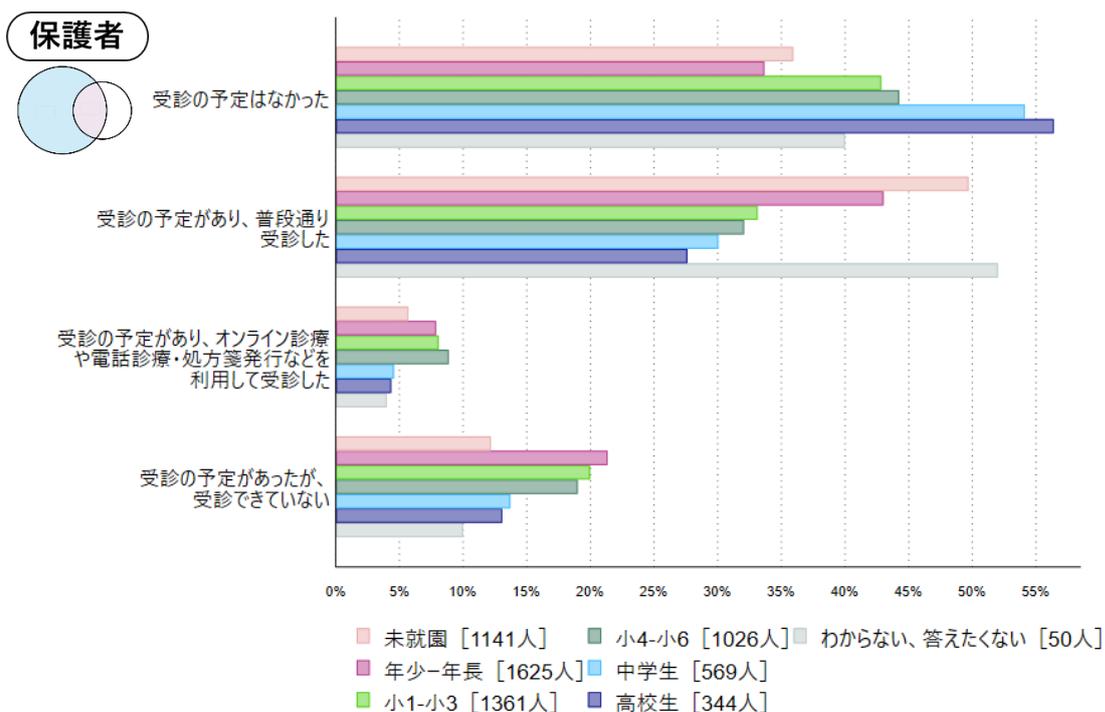
あなたの外出状況の理由としてあてはまるものを、すべて選んでください。



- ・「生活必需品の買い物のために外出したが、それ以外では外出していない」が最多。
- ・外出を控える理由は、「自分が家族以外のだれかにコロナを感染させてしまうのが心配だから」が63%で最も多かった。

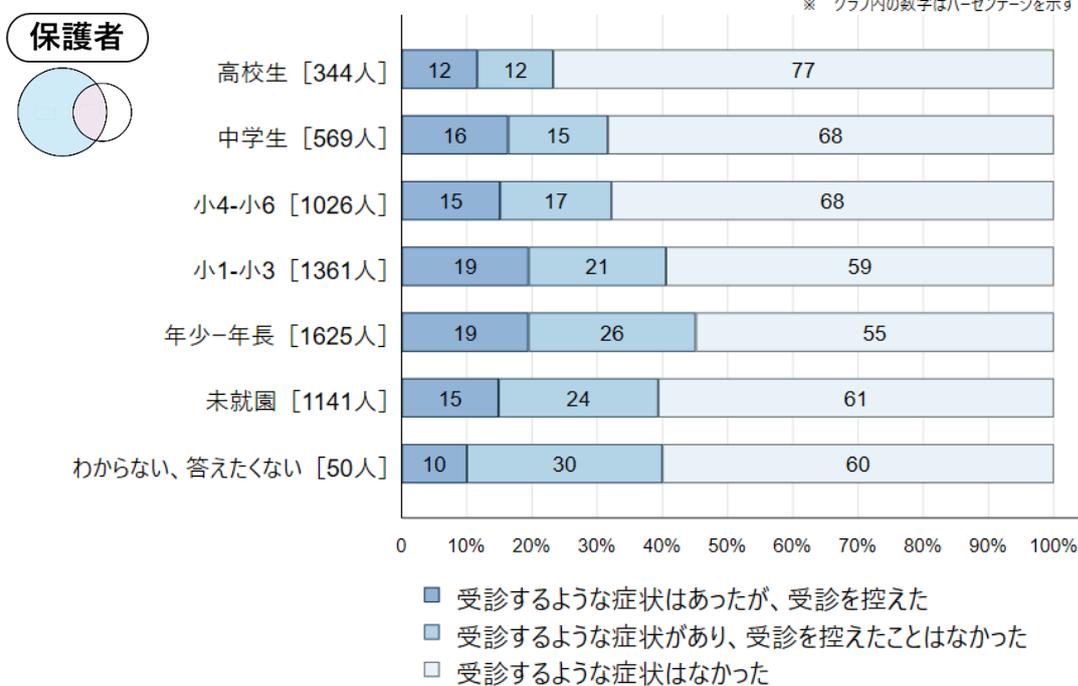
受診状況

この1ヶ月間に、予防接種や健診、持病の定期受診など、お子さまが医療機関を受診する予定はありましたか？ あった場合はどのように対応しましたか？
 あてはまるものをすべて選んでください。



- ・過去1か月間に受診の予定があったのは全体の59%だった。
- ・このうち30%が「受診できていない」と回答した。
- ・オンライン診療や電話診療・処方箋発行などを利用して受診したのは7%だった。

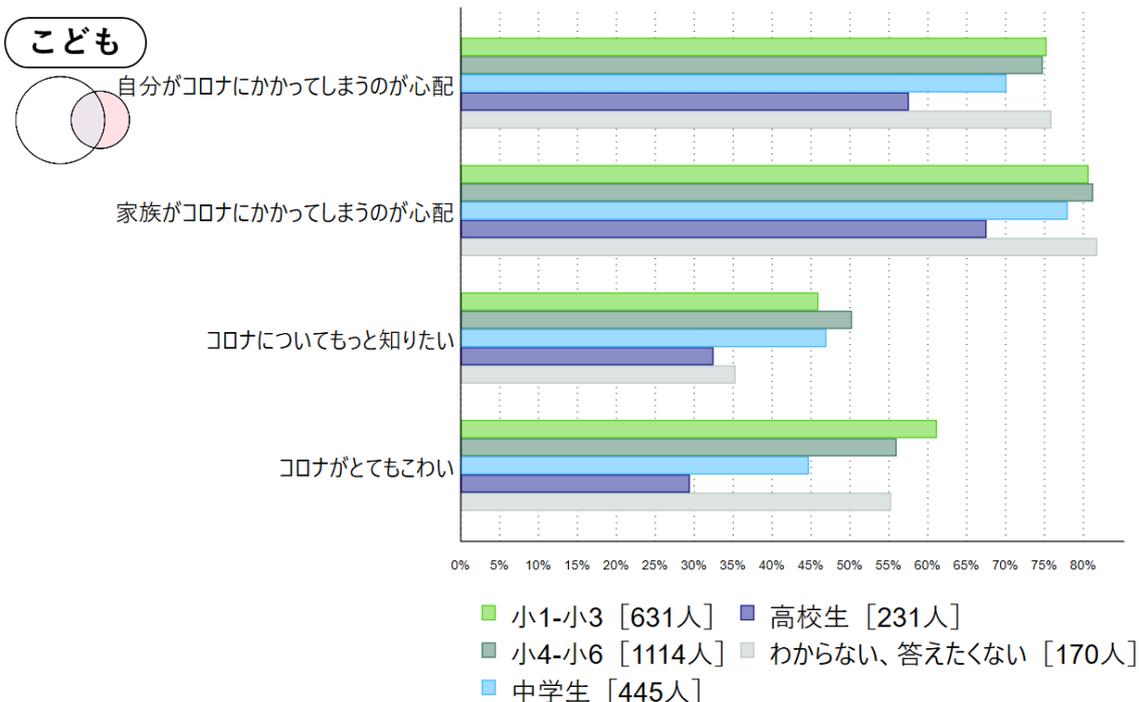
この1ヶ月間に、お子さまは、普段なら医療機関を受診するような症状がありましたか？
あった場合に受診を控えることはありましたか？
あてはまるものを1つ選んでください。



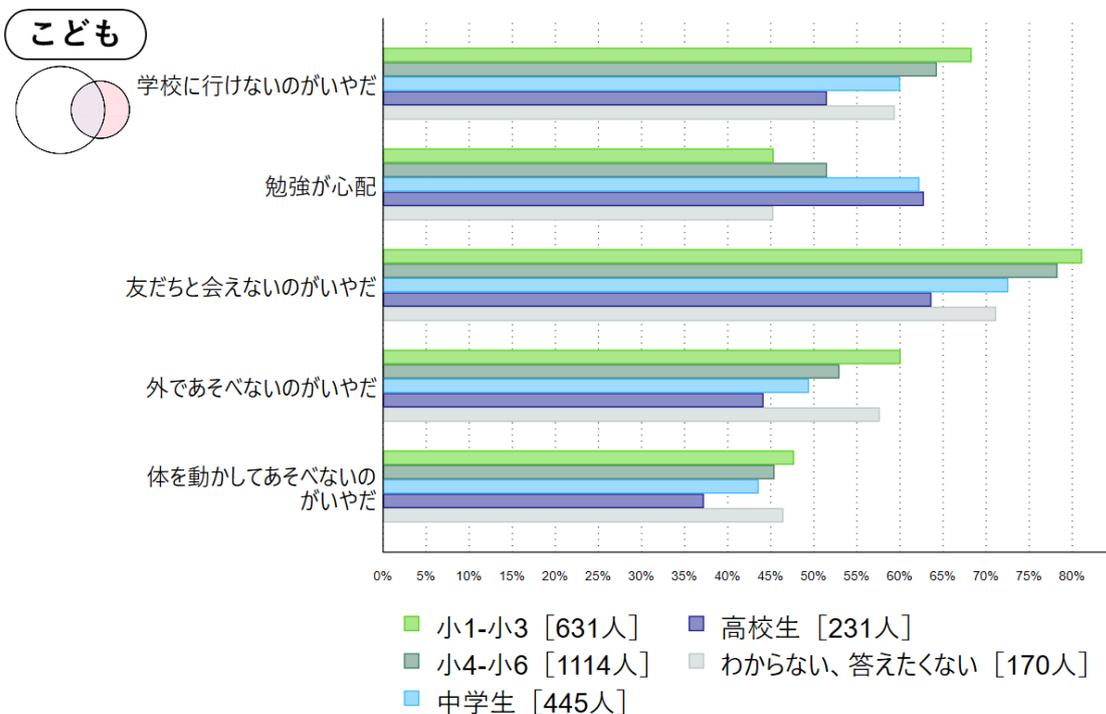
・過去1か月間に、普段なら医療機関を受診するよう症状があったのは全体の48%で、このうち45%が「受診を控えた」と回答した。

コロナについての困りごと

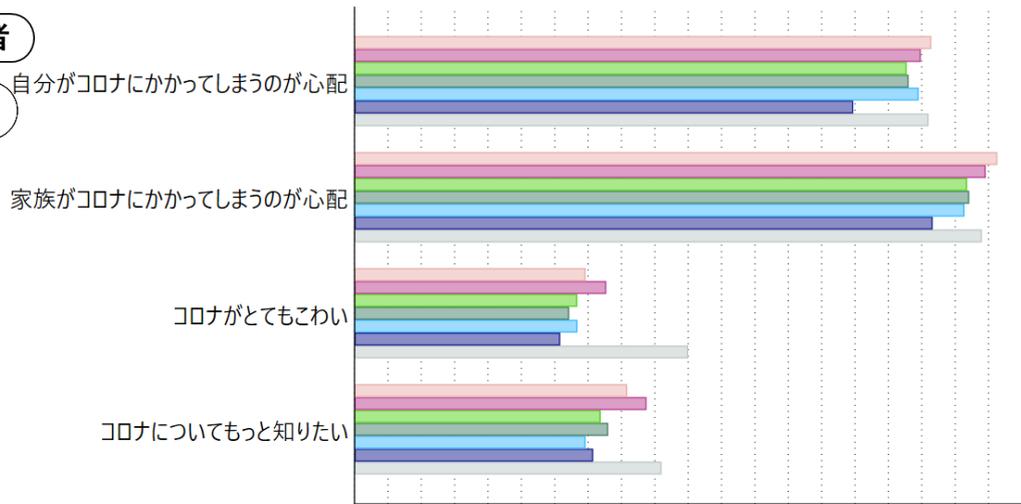
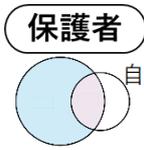
あなたにあてはまるものを全部選んでください。



あなたにあてはまるものを全部選んでください。



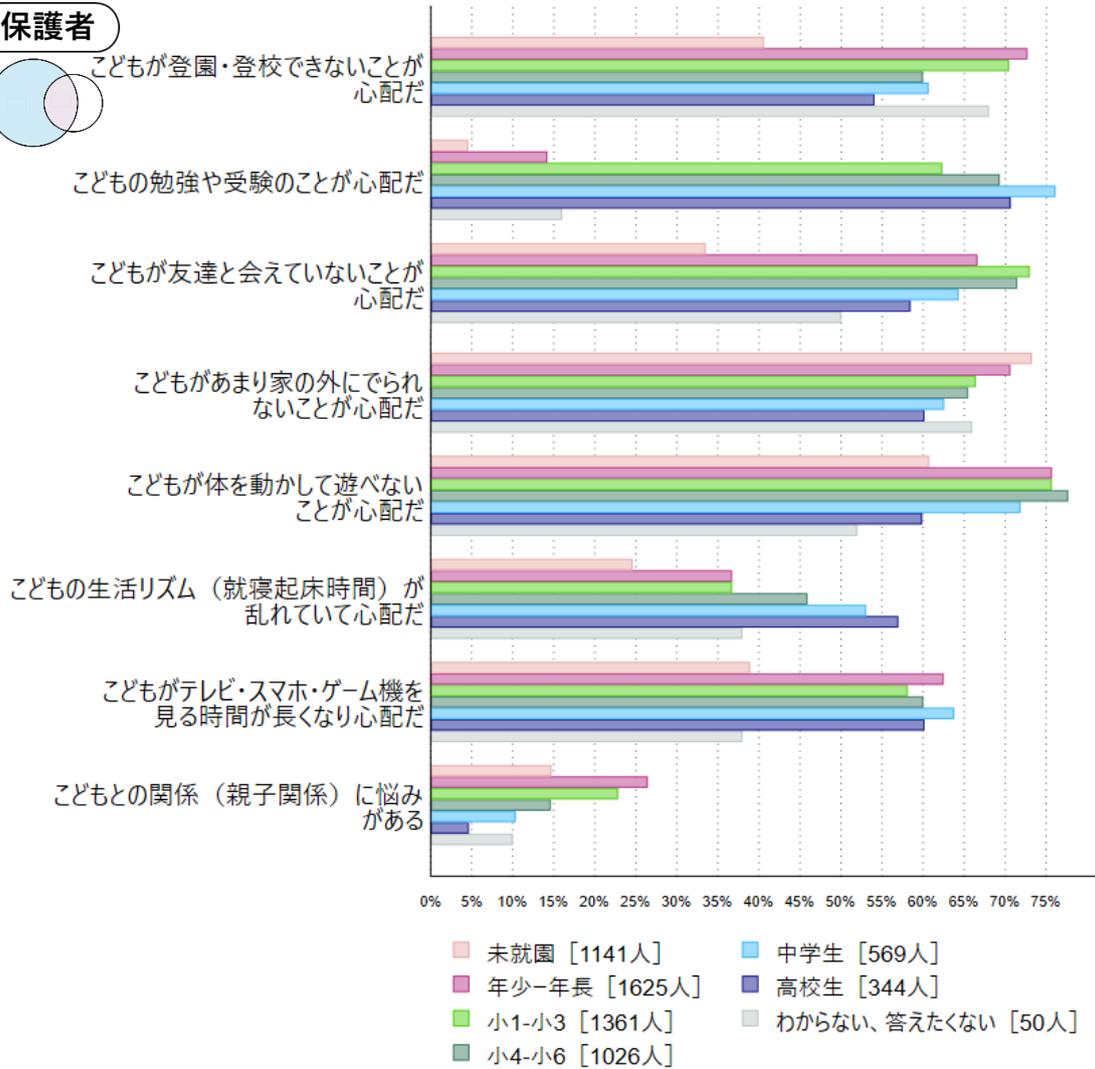
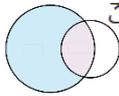
あなたにあてはまるものをすべて選んでください。



- 未就園 [1141人]
- 年少-年長 [1625人]
- 小1-小3 [1361人]
- 小4-小6 [1026人]
- 中学生 [569人]
- 高校生 [344人]
- わからない、答えたくない [50人]

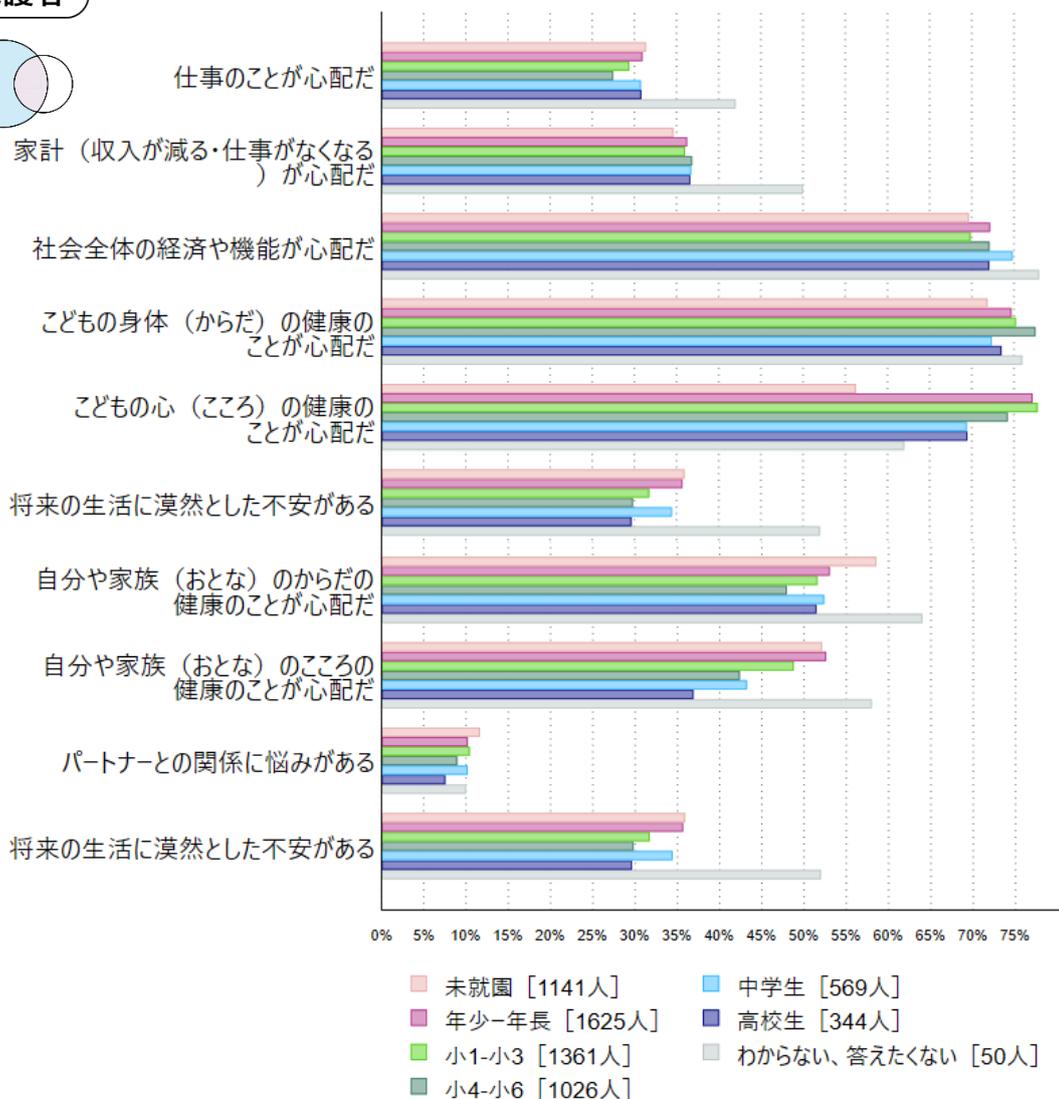
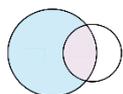
あなたにあてはまるものをすべて選んでください。

保護者



あなたにあてはまるものをすべて選んでください。

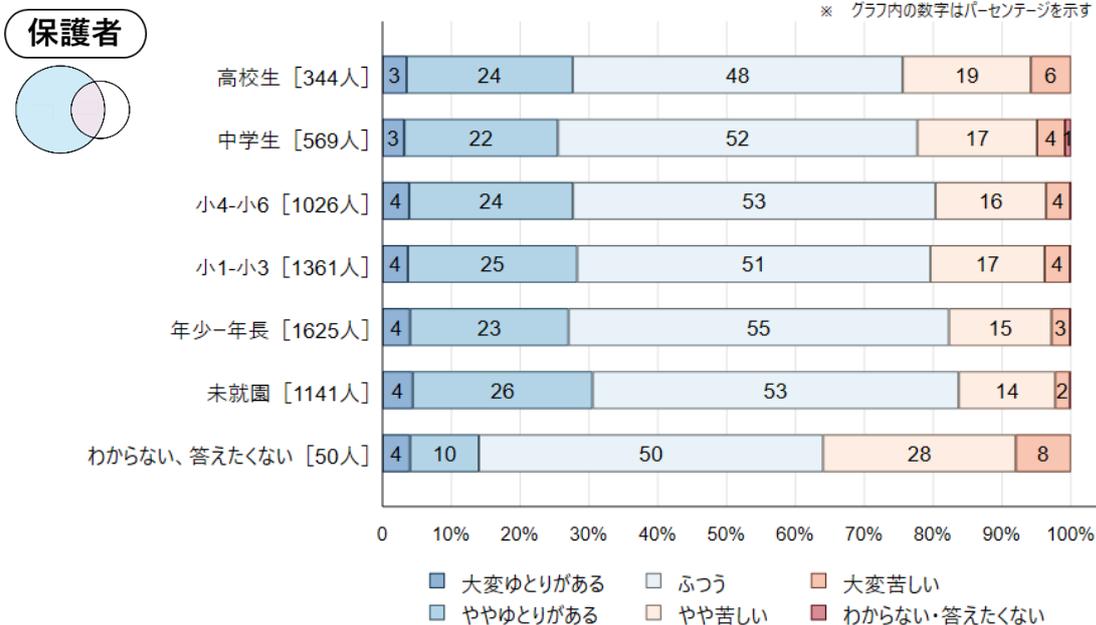
保護者



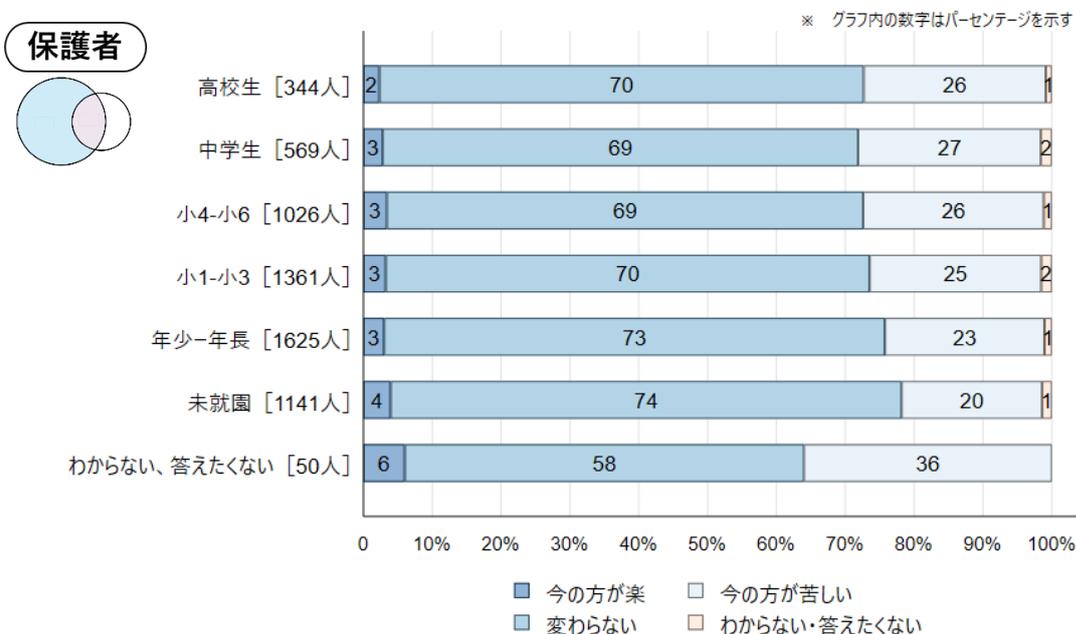
- ・感染症に関するの困りごとでは、こども・保護者とも、「家族がコロナにかかってしまうのが心配」、次いで「自分がコロナにかかってしまうのが心配」が最も多かった。
- ・生活に関するの困りごとでは、こどもの回答では全学年を通じて、「友だちと会えないのがいやだ」が最も多かった。
- ・小学生では「学校に行けないのがいやだ」が、中高生では「勉強が心配」が続いた。
- ・未就園児の保護者では「こどもがあまり外にでられないことが心配だ」が73%だった。
- ・年少～小学生では、「こどもが体を動かして遊べないことが心配だ」が7割超だった。
- ・中高生では、「こどもの勉強や受験のことが心配だ」が7割超だった。
- ・保護者の困りごとは、「こどもの身体(からだ)の健康のことが心配だ」が全体の75%、次いで「こどもの心(こころ)の健康のことが心配だ」が72%を占めた。
- ・未就学児では「自分や家族(おとな)のこころの健康のことが心配だ」が5割超だった。

経済状況について

現在の、あなたの家庭の暮らし（経済状況）について、1番近いものはどれですか？



あなたの家庭の暮らし（経済状況）は2020年1月時点と比べて、どうですか？



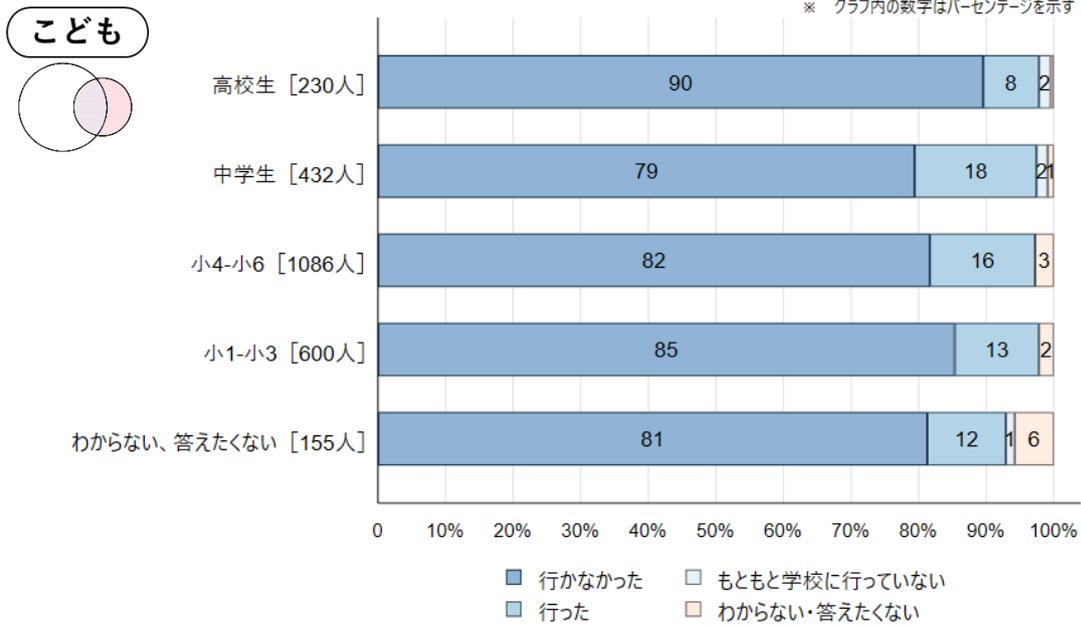
- ・「やや苦しい」「大変苦しい」は全体の19%だった。
- ・「(2020年1月時点と比較して) 今の方が苦しい」が全体の24%だった。

学校・勉強・友人への連絡状況

登校・登園（保護者・こども）

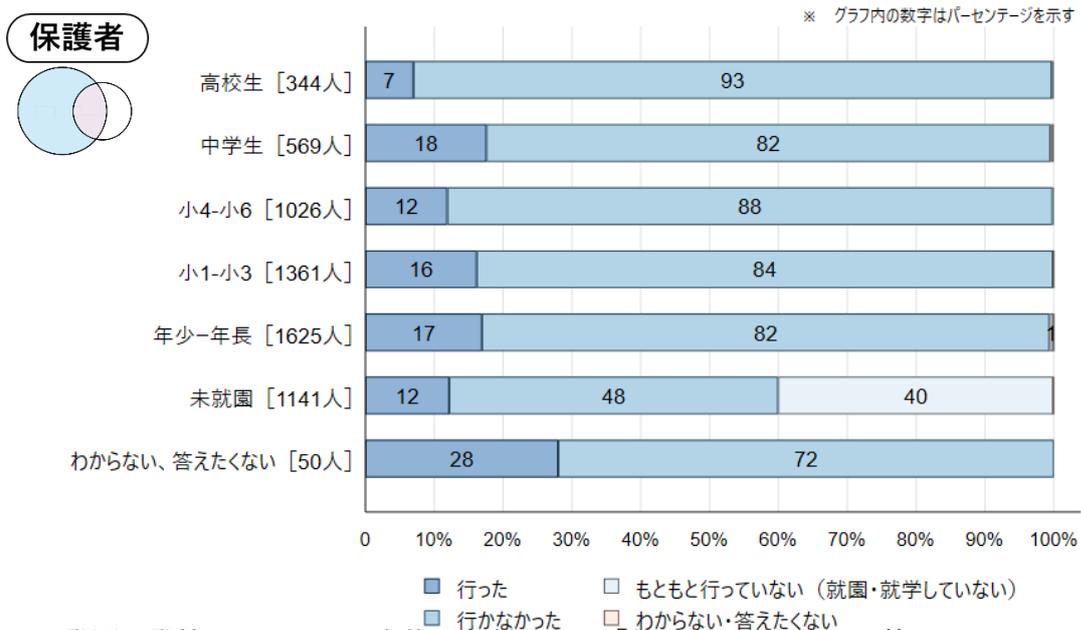
最近1週間、学校に行きましたか？

（ゴールデンウィーク前のふつうの日を思い出してください。）



この1週間、お子さまは園や学校に行きましたか？

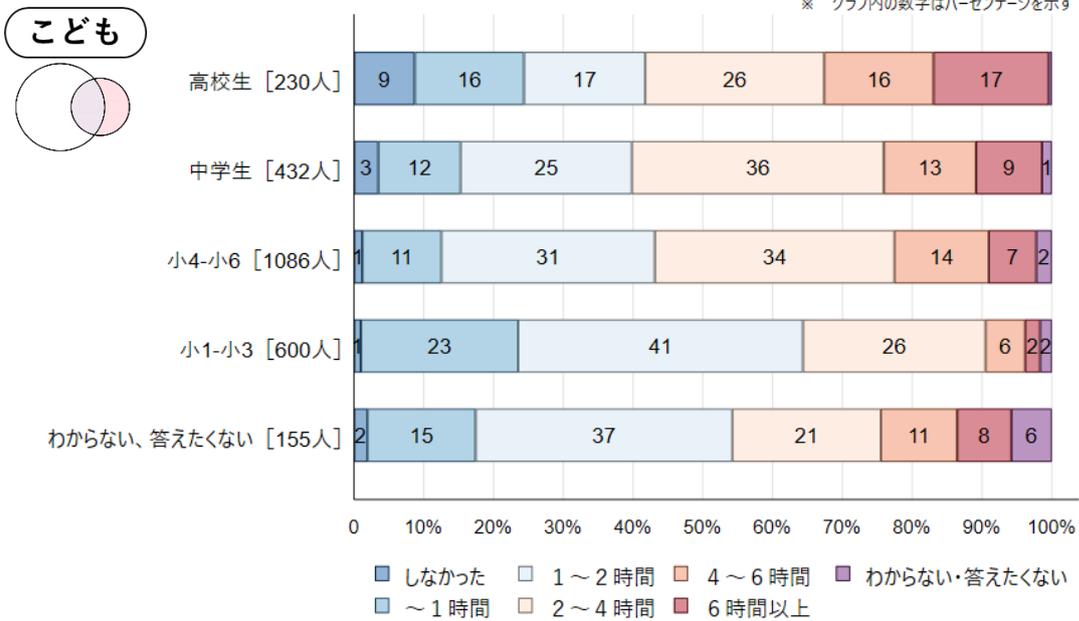
（ゴールデンウィーク前の平日を思い出してください。）



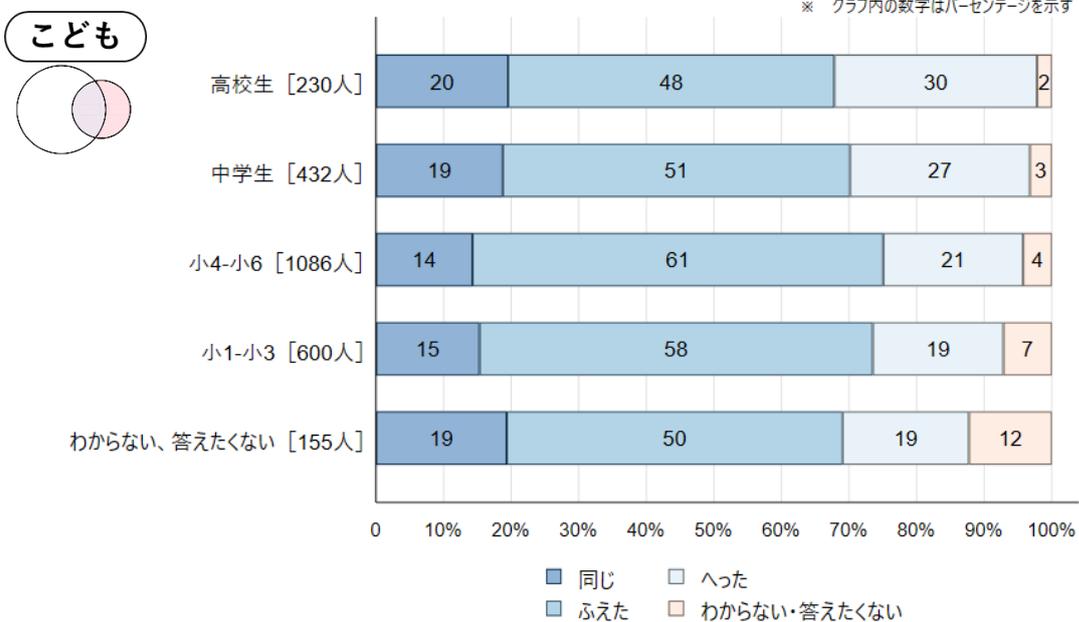
・登園・登校については、全体の8割以上が「行かなかった」と回答した。

勉強

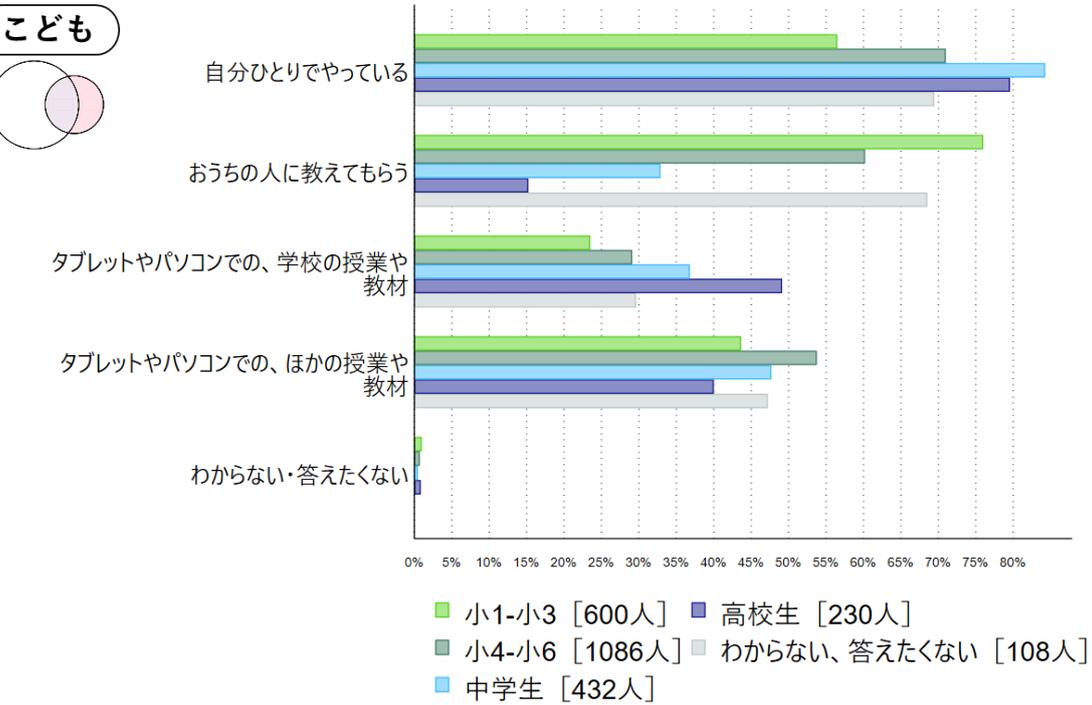
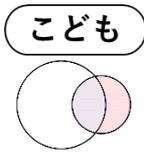
1日のうちどのくらいおうちで勉強をしていましたか？



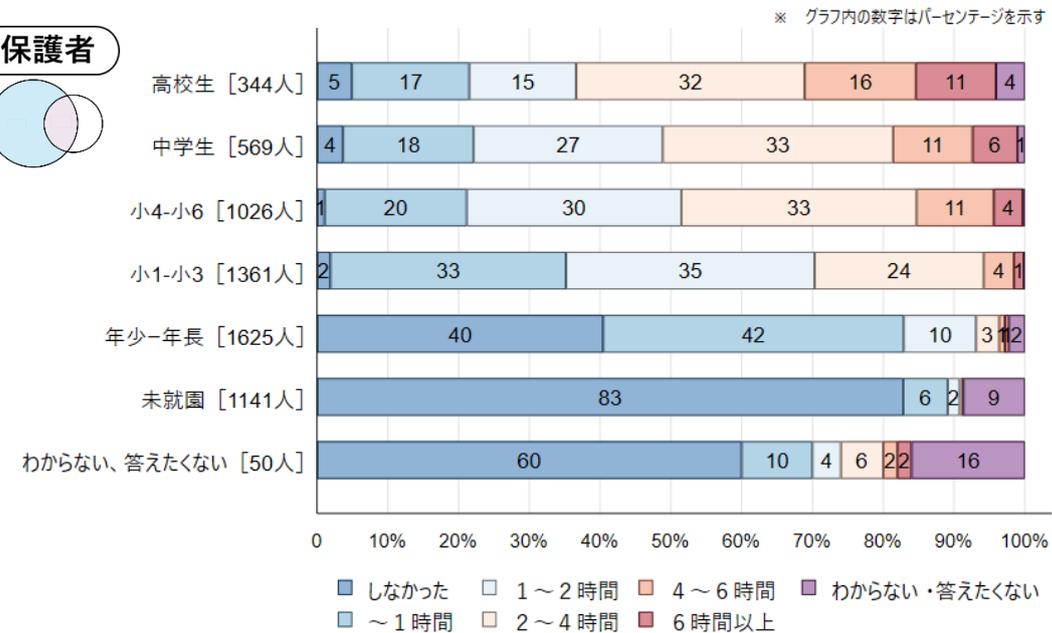
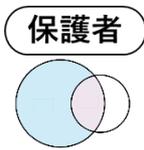
おうちで勉強する時間は、去年よりも…



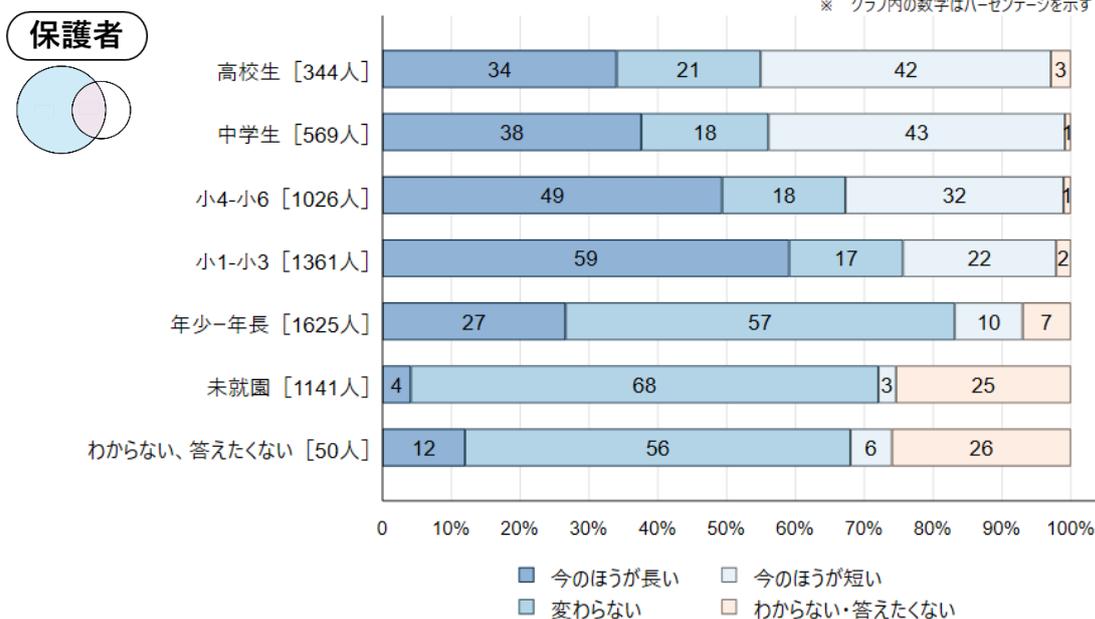
あなたの勉強にあてはまるものを全部選んでください。



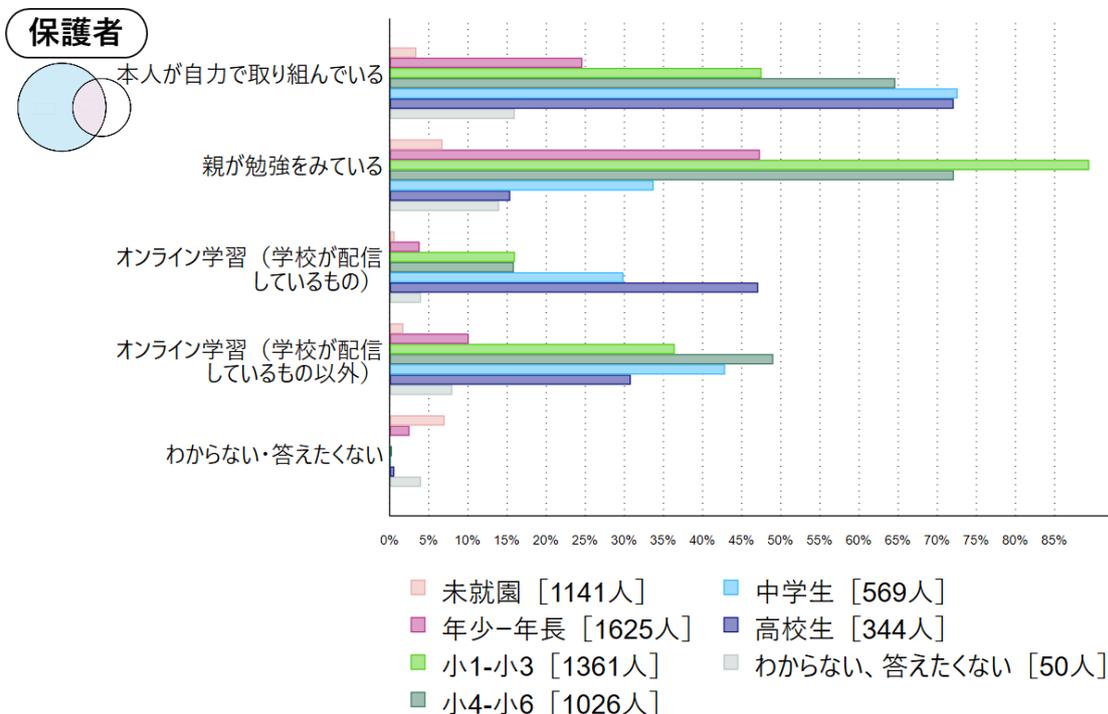
この1週間で平均すると、お子さまは1日何時間、家庭学習をしていましたか？



お子さまが家庭学習をする時間は、2020年1月時点と比べて、どうですか？



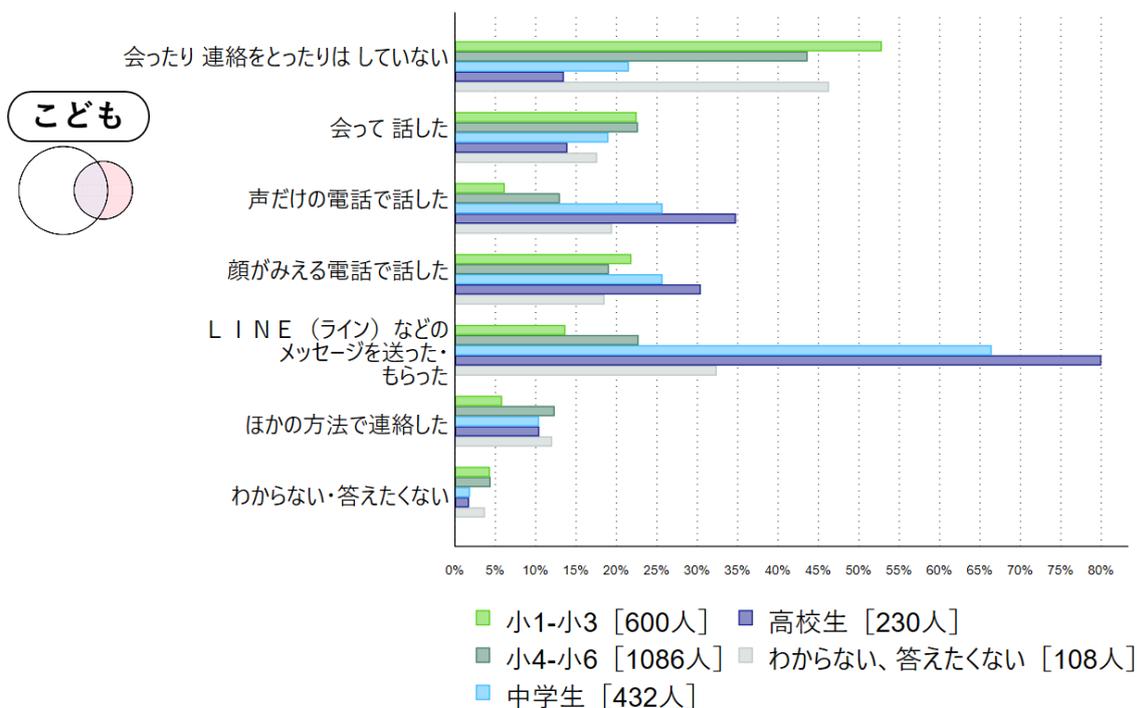
お子さまの家庭学習についてあてはまるものを、すべて選んでください。



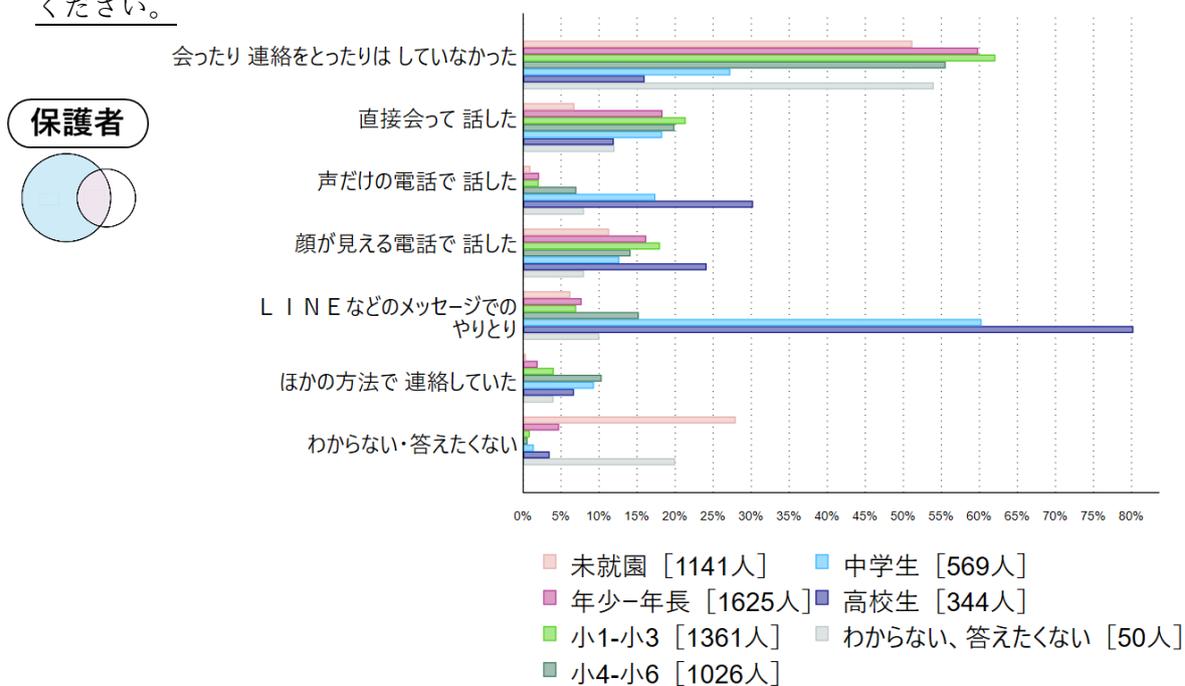
- ・自宅での学習時間は、どの学年でも「増えた」「減った」が一定数みられた。
- ・低学年ほど「増えた」が多く、高学年ほど「減った」の割合が多かった。
- ・「タブレットやパソコンでの、学校の授業や教材」は全体の31%、「タブレットやパソコンでの、(学校以外の)ほかの授業や教材」は全体の49%が活用していた。

友だちとの連絡

最近1週間、友だちとの連絡であてはまるものを全部選んでください。



最近1週間、お子さまのお友だちとの連絡についてあてはまるものを、すべて選んでください。



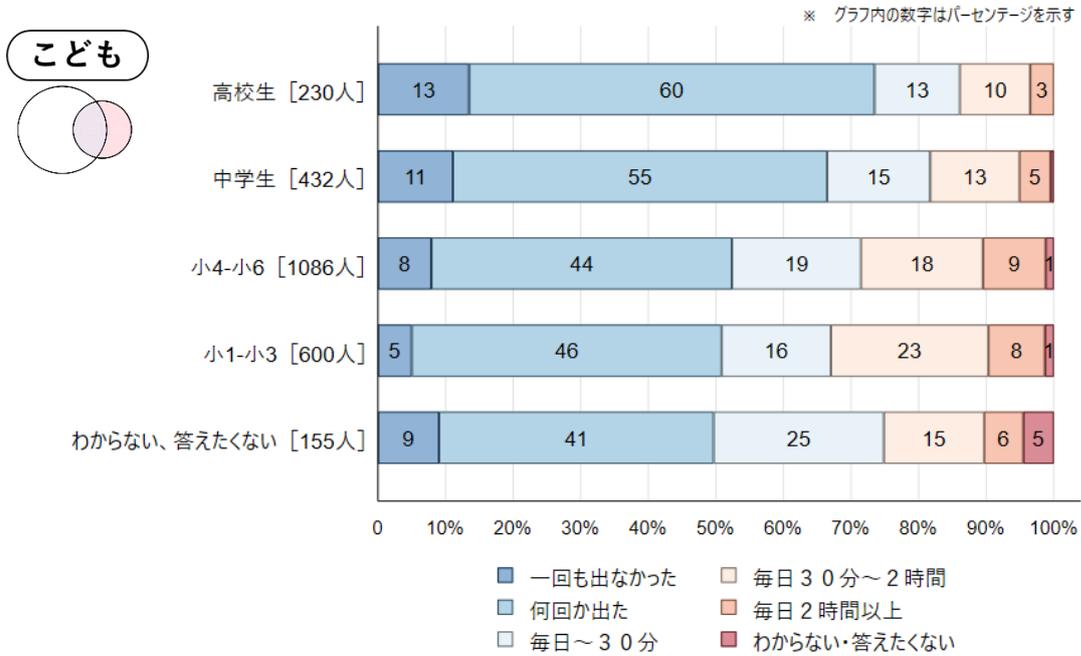
・こどもの回答では中学生、高校生で「LINEなどのメッセージを送った・もらった」が各々66%、80%で最も多く、次いで「声だけの電話で話した」が26%、30%だった。

・小学生では「会ったり連絡をとったりはしていない」が最多だった。

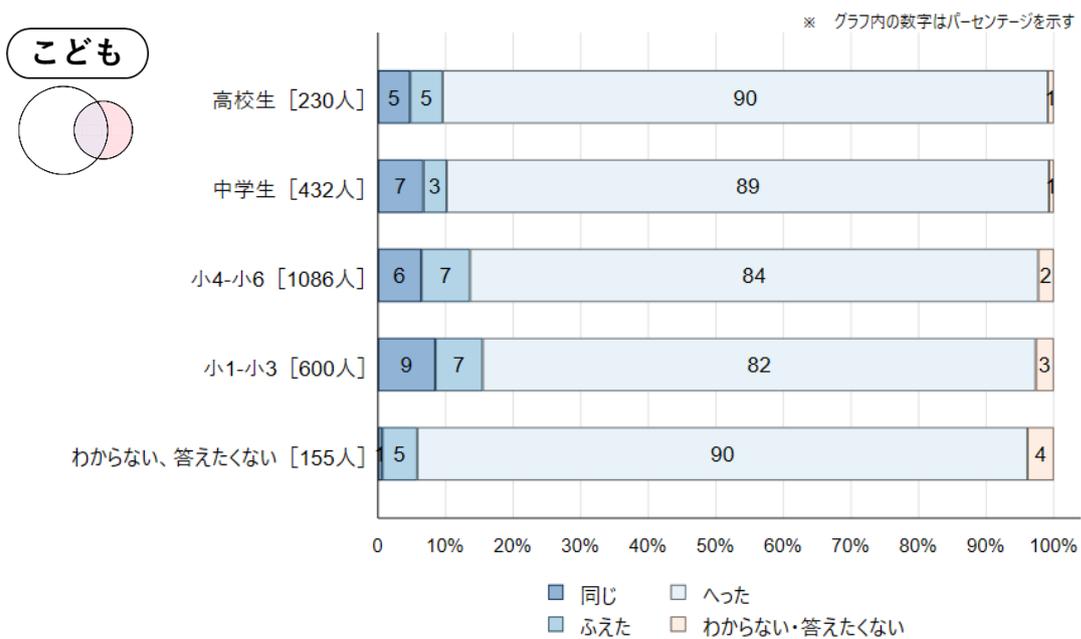
外出頻度・運動・スクリーンタイム・生活リズム

外出

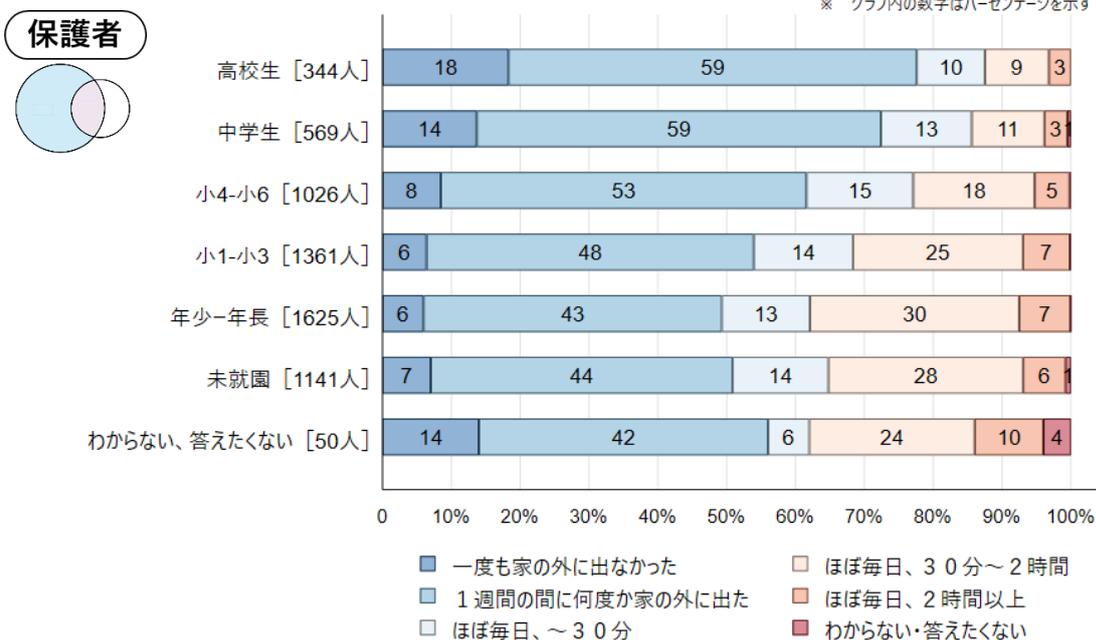
最近1週間、どのくらい家の外に出ましたか？



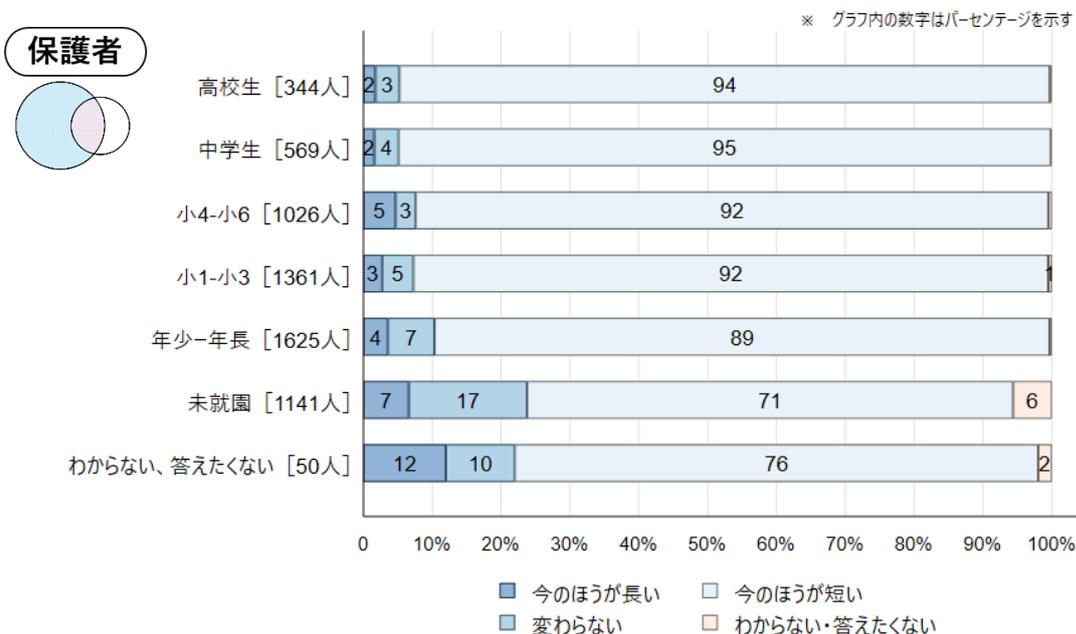
家の外に出る時間は、去年よりも…



この1週間の、お子さまの外出時間に、1番近いものはどれですか？



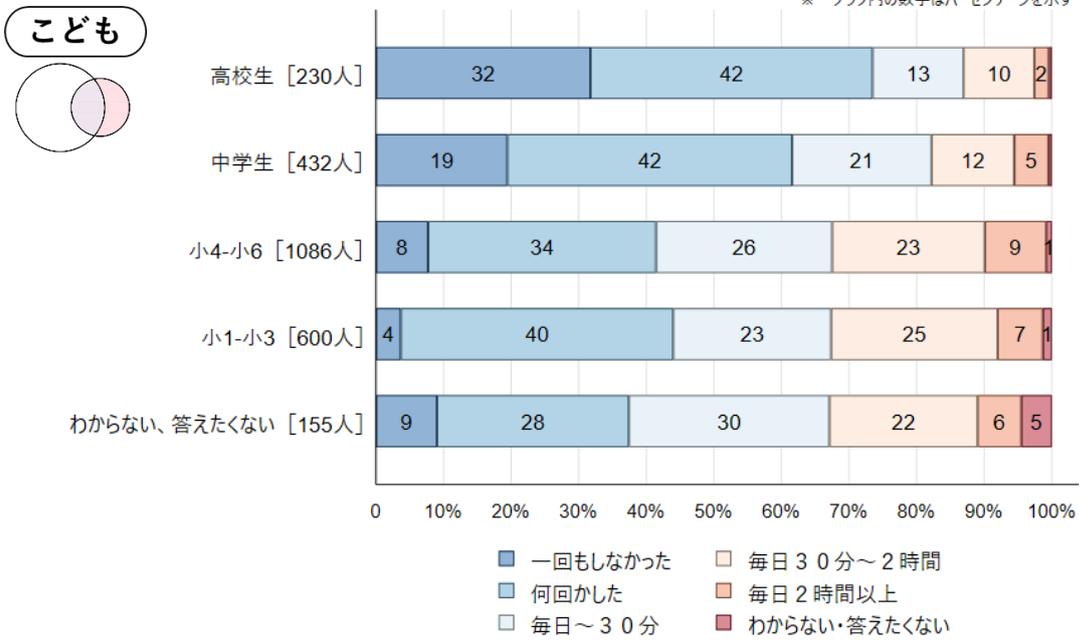
お子さまの外出時間は、2020年1月時点と比べて、どうですか？



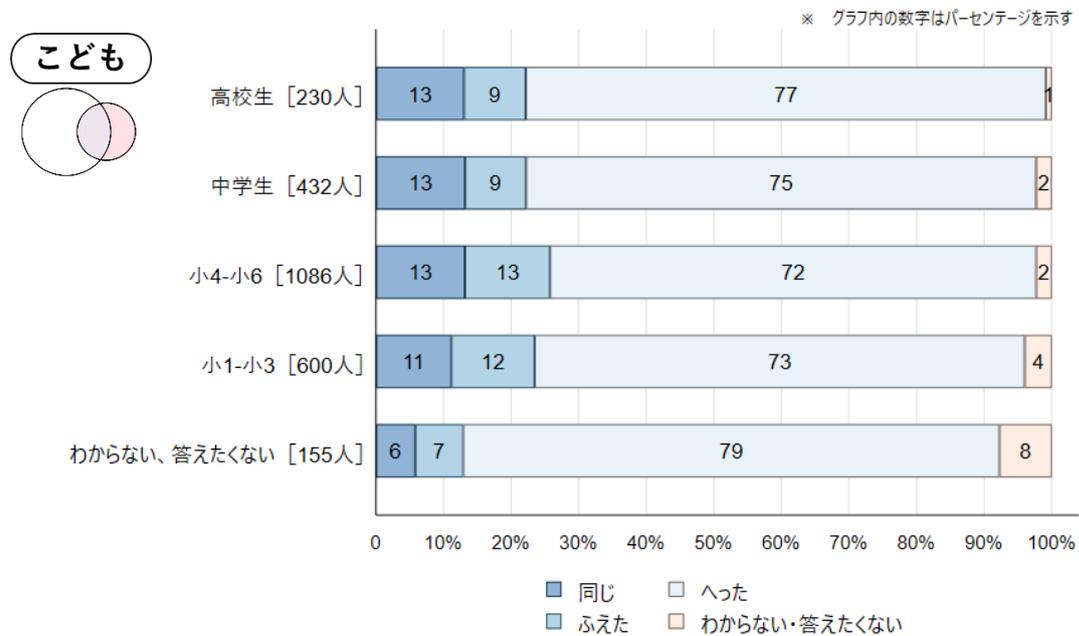
・外出時間については、全年齢を通して「減った」が8割前後を占めた。

運動

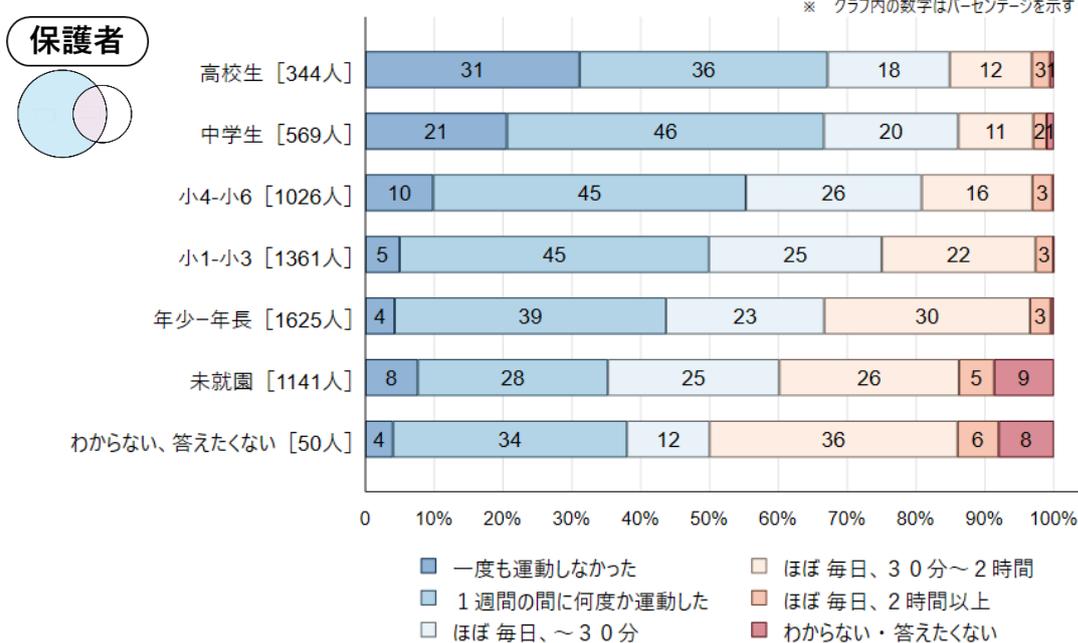
最近1週間、どのくらい体を動かしてあそびましたか？



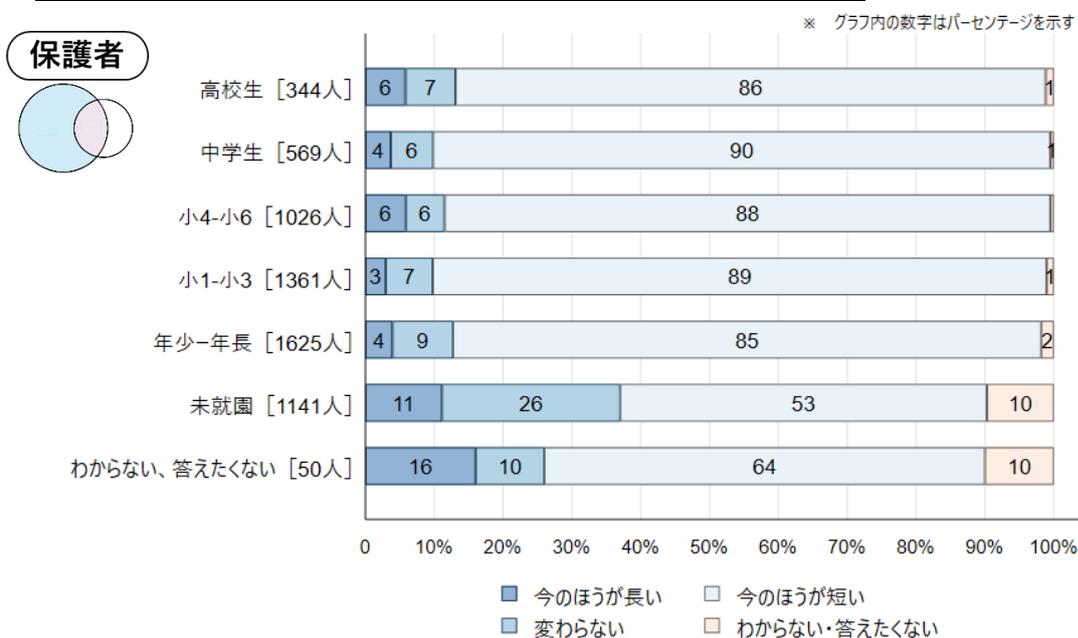
体を動かしてあそぶ時間は、去年よりも…



この1週間、お子さまはどのくらい運動（体を動かす遊び）をしましたか？



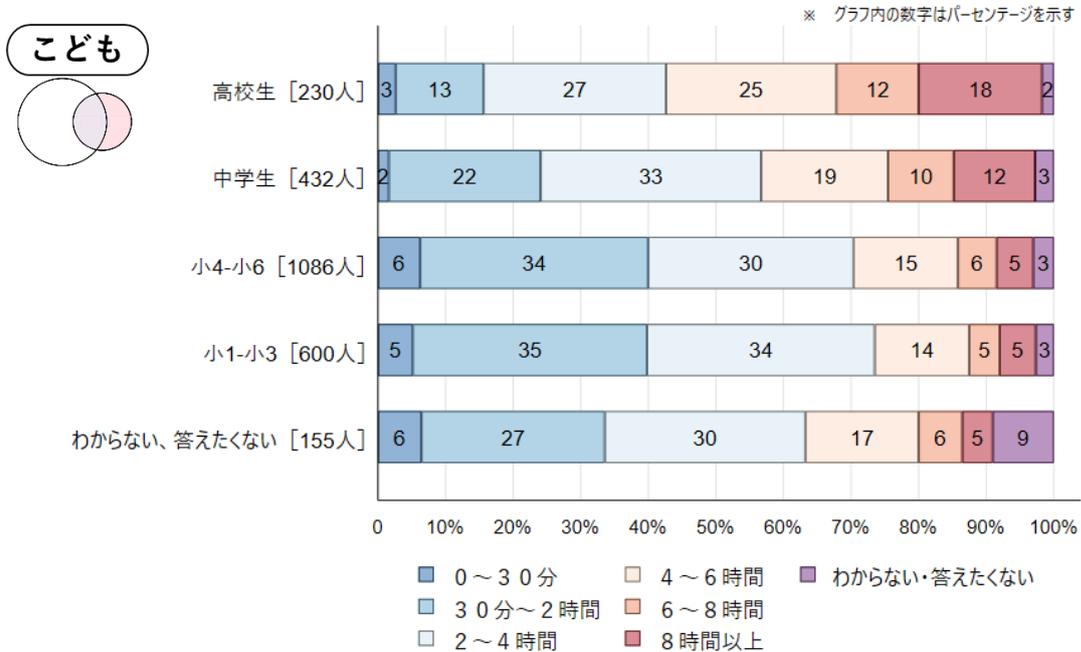
お子さまの運動時間は、2020年1月時点と比べて、どうですか？



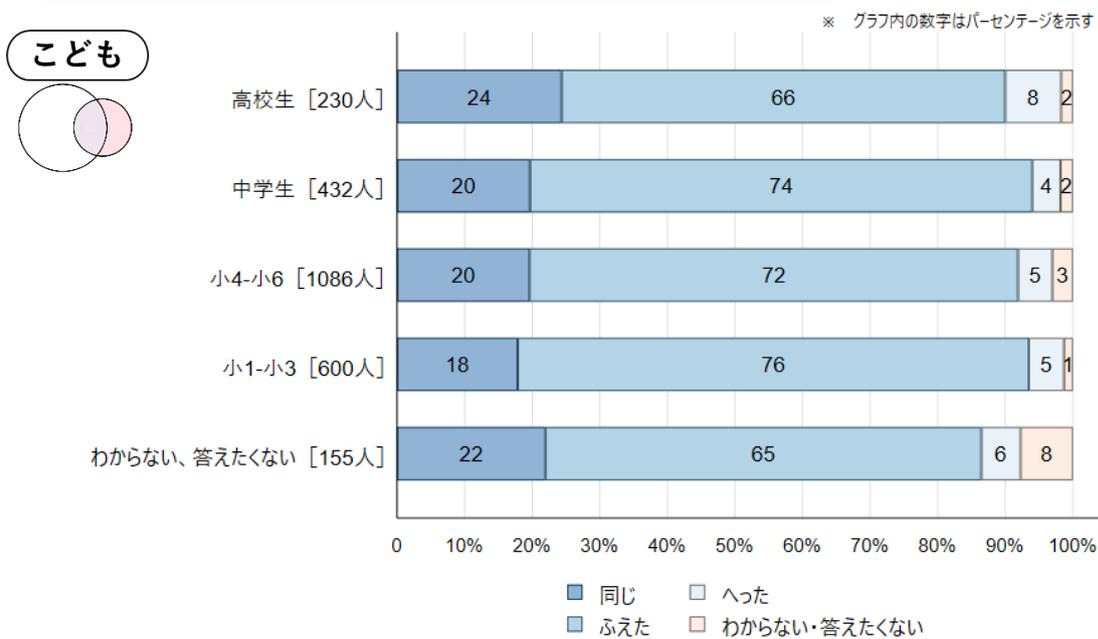
- ・小学生以上では、こども・保護者ともに7割以上が「減った」と回答した。
- ・未就園児の53%、年少-年長の85%も「減った」と回答した（保護者回答）。

スクリーンタイム

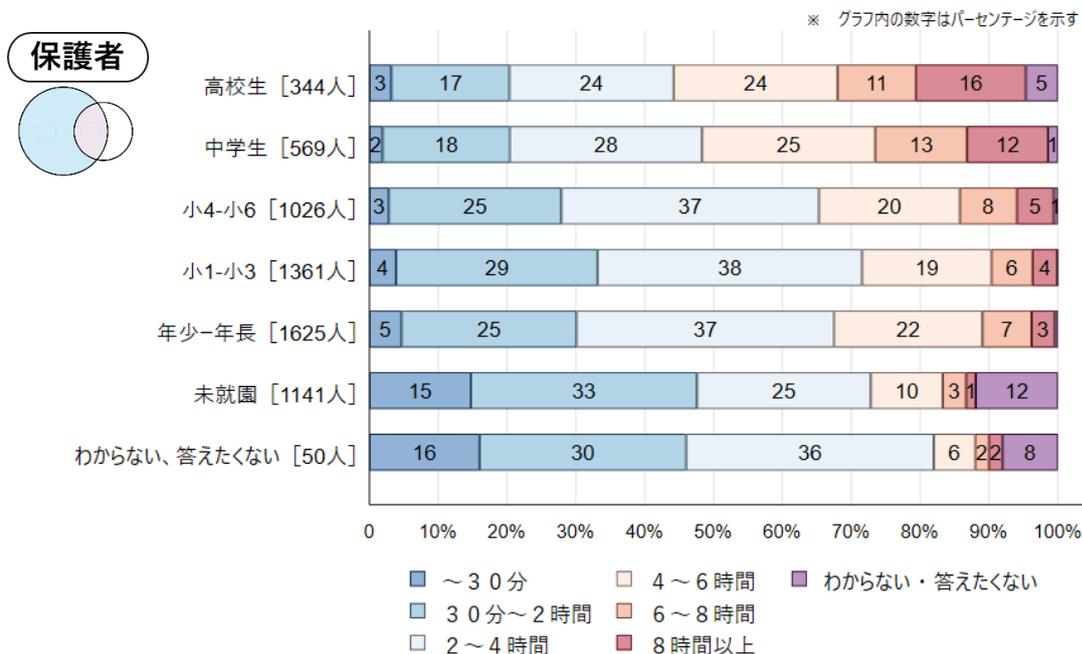
最近1週間、1日のうち、どのくらいテレビやスマホ、ゲームなどを見ていましたか？
(勉強は入れません)



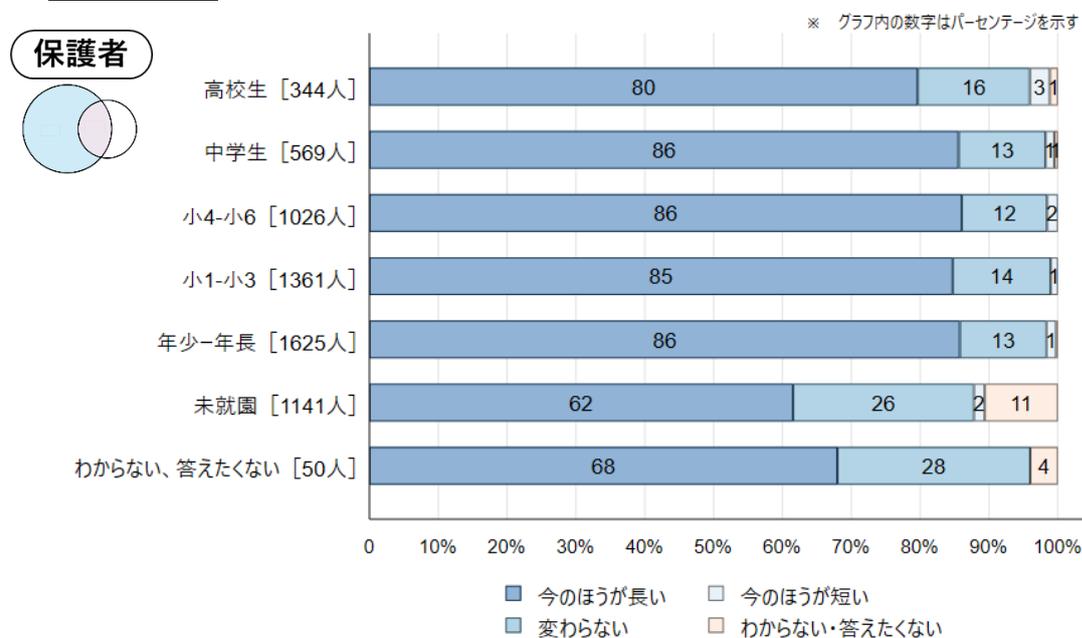
テレビやスマホ、ゲームなどを見ている時間は、去年よりも…



この1週間で平均すると、お子さまは1日のうちのどのくらい、テレビやスマホ、ゲームなどをみていましたか？（勉強はいれませんが）



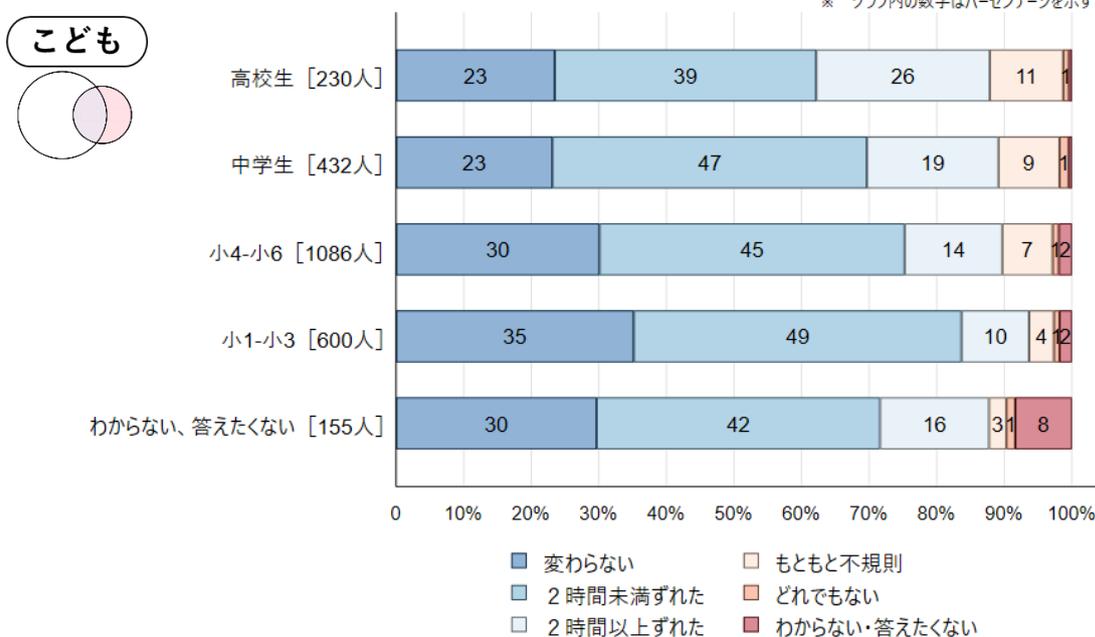
お子さまがテレビやスマホ、ゲームなどをみている時間は、2020年1月時点と比べて、どうですか？



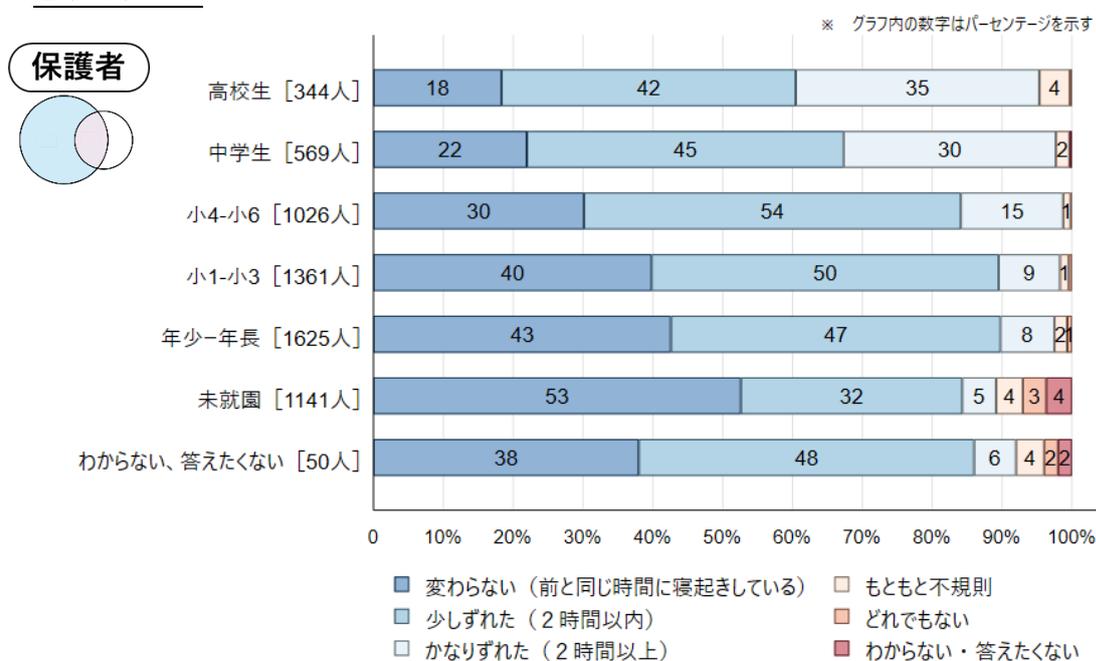
- ・ こどもの回答では4時間以上の回答が全体の31%を占めた。
- ・ 小中学生で7割以上、高校生の66%でスクリーンタイムが増えていた（こども回答）。
- ・ 未就園児、年少-年長でも各々62%、86%が長くなっていた（保護者回答）。

生活リズム

最近1週間の、夜ねる時間、朝おきる時間は、去年よりも…



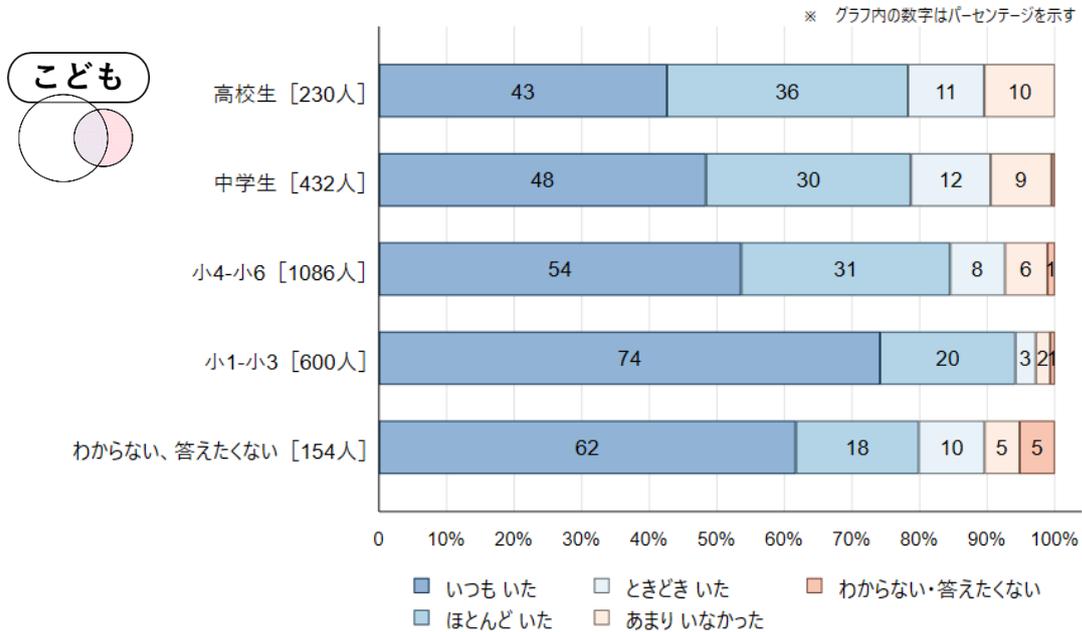
この1週間の、お子さまが夜寝る時間・朝起きる時間は、2020年1月時点と比べて、
どうですか？



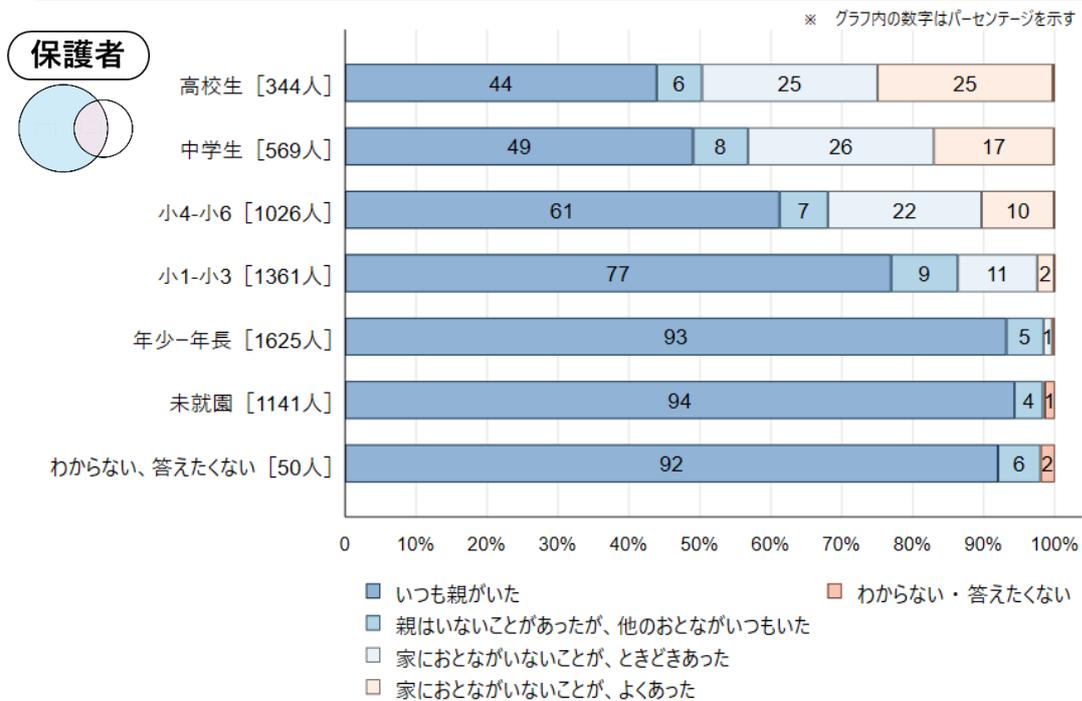
- ・小学生以上では、「ずれた：(2時間未満・以上)」が61%を占めた(こども回答)。
- ・中学生、高校生では「2時間以上ずれた」が各々19%、26%だった(こども回答)。
- ・保護者の回答では、中高生で「2時間以上ずれた」が3割以上を占めた。

こどもが家にいるときの状況

最近1週間、昼間家にいるとき、だれかおとなも家にいましたか？



この1週間の平日の日中、お子さまが家にいるときに、おとなの方も家にいましたか？



・おとなが「ときどきいた」「あまりいなかった」と回答したこどもは、小1-小3、小4-小6、中学生、高校生で各々5%、14%、21%、22%だった（こども回答）。

こどもたちの健康と生活の質（QOL）

0～2歳児の健康状態

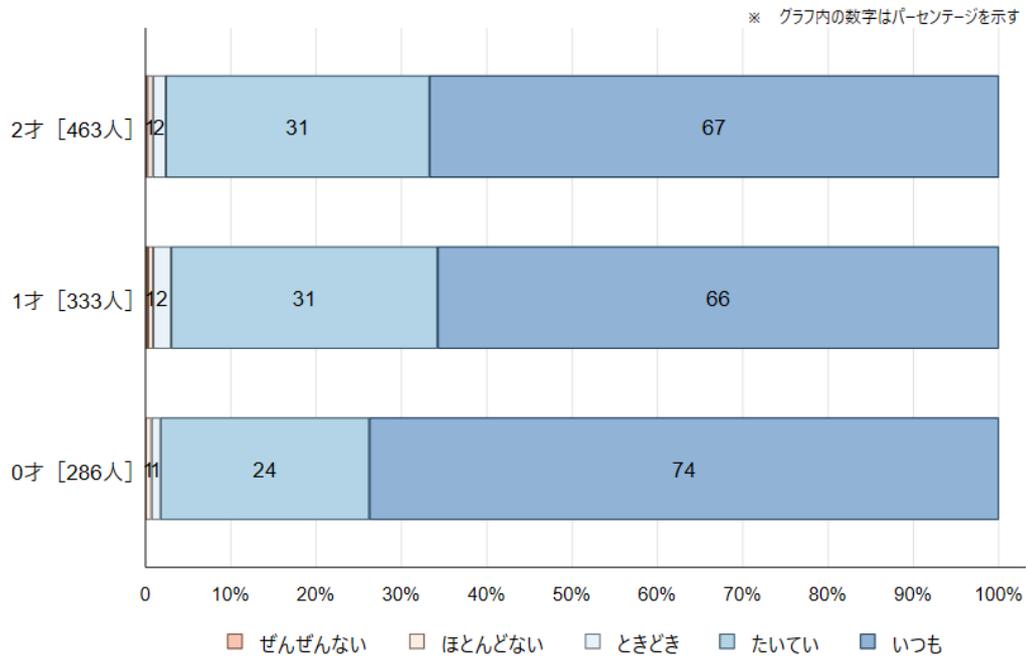
※0～2歳児の健康状態については、すべて **保護者** による回答より集計した。

全般的な健康状態

この1週間のお子さまの状態に、もっとも当てはまるものを選んでください。

[ぜんぜんない・ほとんどない・ときどき・たいてい・いつも]

概して健康だ

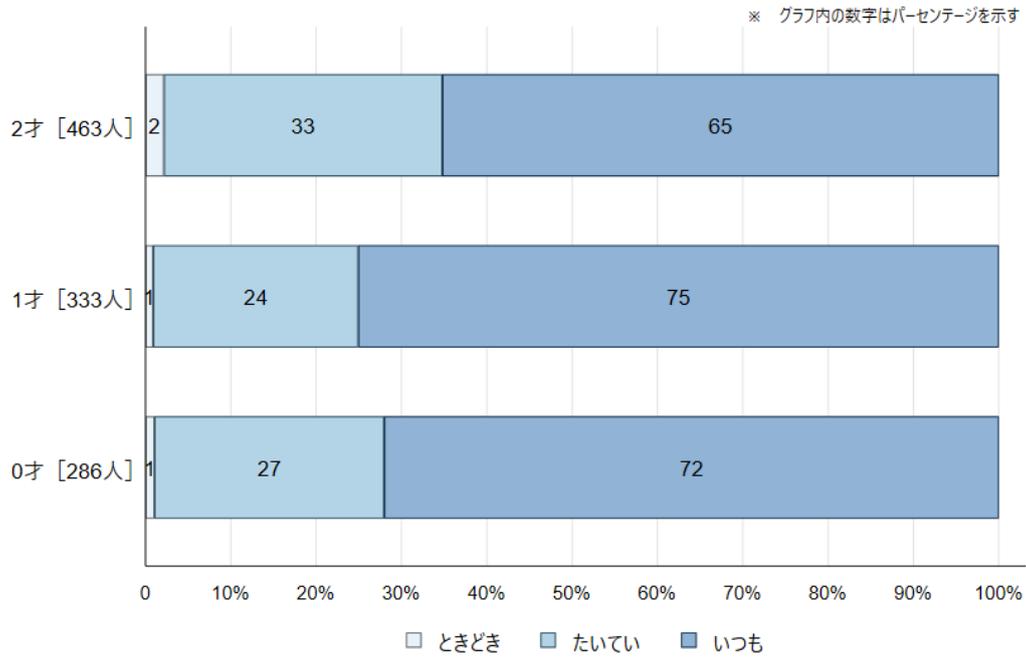


良いこころの状態 (well-being)

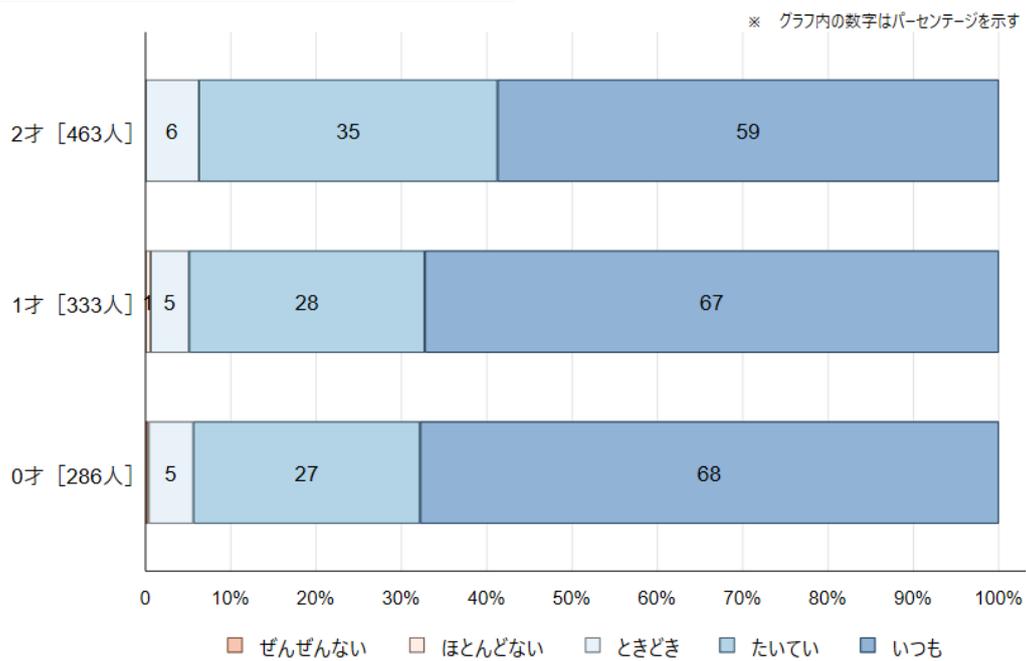
この1週間のお子さまの状態に、もっとも当てはまるものを選んでください。

[ぜんぜんない, ほとんどない, ときどき, たいてい, いつも]

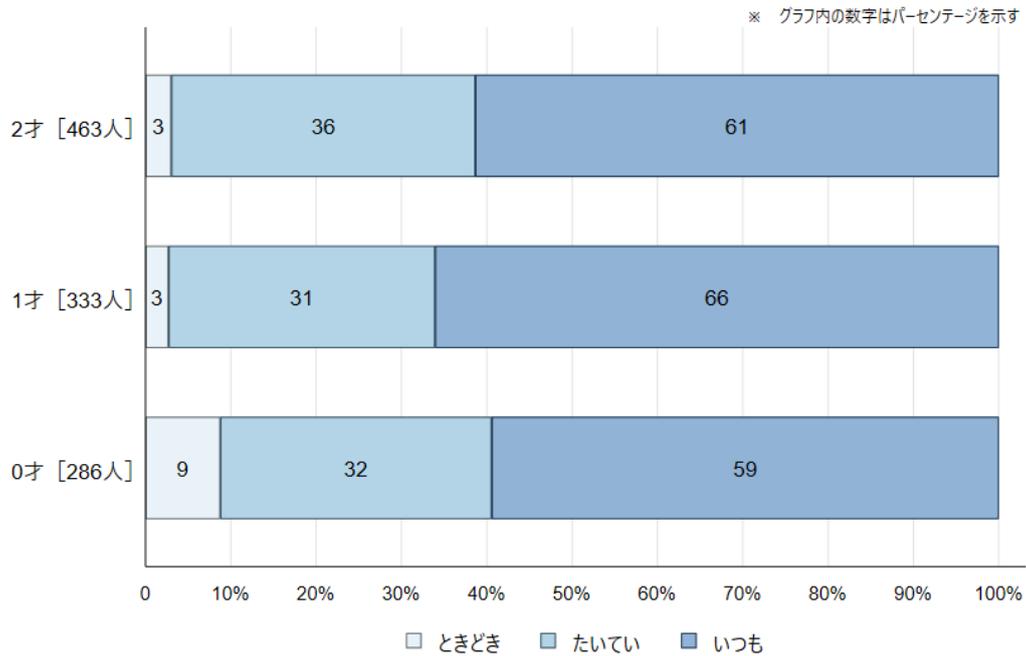
親と一緒にいると嬉しそうだ



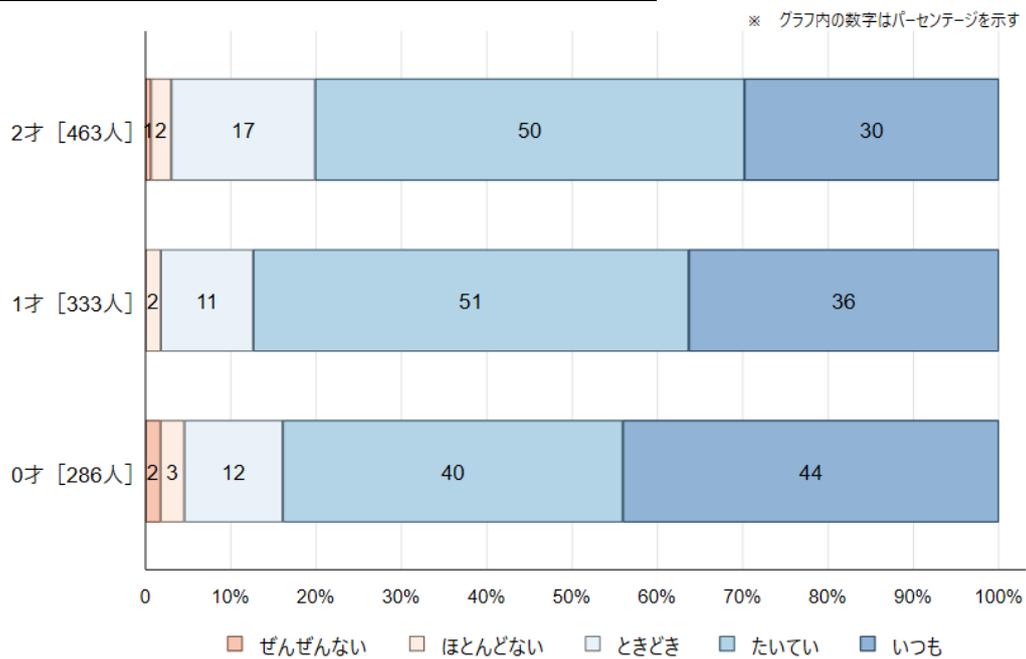
はじめてのことや新しいことに興味を示す



楽しそうによく笑う



思い通りにいかないことがあっても、素早く立ち直る



- ・ いずれの質問においても「いつも」「たいてい」（良い）が8割以上を占めた。
- ・ 「思いどおりにいかないことがあっても、すぐに立ち直る」については、「ぜんぜんない」「ほとんどない」「ときどき」が全体の16%を占めた。

3～17歳児の生活の質（QOL）

日本語版「KINDL^R」尺度（小学生版・中学生版・幼児版親用・小中学生版親用）により、

- ・身体的健康
- ・精神的健康
- ・自尊感情
- ・家族

の4つの領域について、こどもたちのQOLを測定した。

各4項目ずつ、計16項目に対して、この1週間の状態を

[ぜんぜんない、ほとんどない、ときどき、たいてい、いつも]

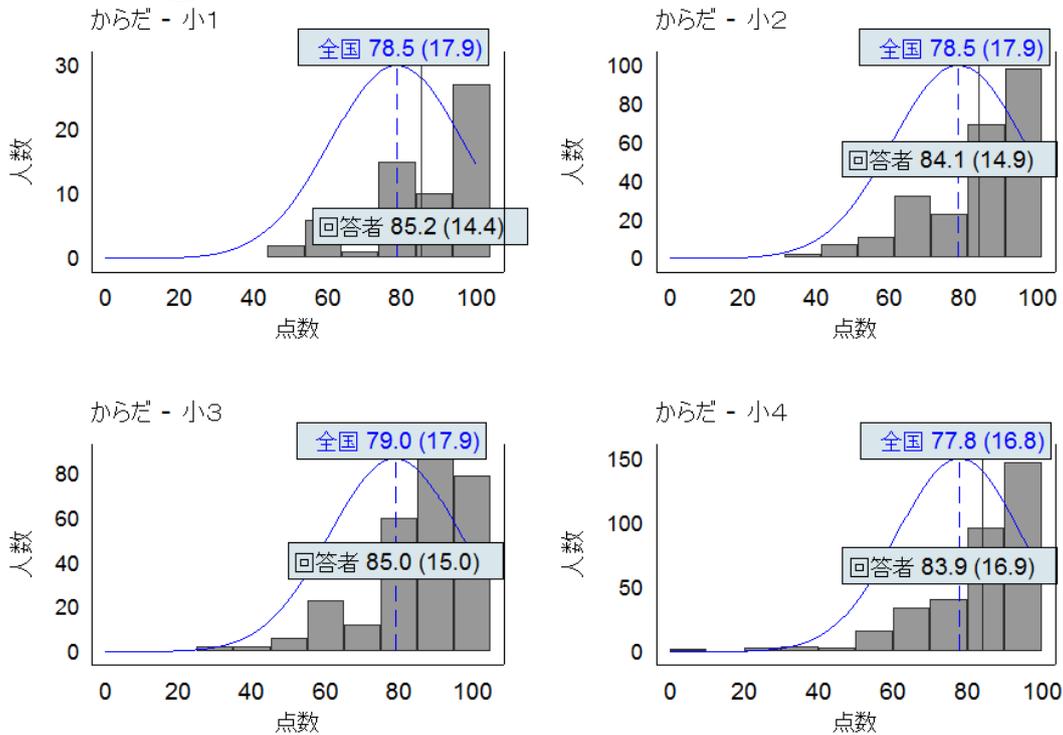
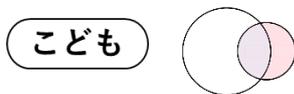
の5段階で回答してもらい、各領域0～100点で換算している。

（高得点ほどその領域のQOLが高いことを意味する。）

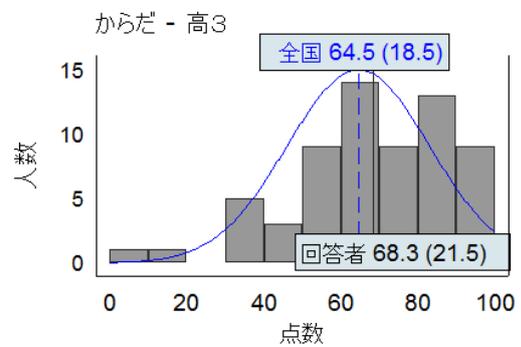
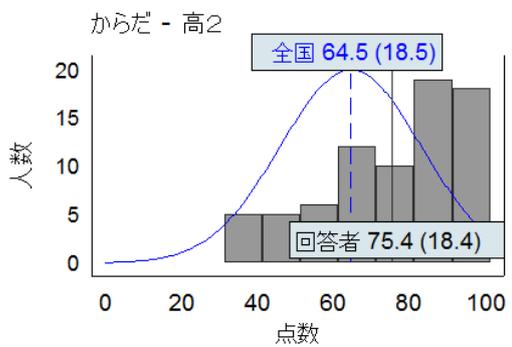
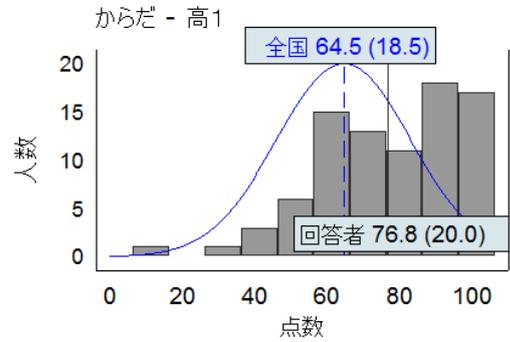
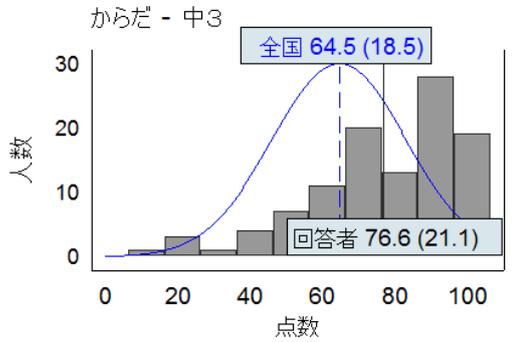
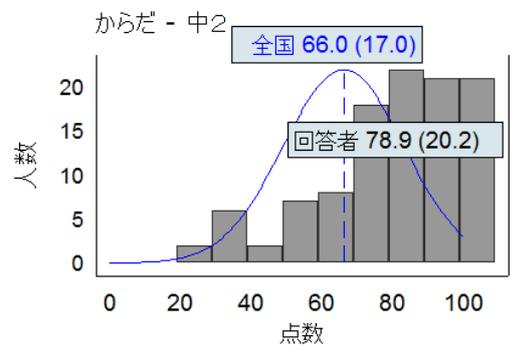
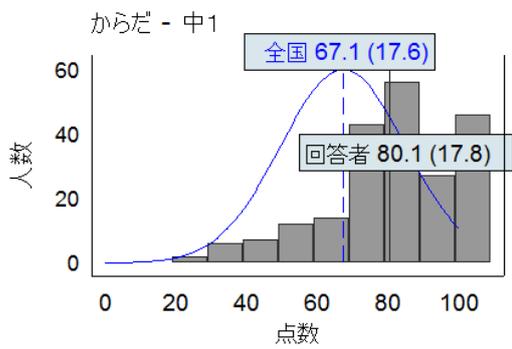
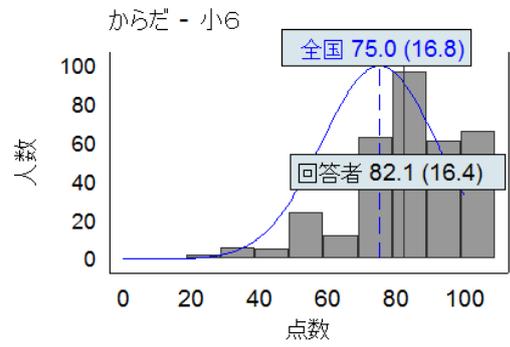
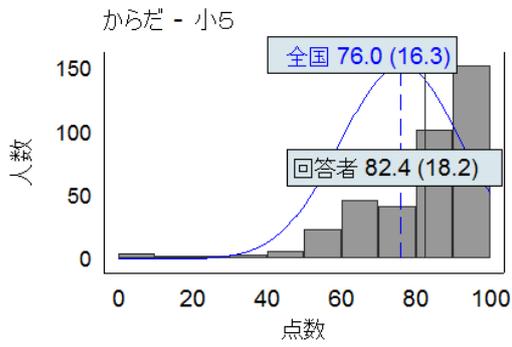
いずれのグラフも灰色のヒストグラムは回答者の得点分布、黒色直線は回答者の平均点、青色破線は標準（2014年時全国標準）の平均点、青色曲線は標準の平均点と標準偏差をもとに正規分布を仮定して描いた参考分布を表している。

四角内の数字は「平均点（標準偏差）」で、黒字が回答者、青字が標準のものである。

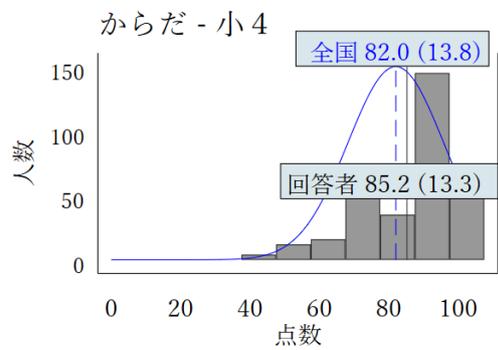
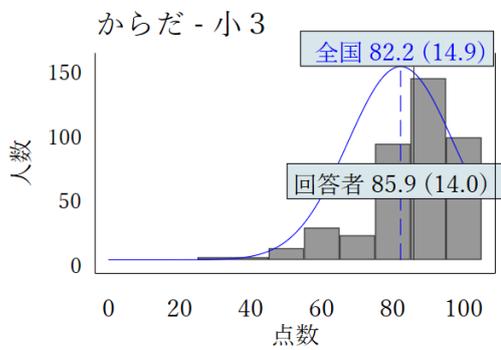
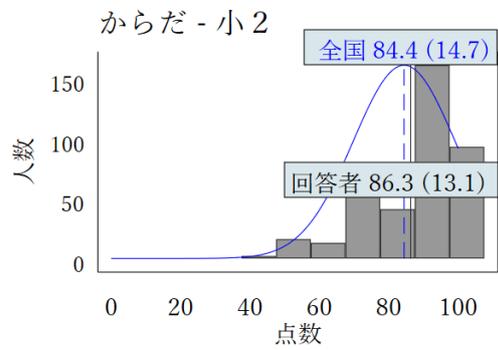
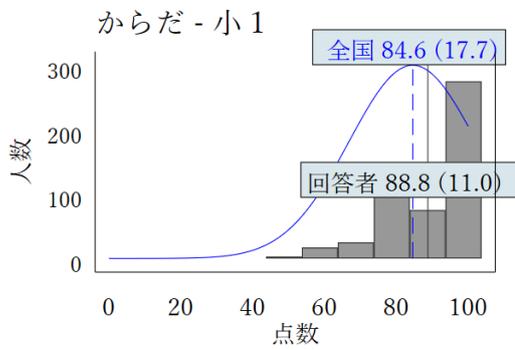
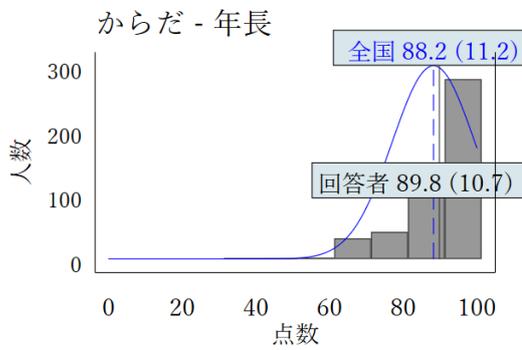
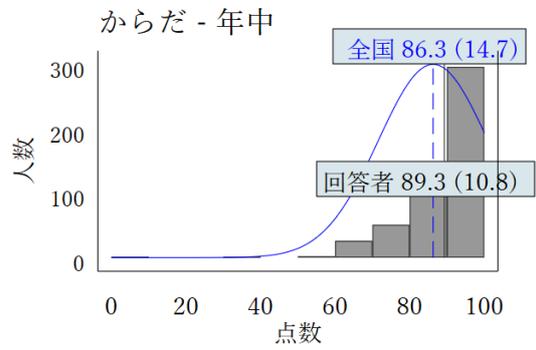
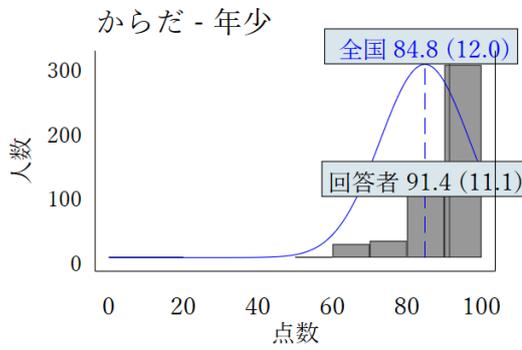
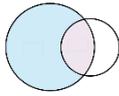
身体的健康

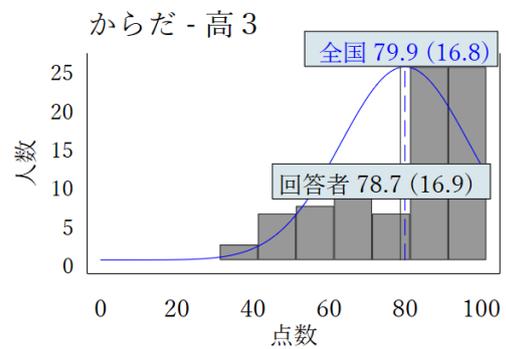
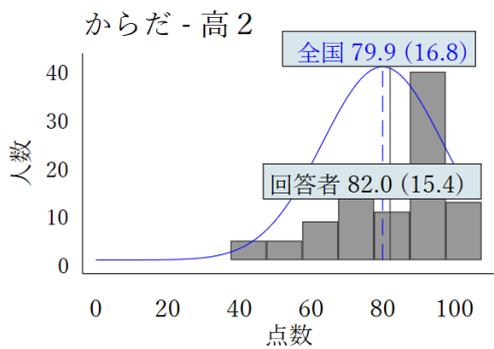
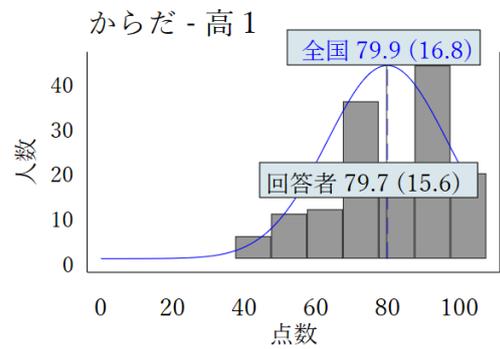
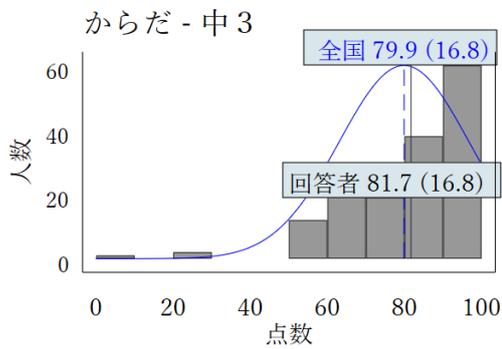
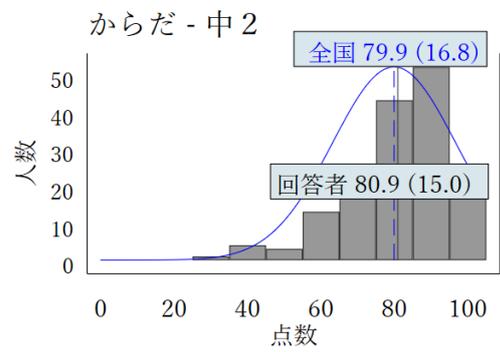
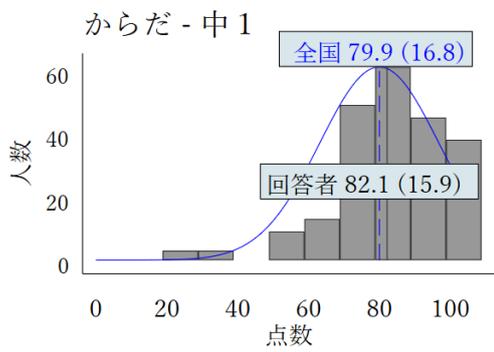
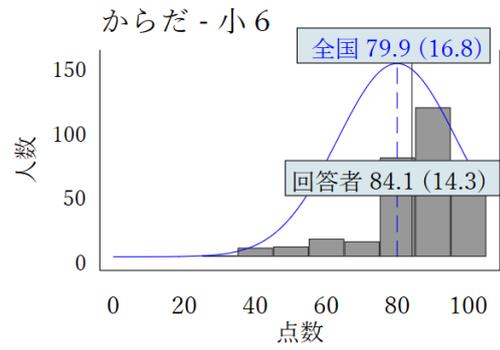
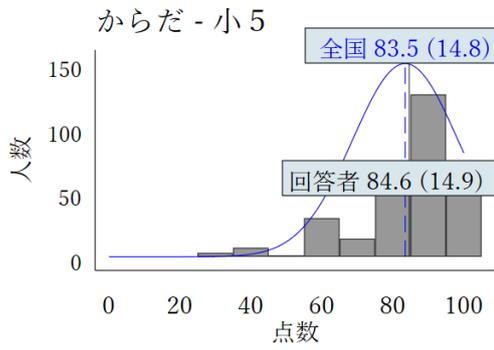


コロナ×こどもアンケート 報告書



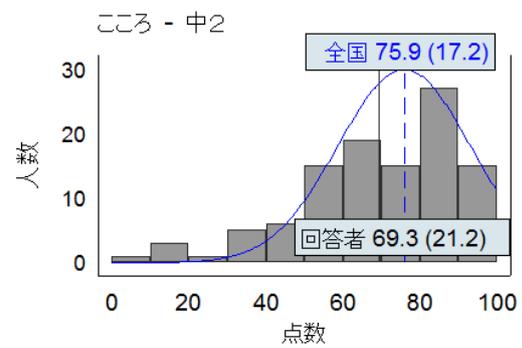
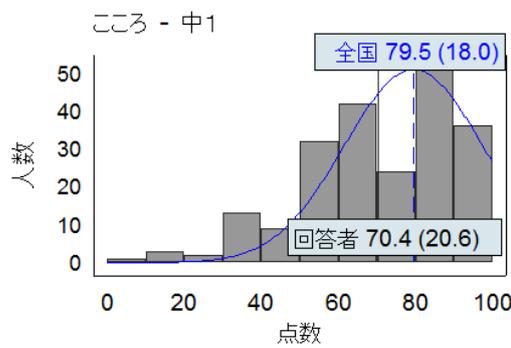
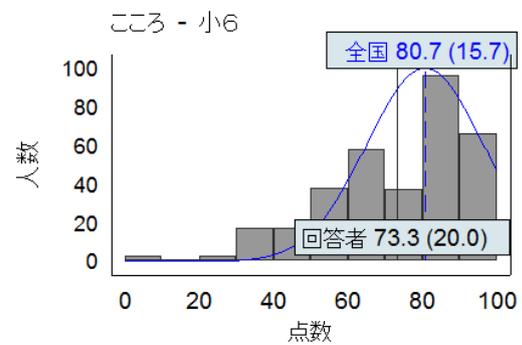
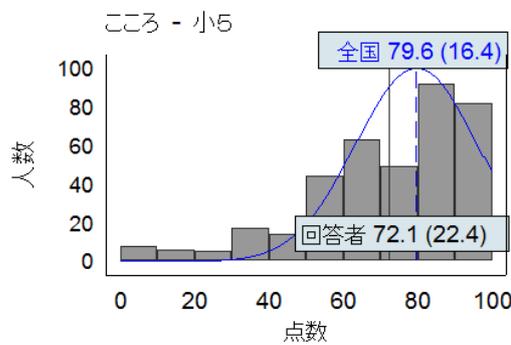
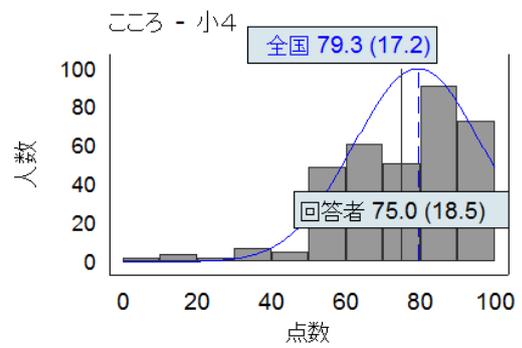
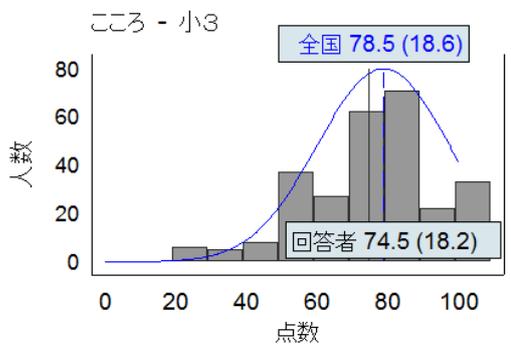
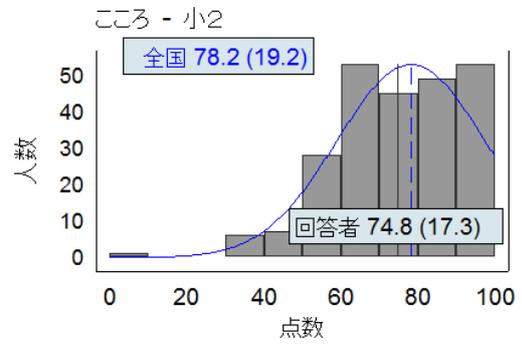
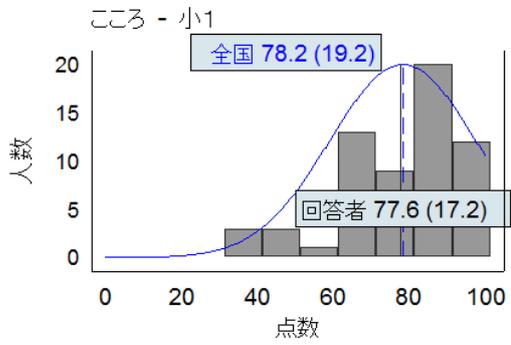
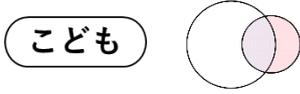
保護者



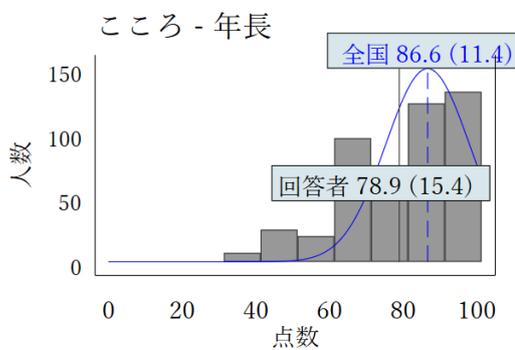
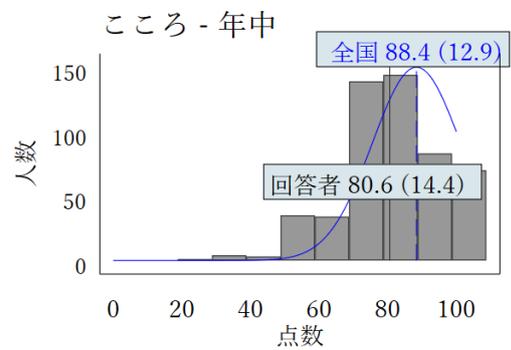
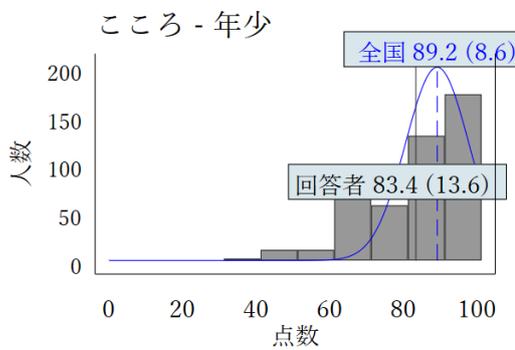
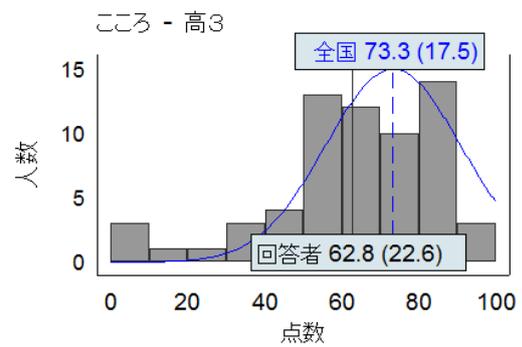
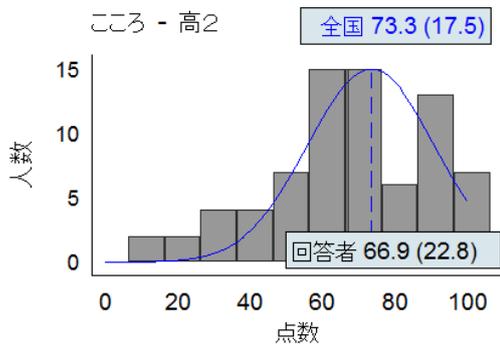
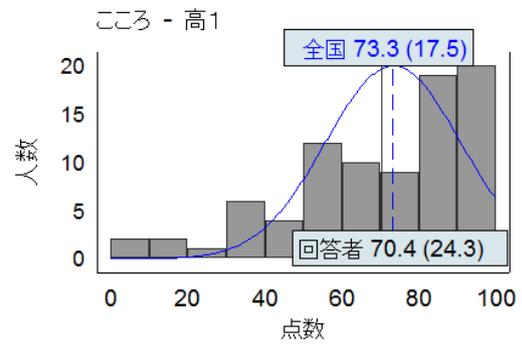
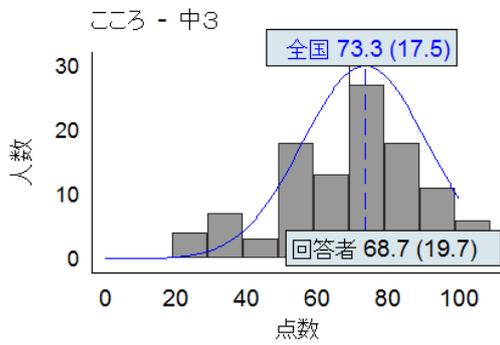


- ・身体的健康について、こどもの回答ではいずれの学年も標準の平均値より高かった。
- ・一方、保護者の回答では、一部の学年では標準の平均値より低かった。

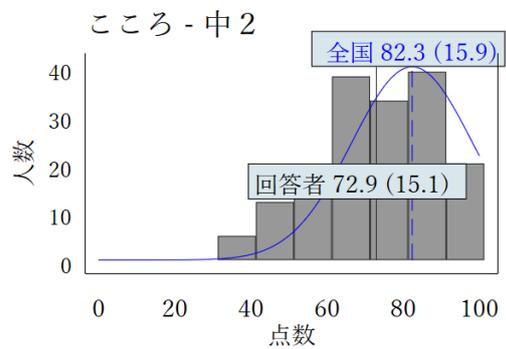
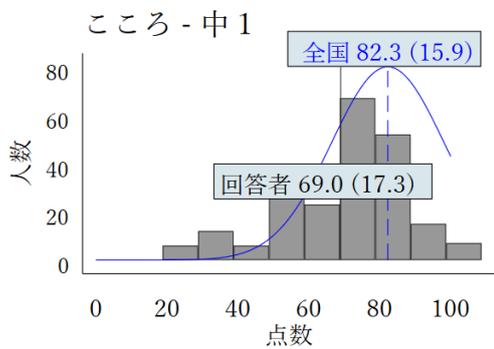
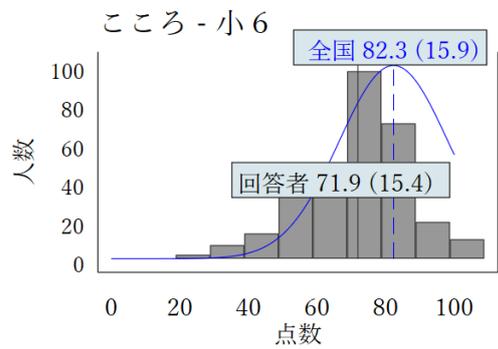
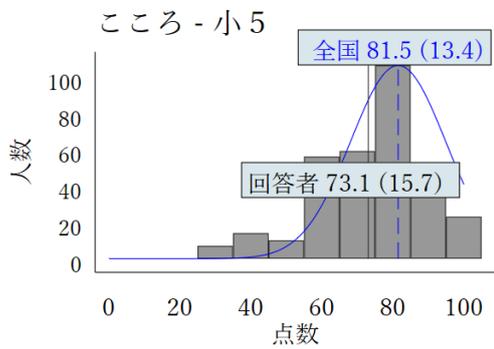
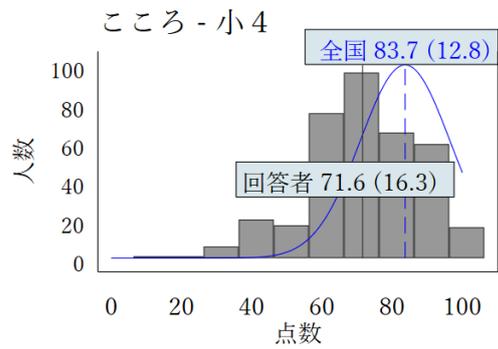
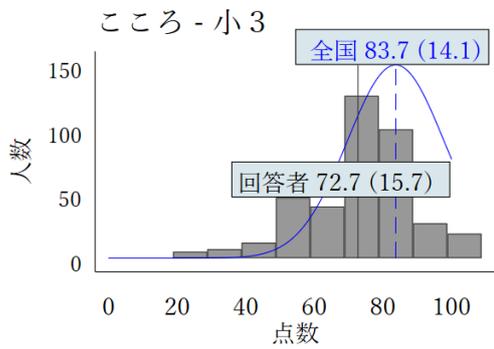
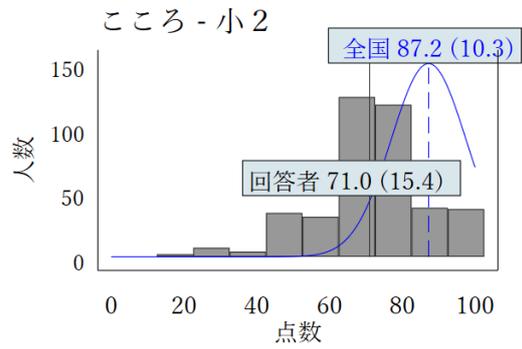
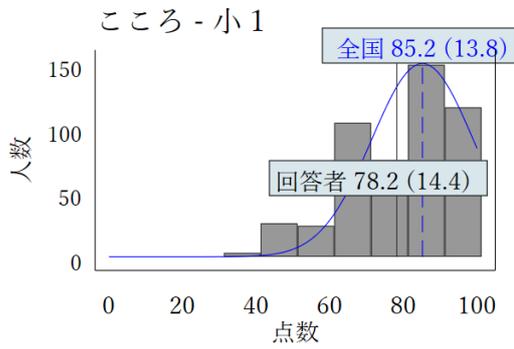
精神的健康

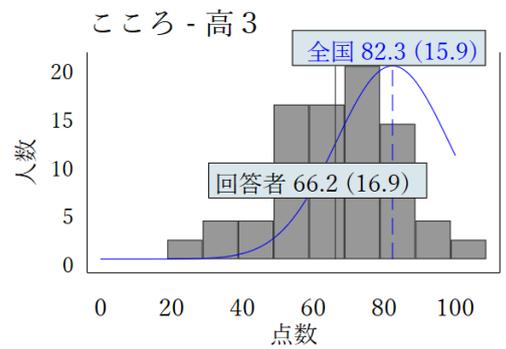
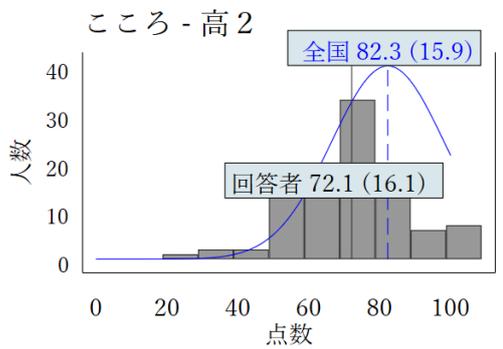
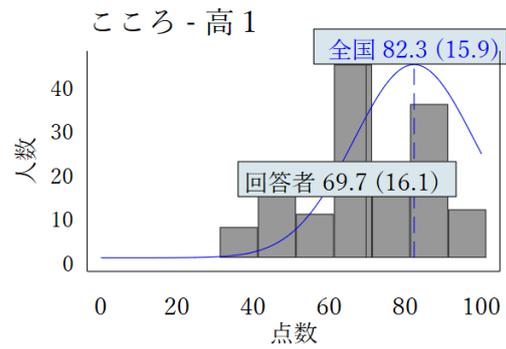
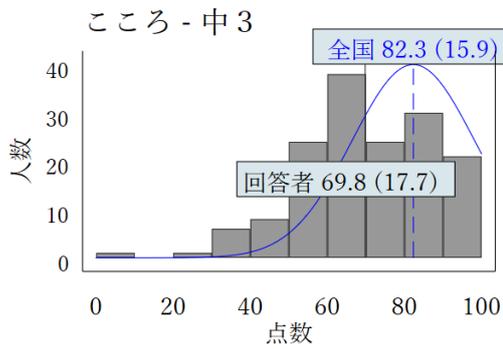


コロナ×こどもアンケート 報告書



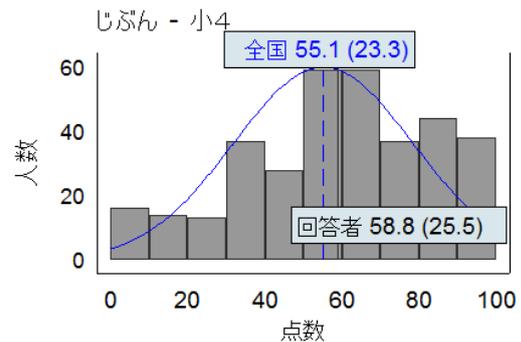
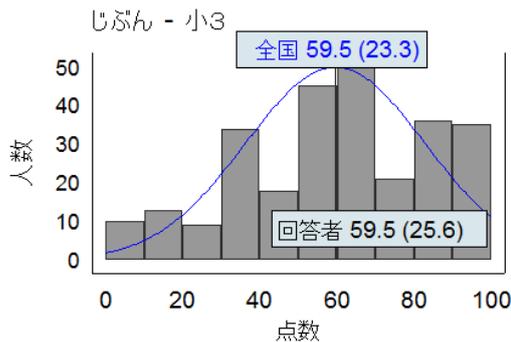
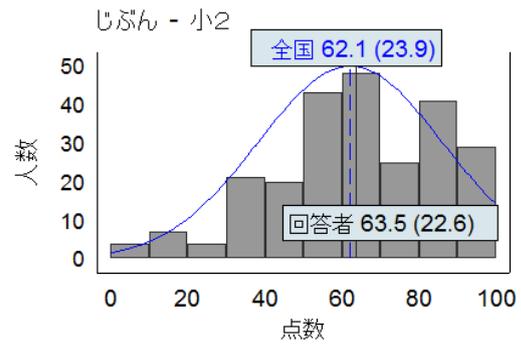
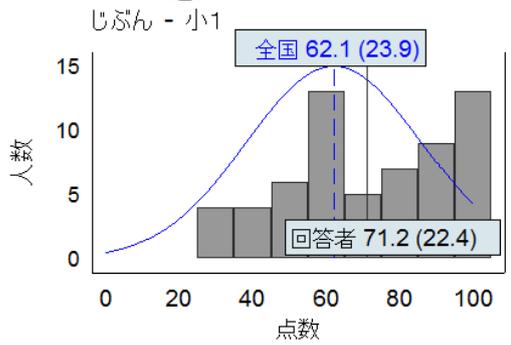
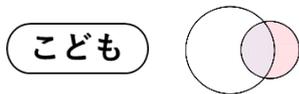
コロナ×こどもアンケート 報告書



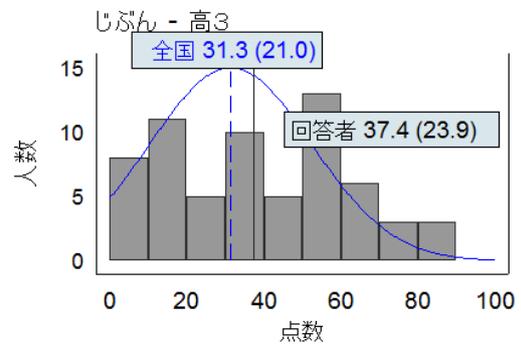
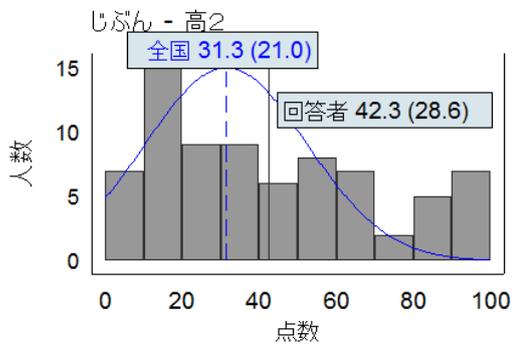
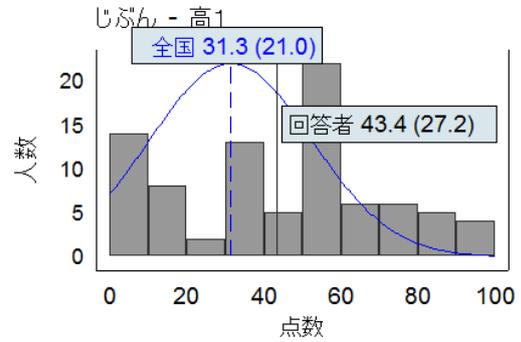
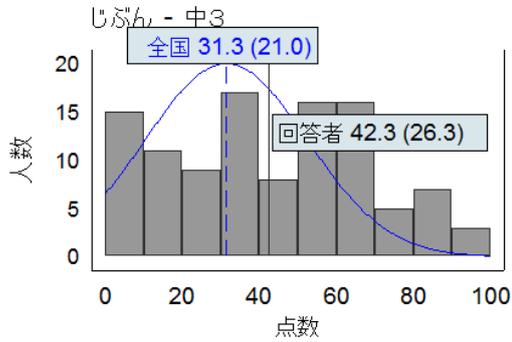
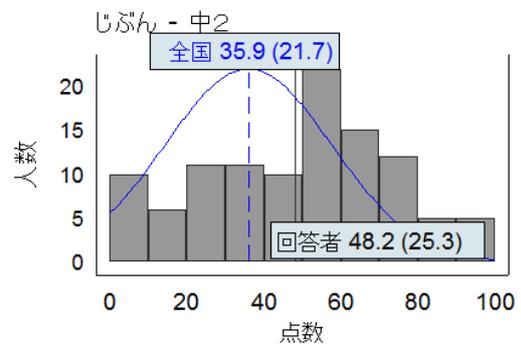
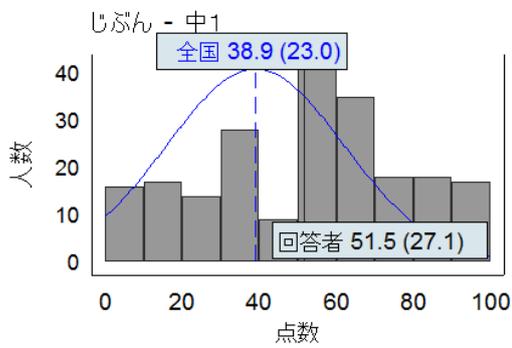
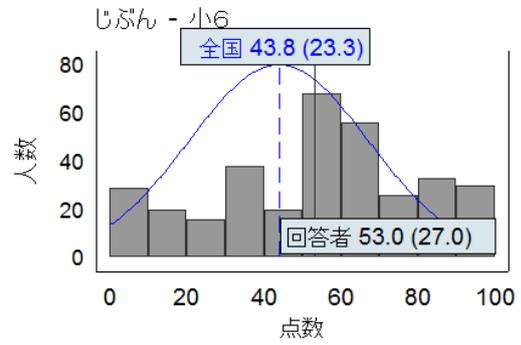
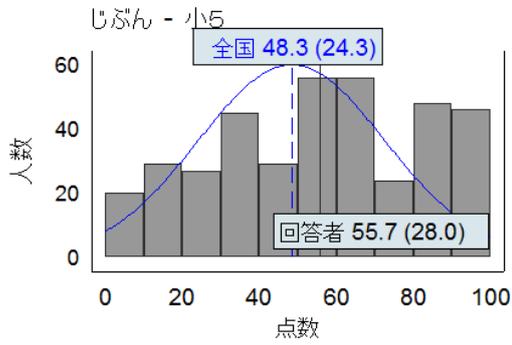


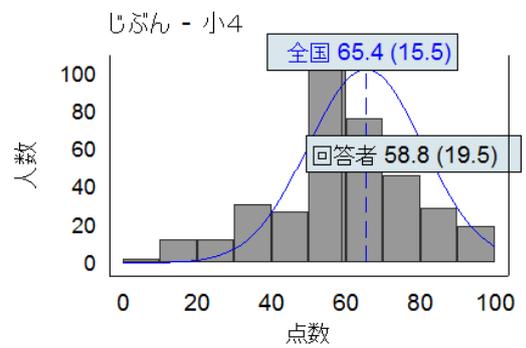
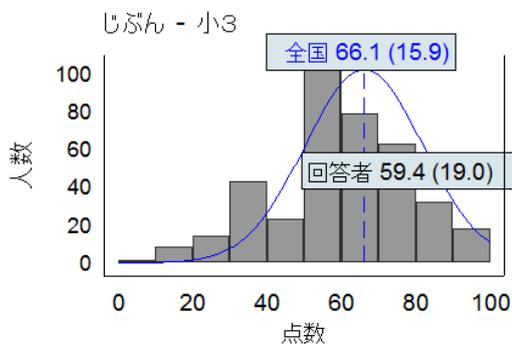
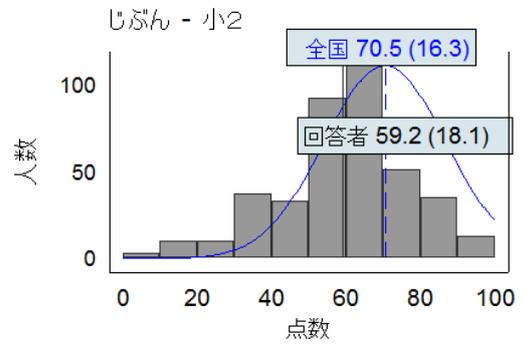
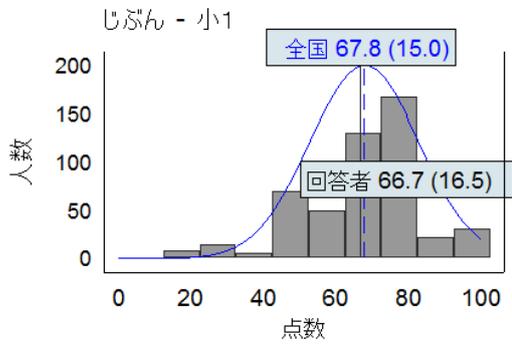
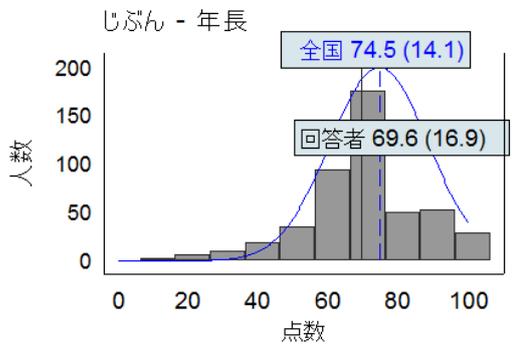
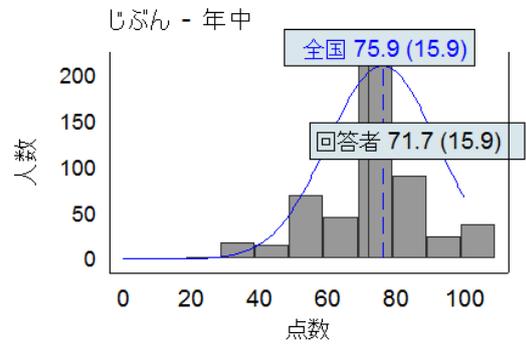
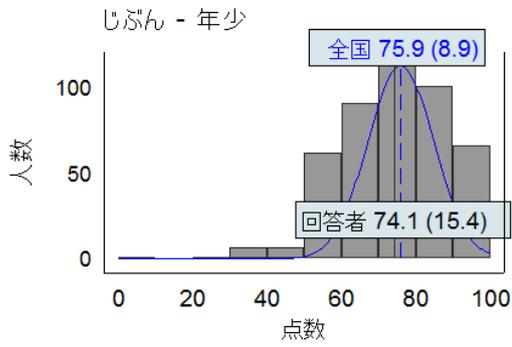
・精神的健康について、こども・保護者の回答どちらも全学年で標準の平均値より低かった。

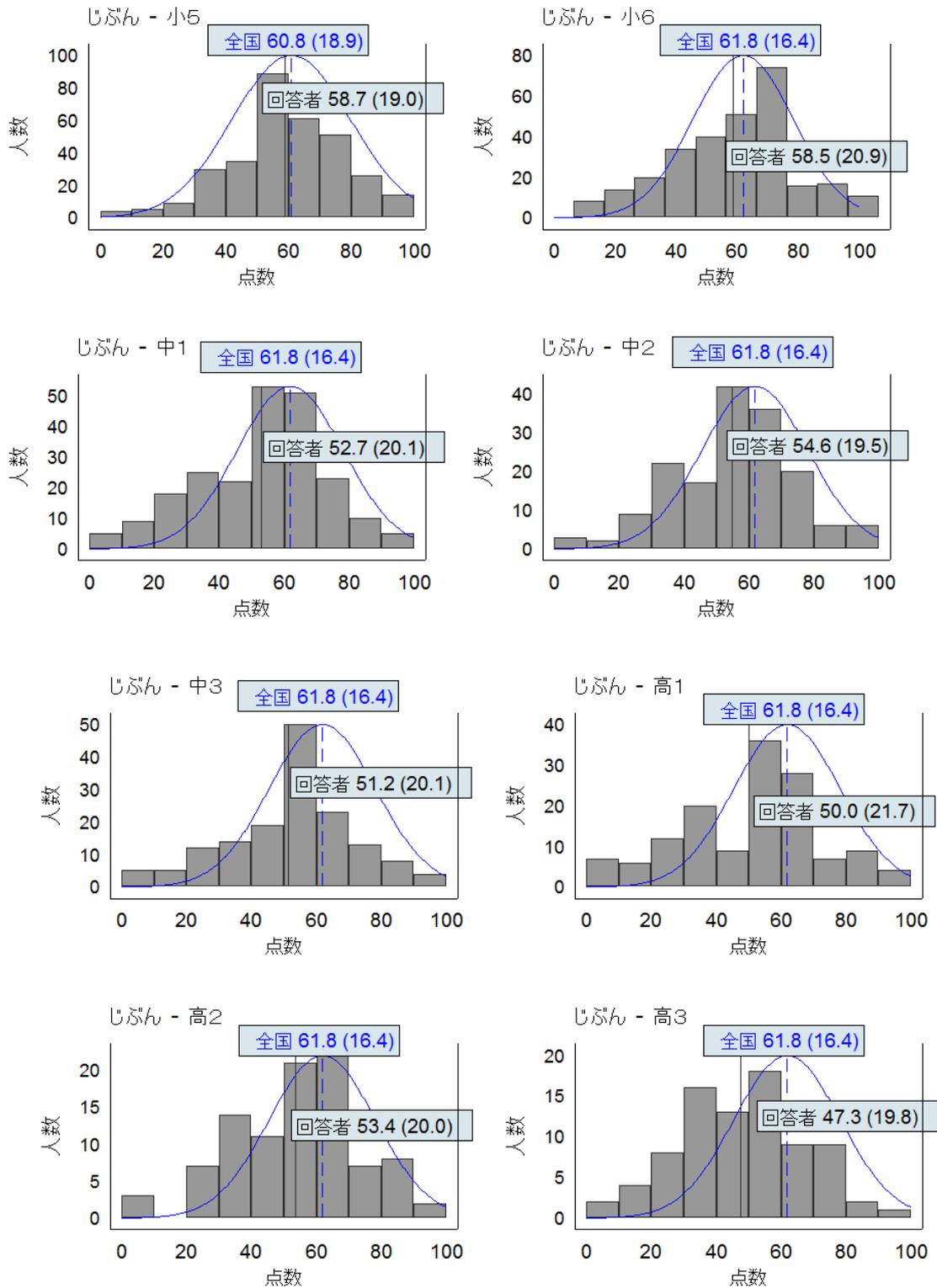
自尊感情



コロナ×こどもアンケート 報告書

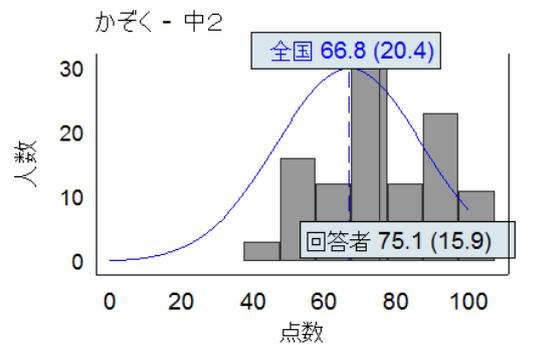
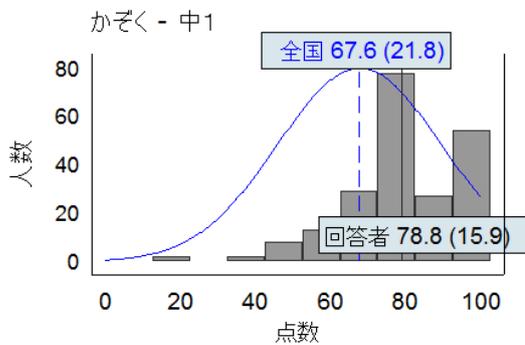
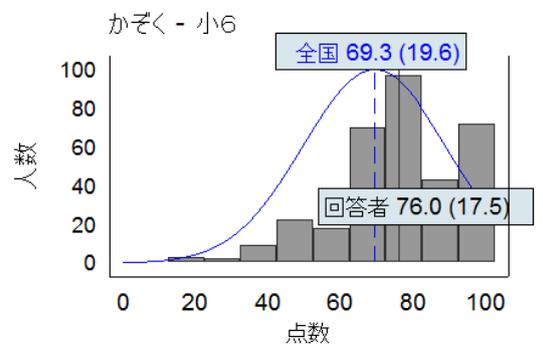
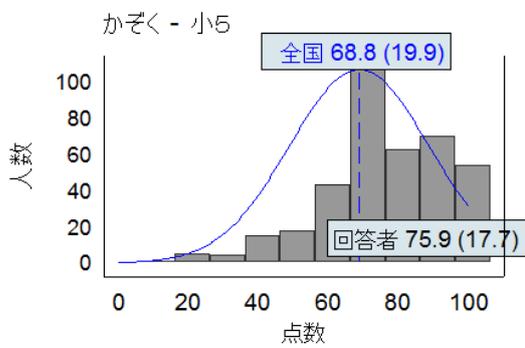
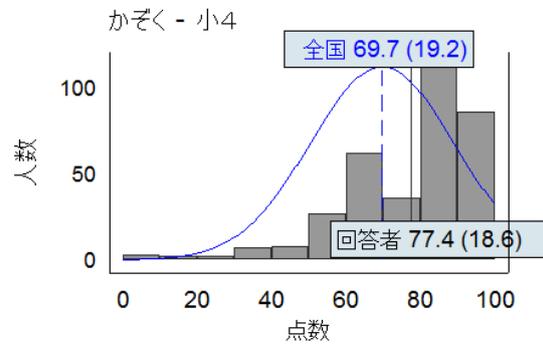
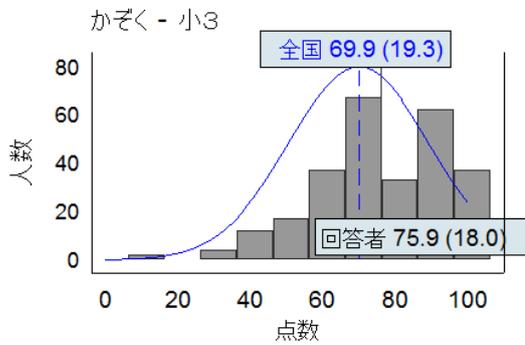
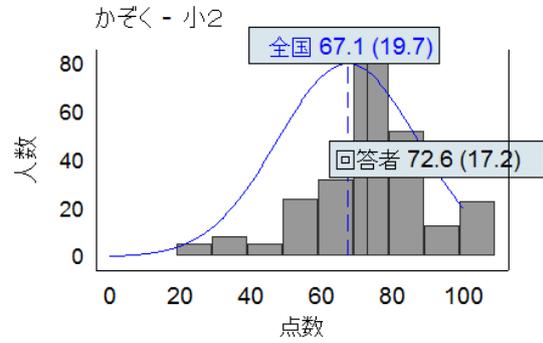
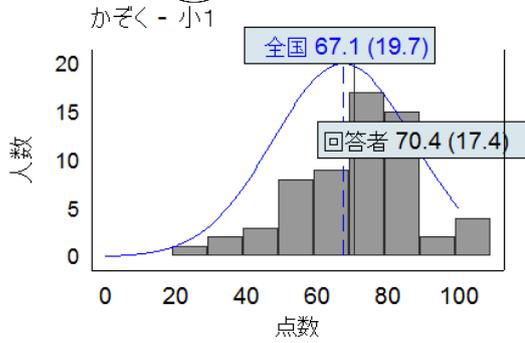
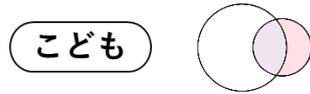


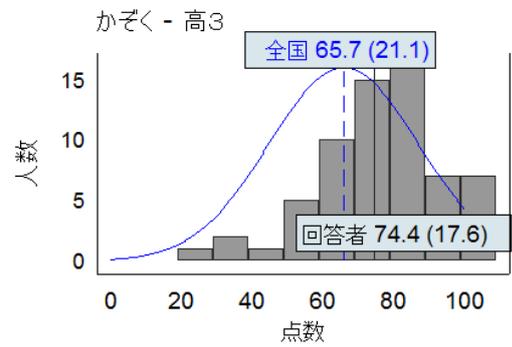
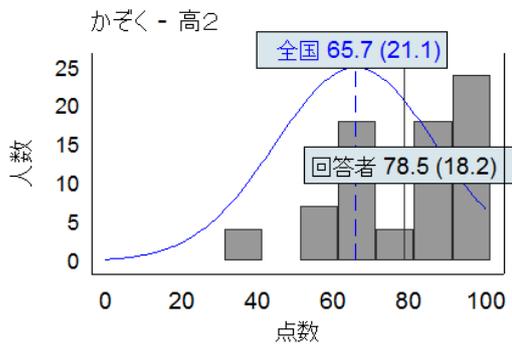
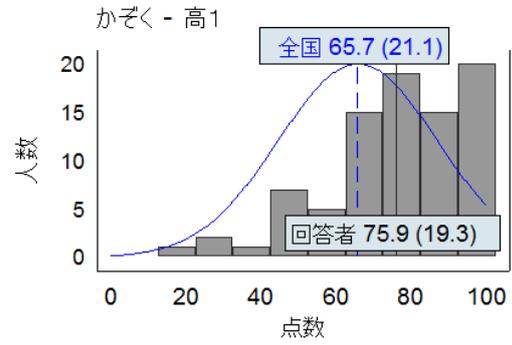
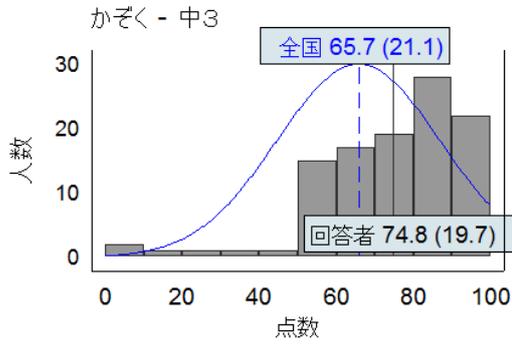




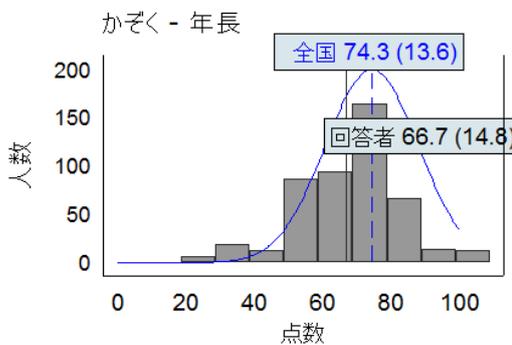
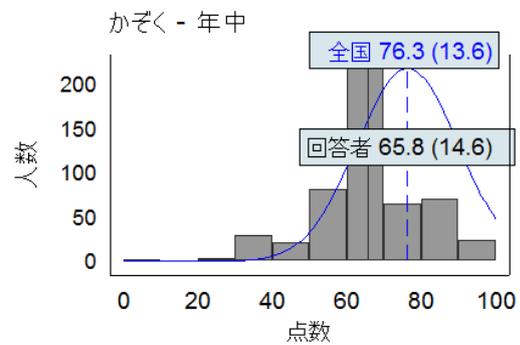
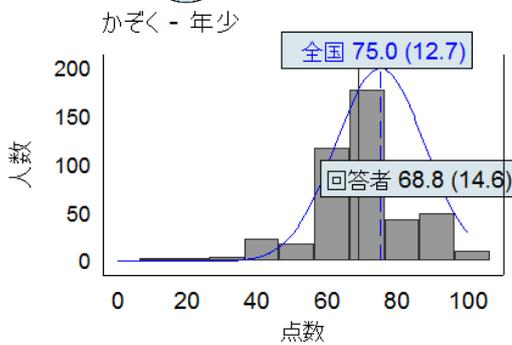
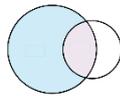
- ・ 自尊感情について、こどもの回答では、どの学年の平均値も標準の平均値より高かった。
- ・ 一方、保護者の回答では、いずれの学年の平均値も標準の平均値より低かった。

家族

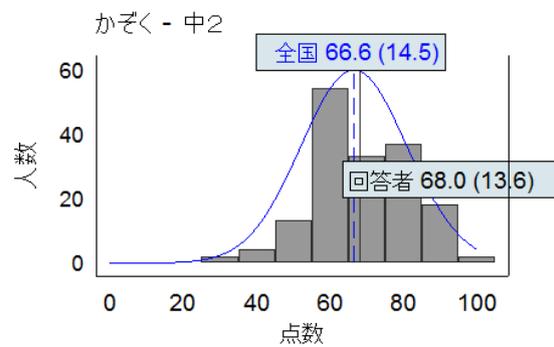
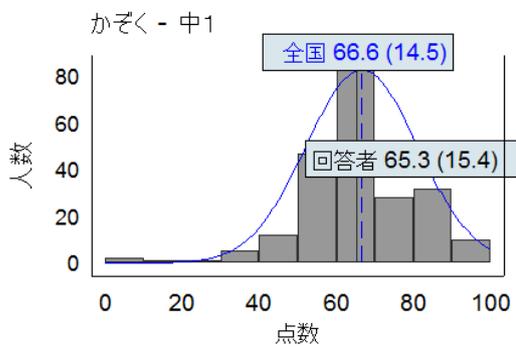
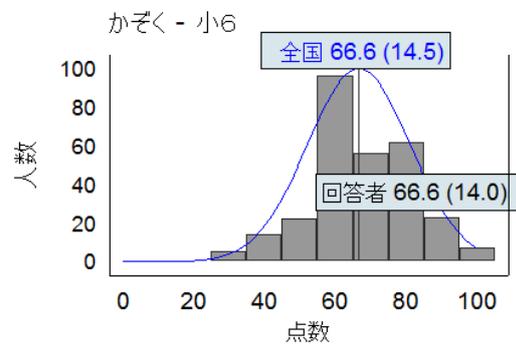
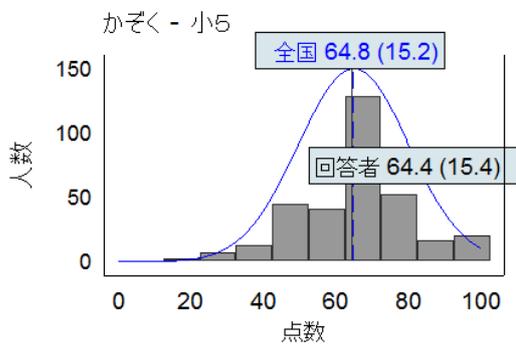
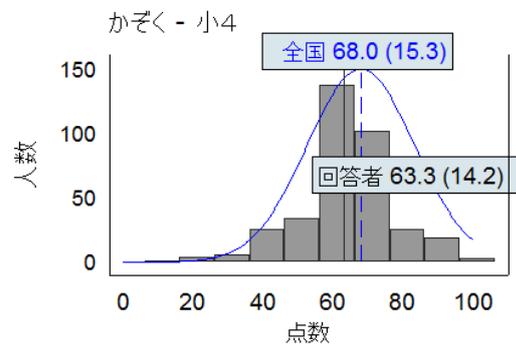
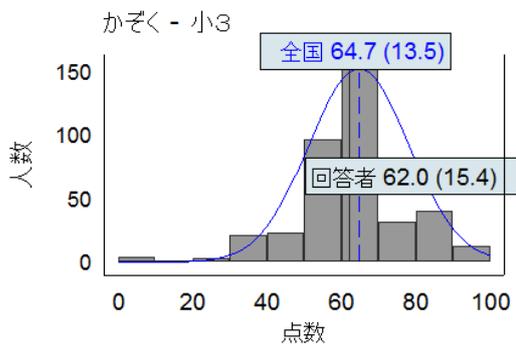
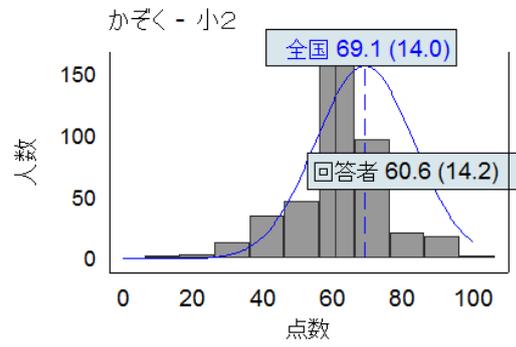
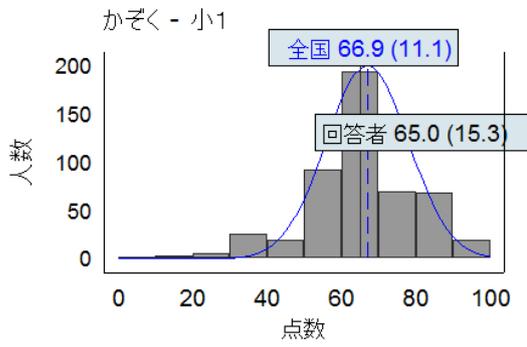




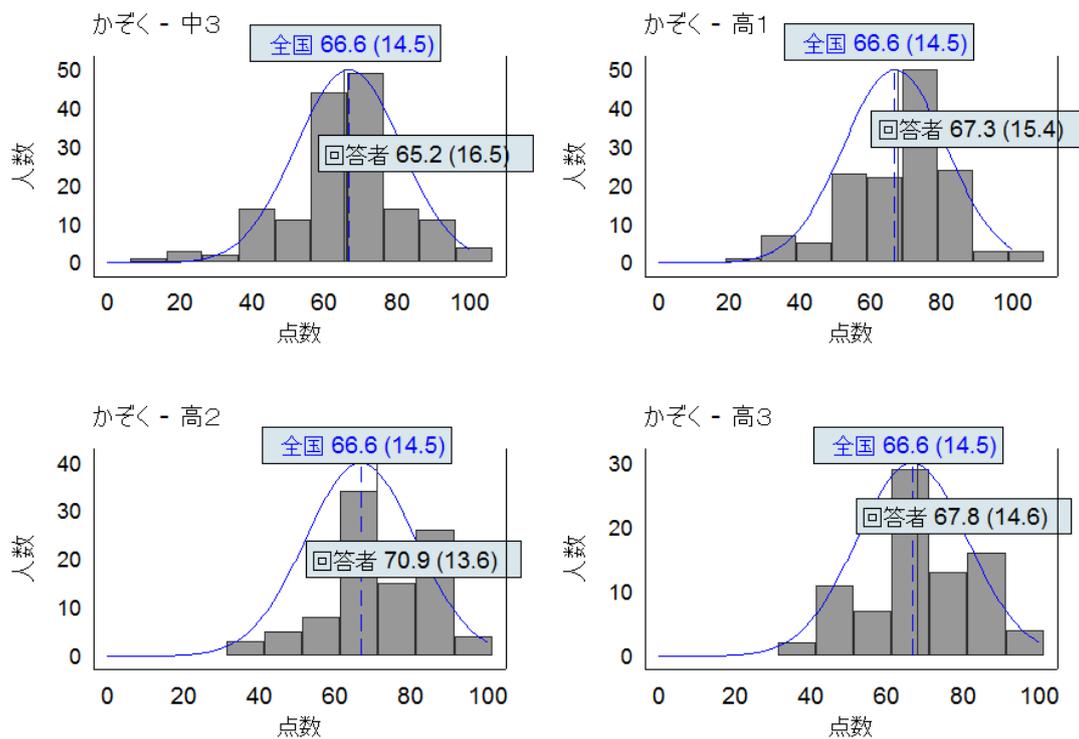
保護者



コロナ×こどもアンケート 報告書



コロナ×こどもアンケート 報告書

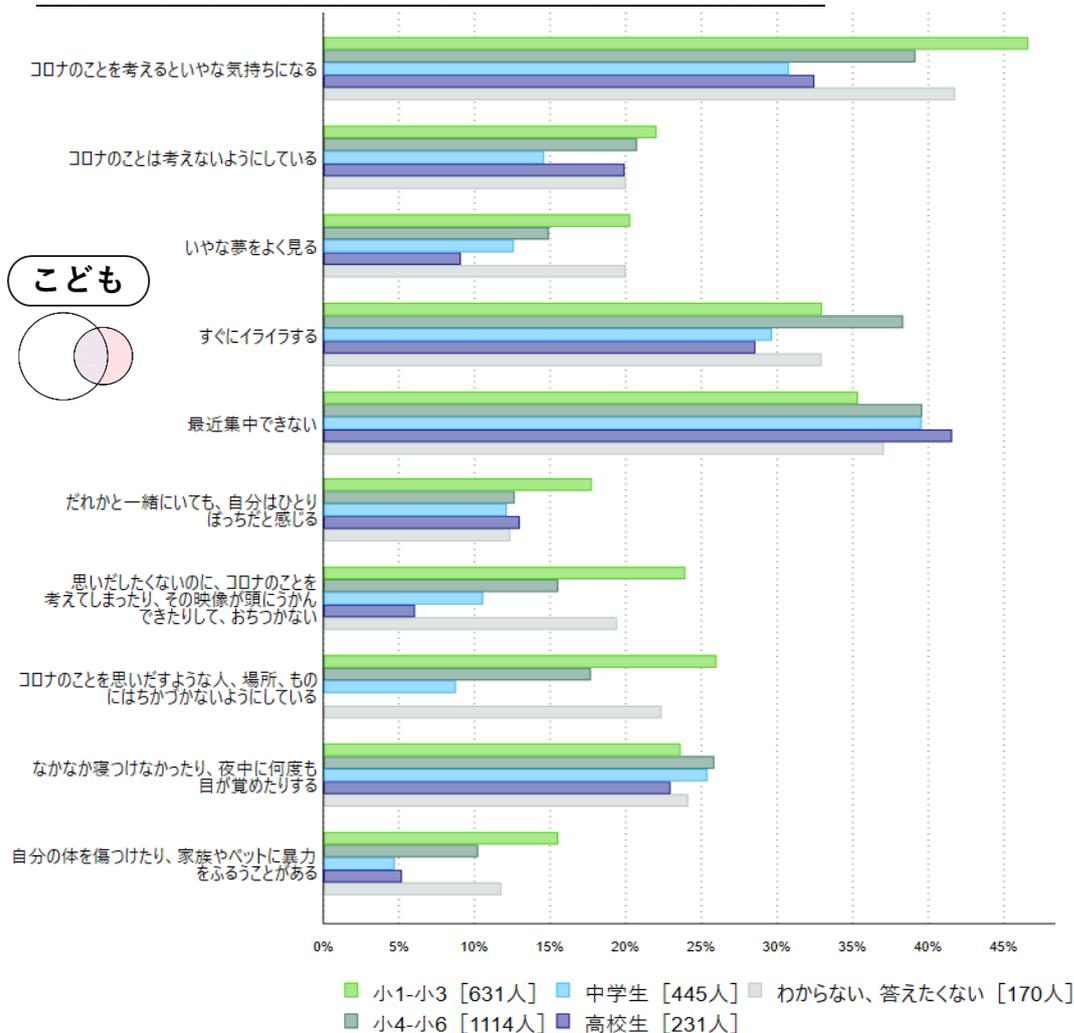


- ・ 家族について、こどもの回答ではいずれの学年の平均値も標準の平均値より高かった。
- ・ 一方、保護者の回答では、中学生以下のほとんどの学年で標準より低かった。

ストレス反応

症状

あなたにあてはまり、困っていることを全部選んでください。



- ・全体の75%に、何らかのストレス反応・症状がみられた。
- ・「コロナのことを考えるといやな気持ちになる」は、小1～3の47%が該当した。
- ・「最近集中できない」は、小4～6・中学生の40%、高校生の42%が、該当した。
- ・「だれかと一緒にいても、自分はひとりぼっちだと感じる」は、小1～3の18%が、該当した。
- ・「なかなか寝つけなかったり、夜中に何度も目が覚めたりする」は20%強が該当した。
- ・「自分の体を傷つけたり、家族やペットに暴力をふるうことがある」は、小1～3の16%、小4～6の10%が、該当した。

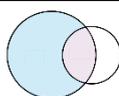
註)「コロナのことを思いだすような人、場所、ものにはちがつかないようにしている」の項は、14歳以上の調査票で項目が抜け落ちてしまったため、中高校生のデータが欠損。

保護者には、各ストレス反応の頻度を下記のように詳しく聞いた。

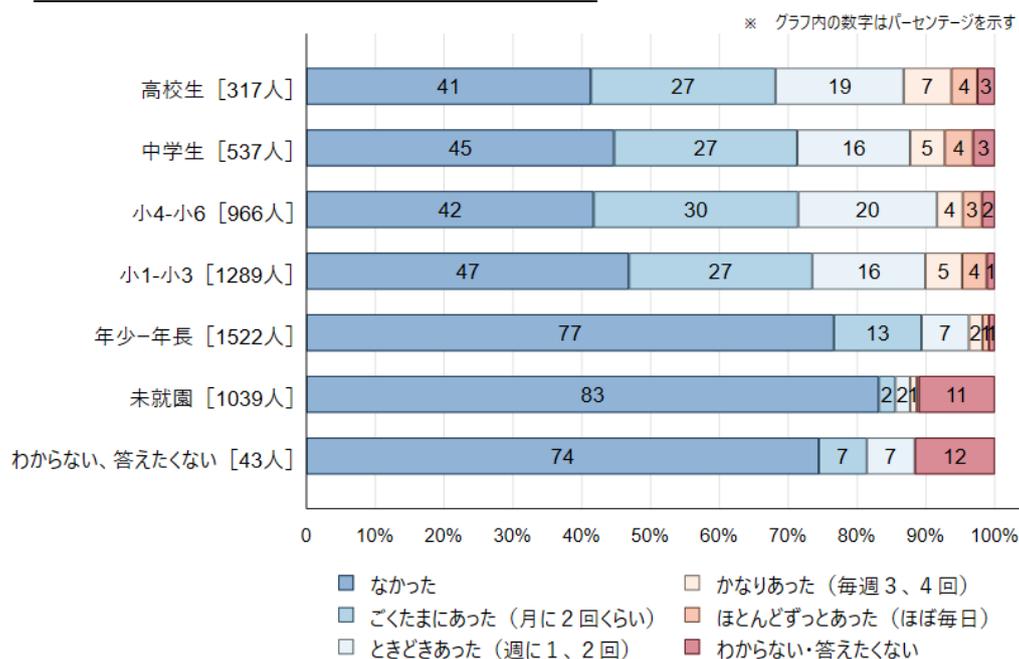
ここでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活の変化（休園や外出自粛など）を思い浮かべながら、この1ヶ月間のお子さまの様子について、もっとも当てはまるものを選んでください。

[なかった、ごくたまにあった（月に2回くらい）、ときどきあった（週に1、2回）、かなりあった（毎週3、4回）、ほとんどずっとあった（ほぼ毎日）、わからない・答えたくない]

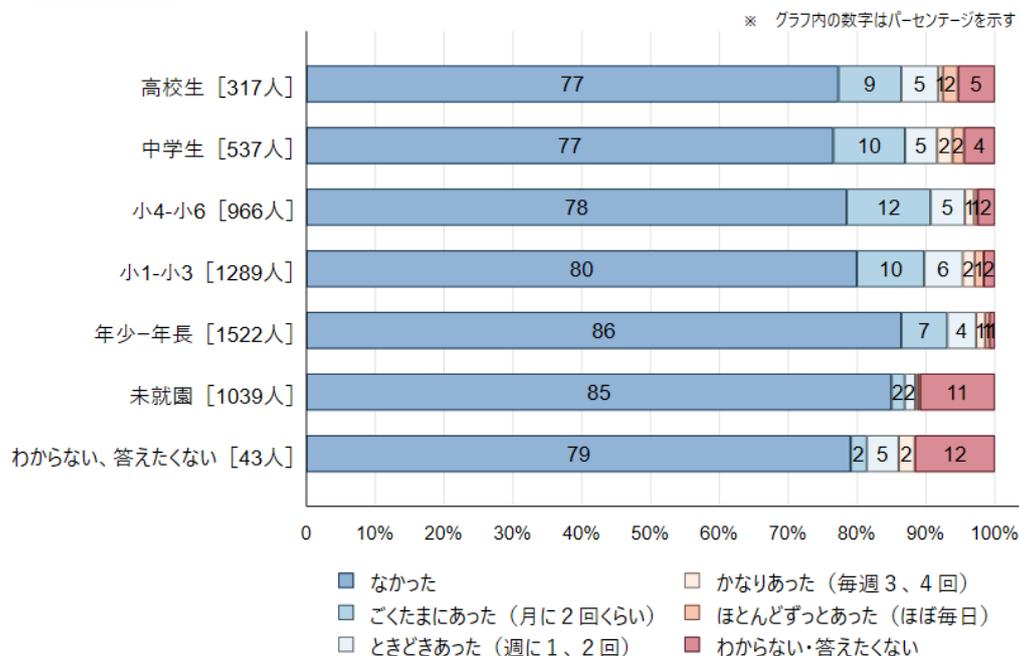
ここでは、すべて **保護者** の回答を集計した。



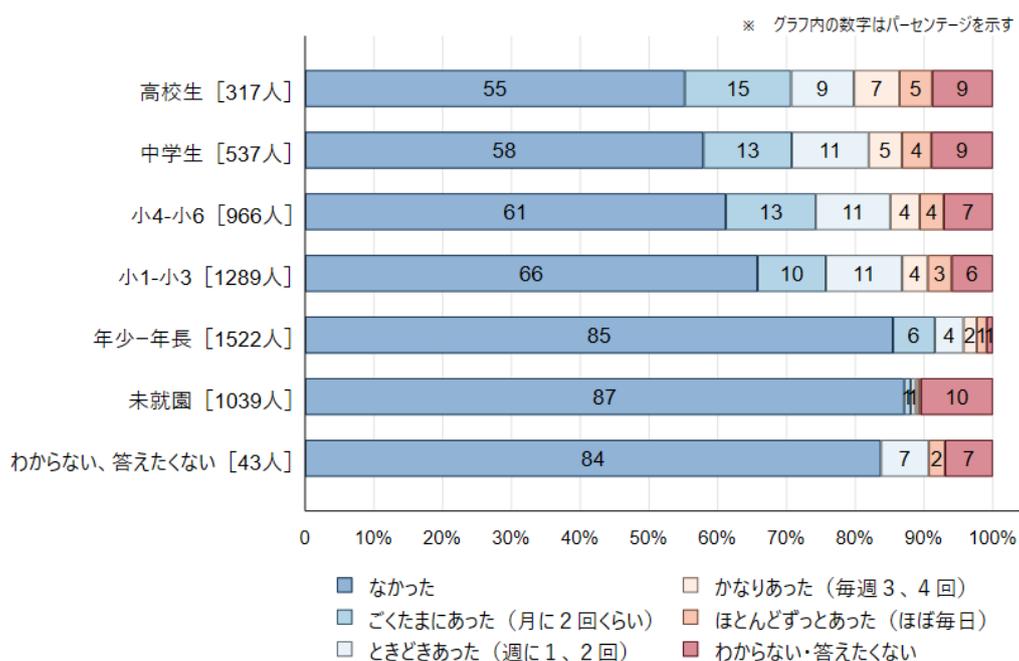
1) コロナに関連すること（生活の変化など）を思いだしたとき、すごく嫌な気持ちになったり、怖くなったり、悲しくなったりしているようだ（急に泣き出す、陰に隠れてしまう、など）



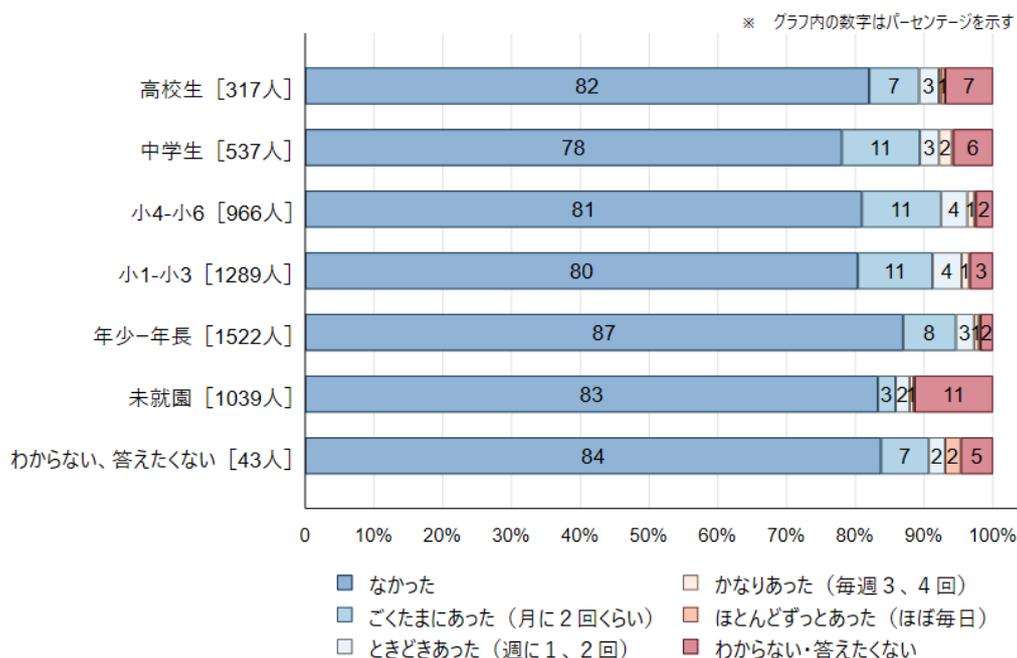
2) コロナに関連することを思い出したとき、癩癩（かんしゃく）をおこしたり、そのことに関連した遊び（ごっこ遊びなど）に没頭（ぼっとう）したりすることがある



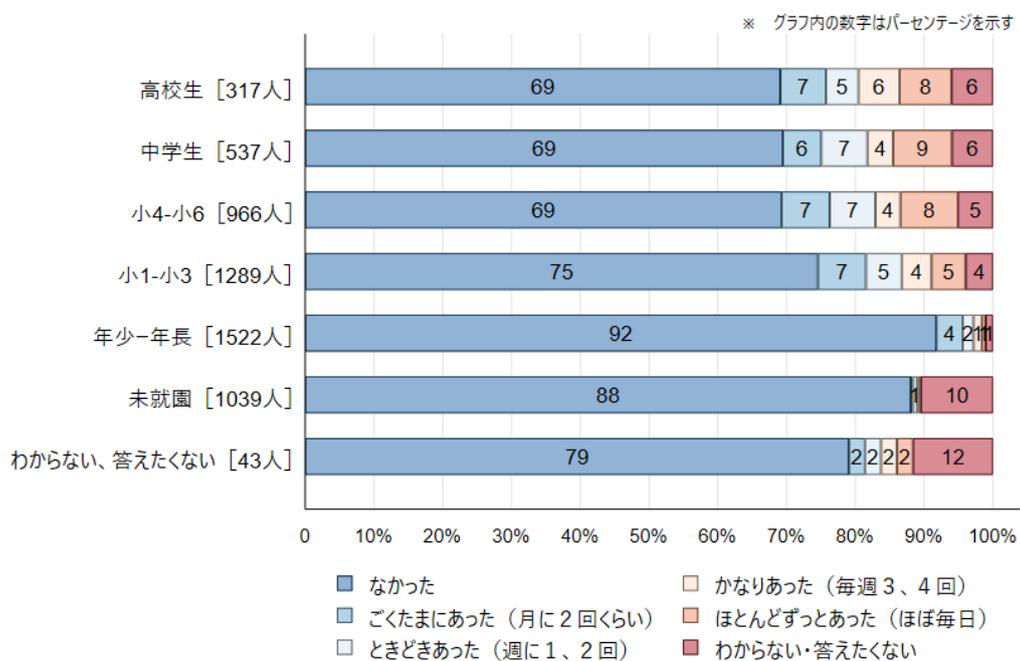
3) コロナに関連することを思いださせる場所や活動を嫌がり、避けようとする (そのことに関連したテレビの映像を避けようとする、など)



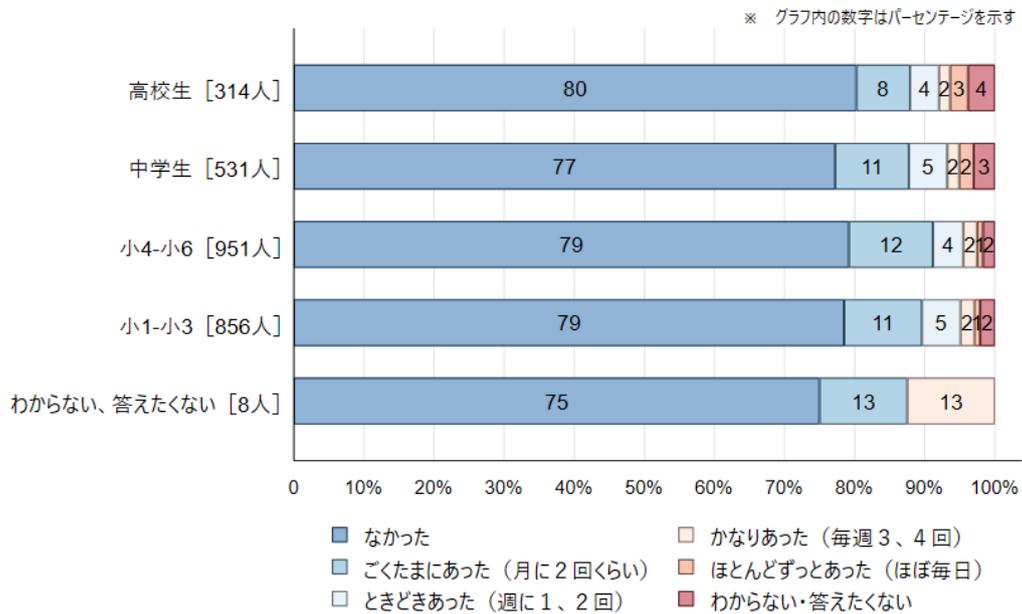
4) コロナに関連する悪夢や、そのほかの悪夢をみているようだ



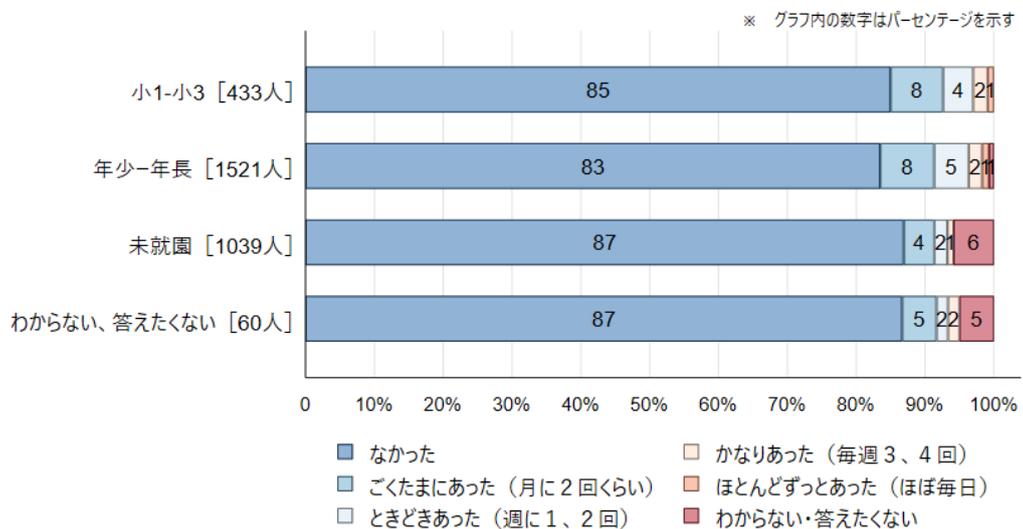
5) コロナに関連することを思い出させる会話や、思い出させる人と会うことを嫌がり、できるだけ避けようとする



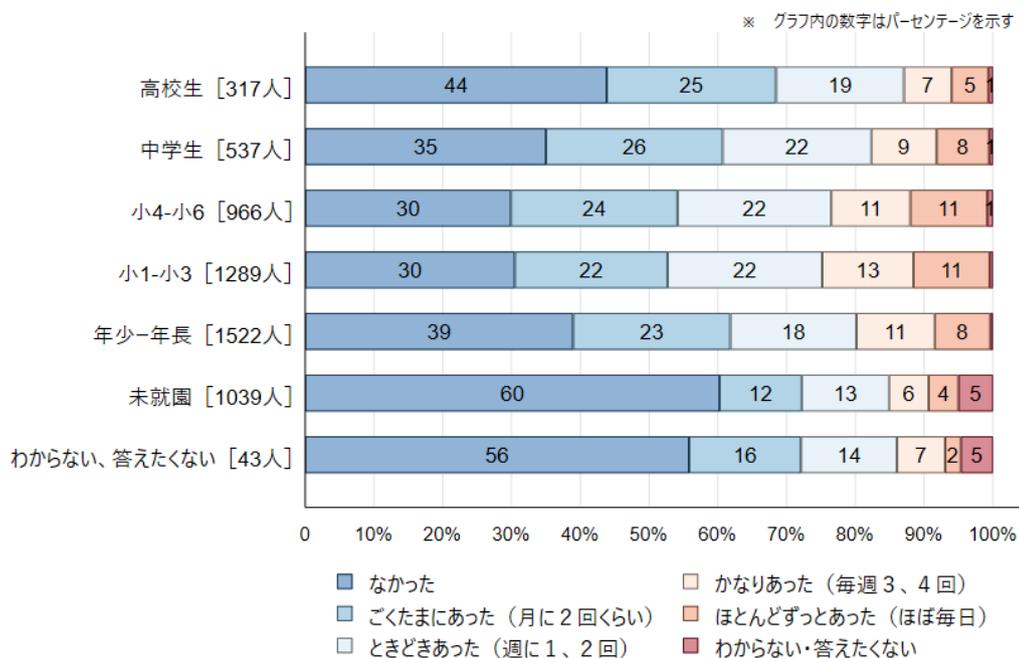
6) だれかと一緒にいても、自分はひとりぼっちだと感じると表現する【就学児】



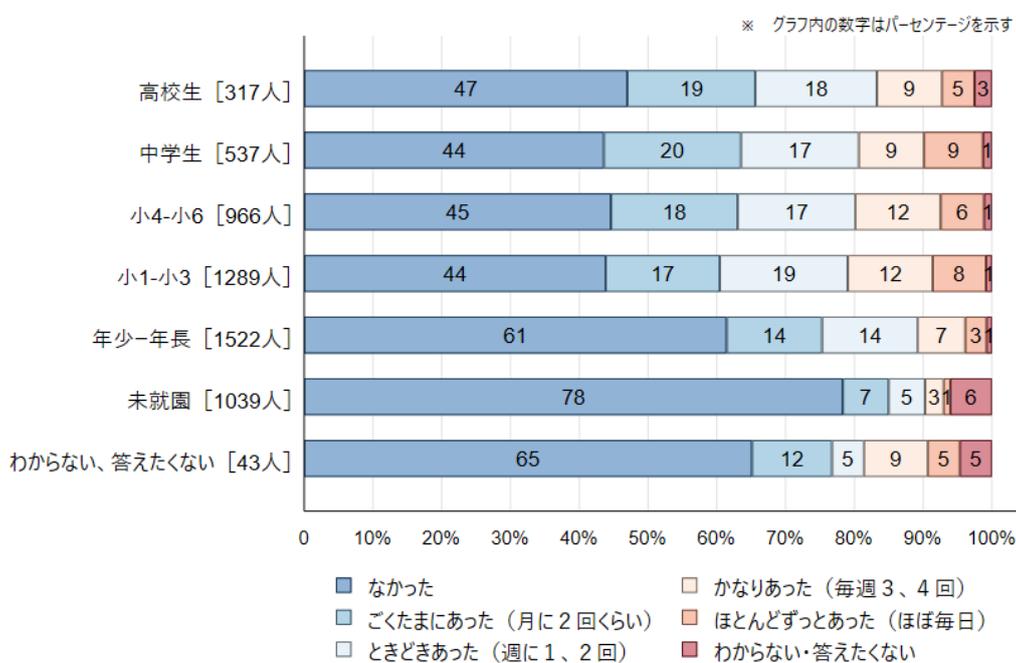
6') 以前は好きだった遊びや、家族や友達と一緒にしていたことに、興味を示したり参加したりしない【未就学児】



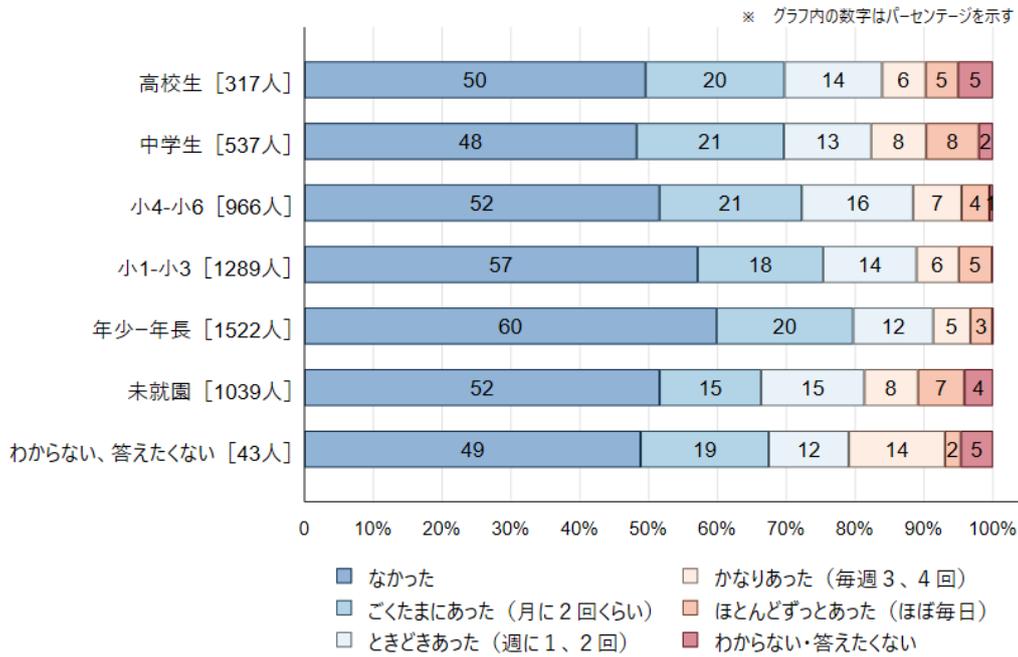
7) すぐにイライラしたり、怒るような場面ではないのに感情を爆発させたり、激しい癩癩（かんしゃく）をおこしたりする



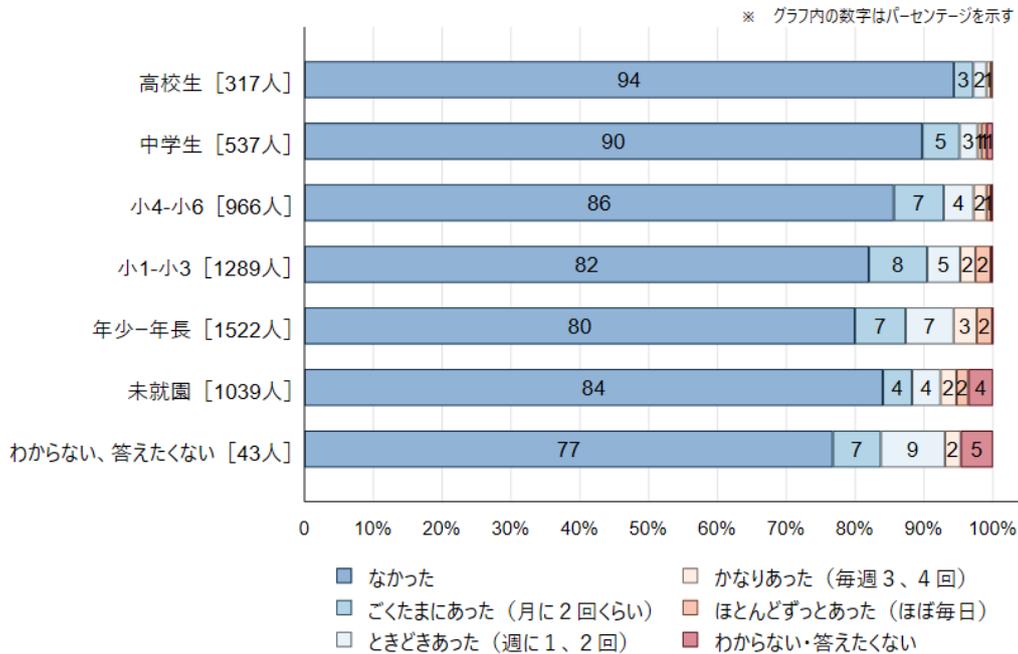
8) 以前に比べて、集中したり、注意を向けたりすることができない



9) なかなか寝付けなかったり、夜中に何度も目が覚めたりする



10) 自分の体をわざと傷つけたり、家族やペットに対して暴力をふるうことがある



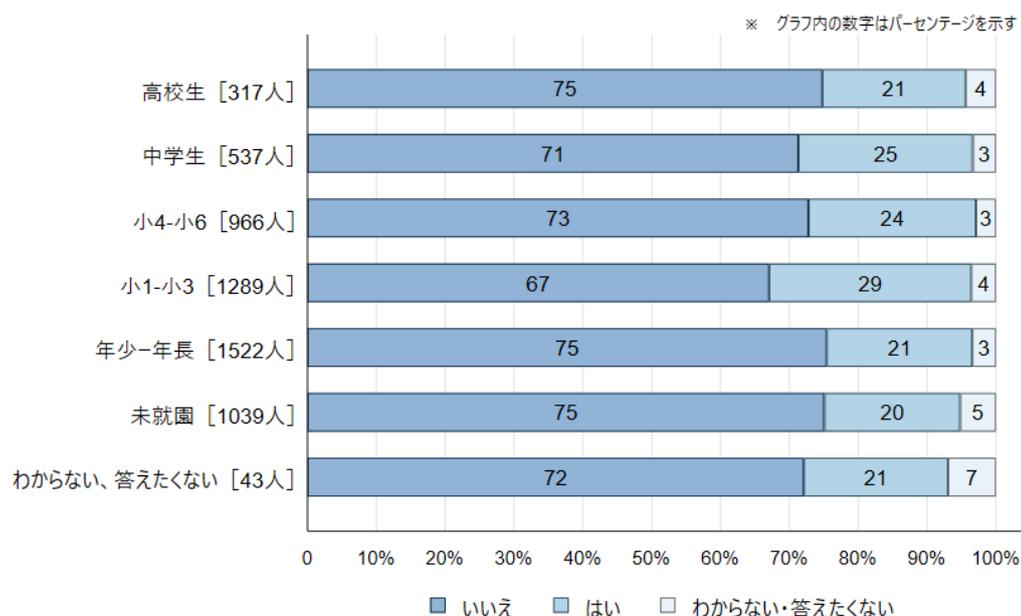
- ・保護者の回答では、「すぐにイライラしたり、怒るような場面ではないのに感情を爆発させたり、激しい痙攣をおこしたりする」ことがあったのが全体の59%で最も多かった。
- ・「集中できない」などの項目は、保護者の回答よりこどもの回答で割合が高かった。

継続期間および影響

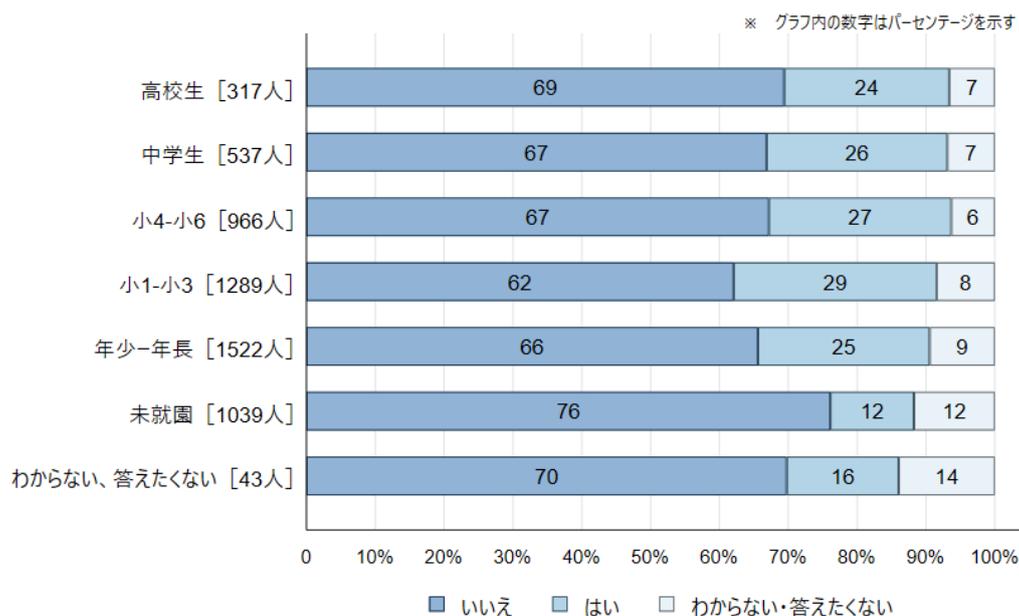
保護者には各症状の持続期間と影響も訊いた。



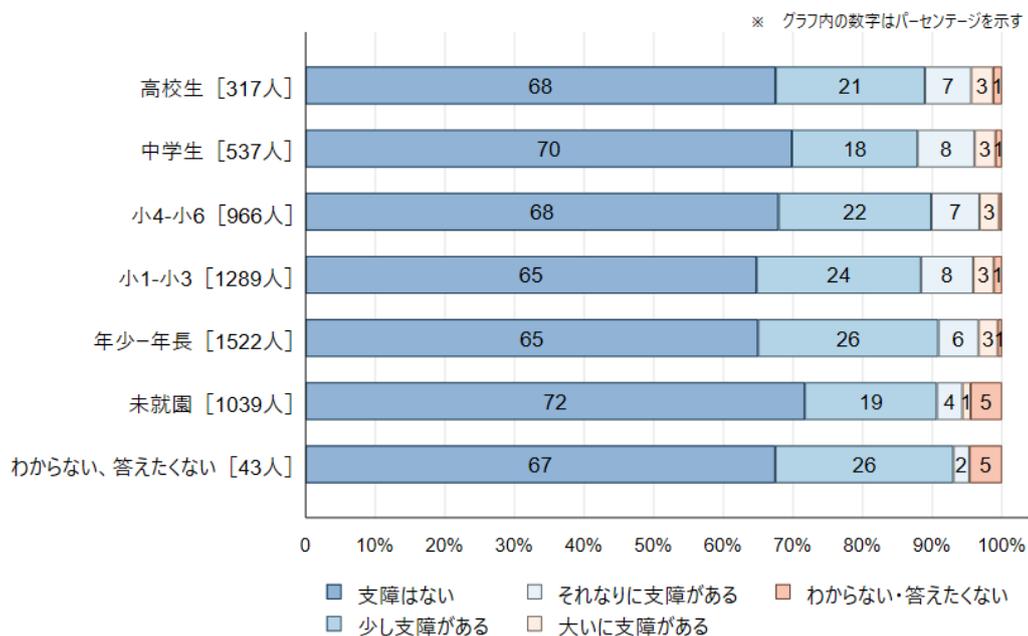
上の1)～10)のいずれかのうち、1ヶ月以上続いているものはありますか？



上の1)～10)のいずれかによって、お子さまは、苦痛やストレスを感じたり、落ち着かなくなったりしていますか？



上の1)～10)のいずれかによって、お子さまのご家庭での生活に支障がありますか？

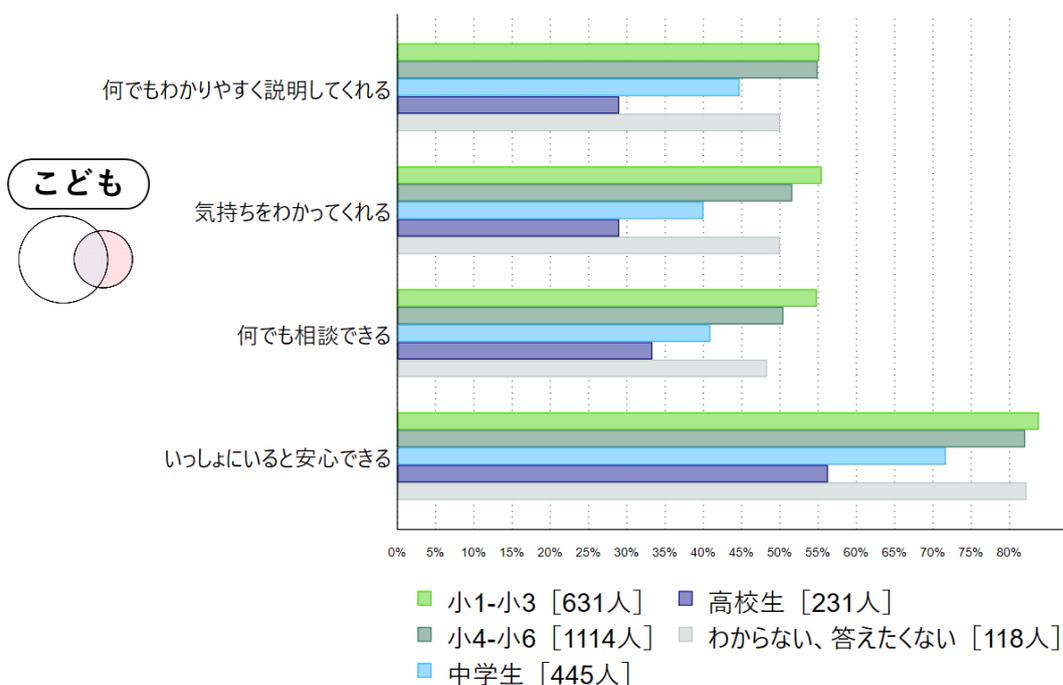


- ・ こどものストレス反応が1か月以上続いていると回答した保護者は全体の24%だった。
- ・ こどもが苦痛やストレスを感じたり、落ち着かなくなったりしているのも24%だった。
- ・ こどもの家庭での生活に支障があると回答した保護者は、全体の31%だった。

親子の関わり

好ましい関わり

おうちのひとにあてはまるものを全部選んでください。



- ・ こどもの回答では、「一緒にいると安心できる」が全体の78%であった。
- ・ 一方、「何でもわかりやすく説明してくれる」、「気持ちをわかってくれる」、「何でも相談できる」と回答した割合はそれぞれ50%、48%、48%だった。

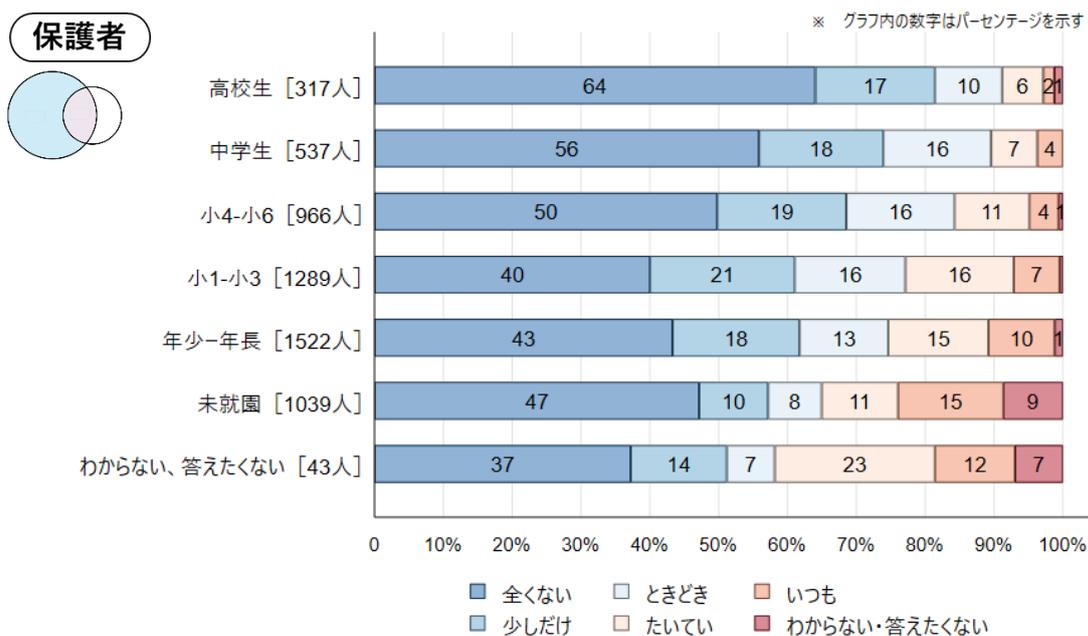
保護者には、親子の好ましい関わりの頻度を下記のように詳しく訊いた。

この1ヶ月間を思い出して、1番あてはまるものを選んでください。
 なお、ここでは、新型コロナウイルスのことを単に「コロナ」と表現しています。

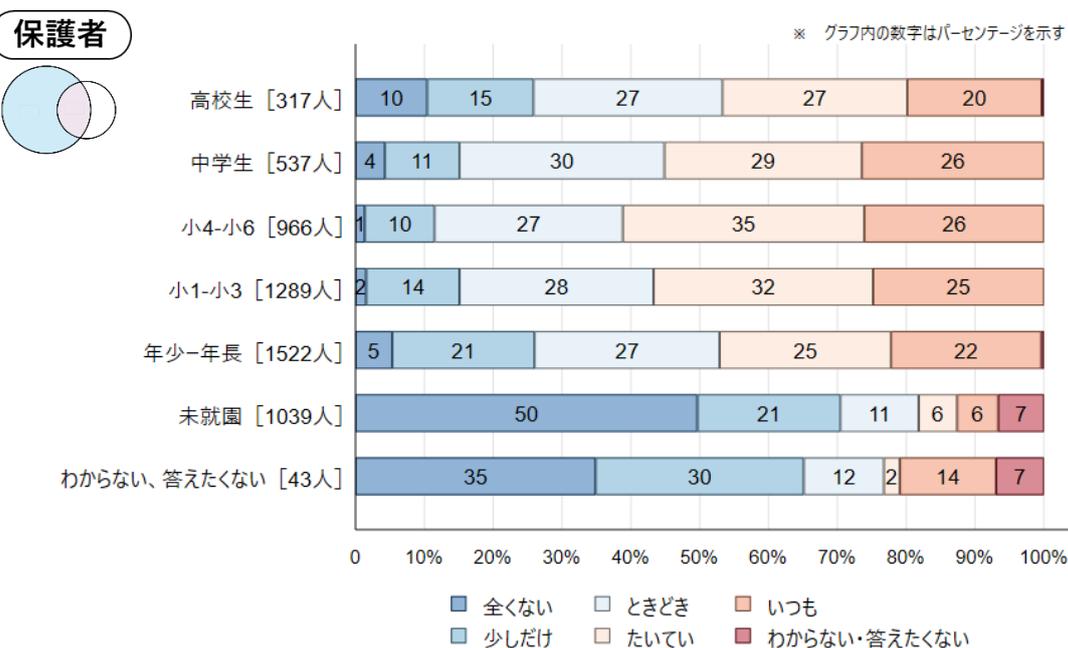
[全くない、少しだけ、ときどき、たいてい、いつも、わからない・答えたくない]

・保護者の回答では、「お子さまが表現した気持ちに、『そうだね、～の気持ちでしたんだね』などと、気持ちを否定せずに共感する機会を作っていた」に「全くない」「少しだけ」と回答した割合は、中学生、高校生では各々16%、17%だった

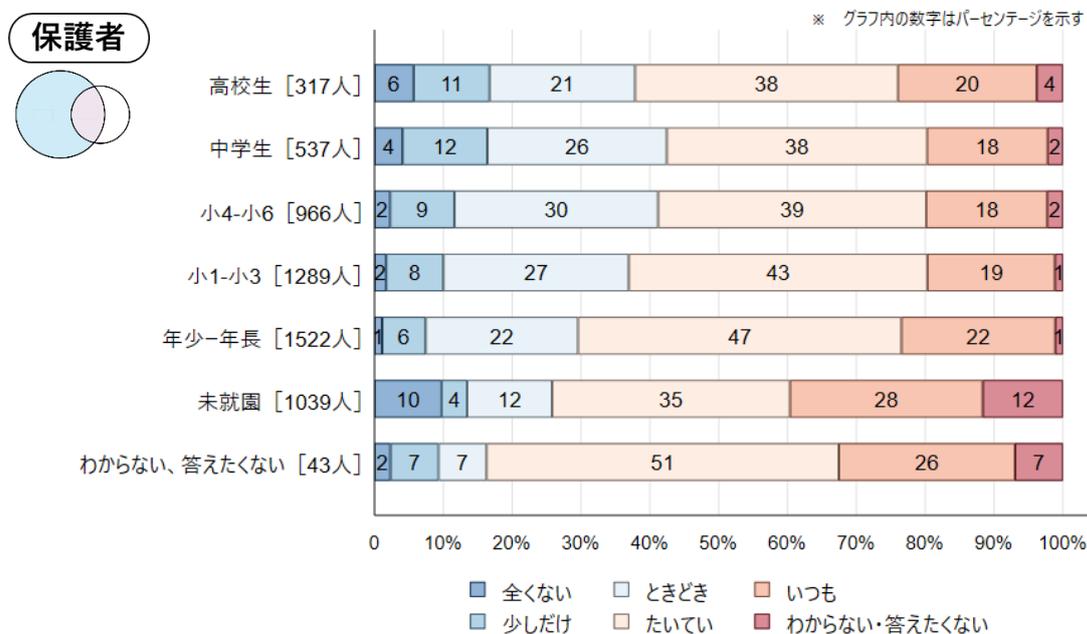
コロナに関するニュースや報道にあまり触れさせないようにしていた



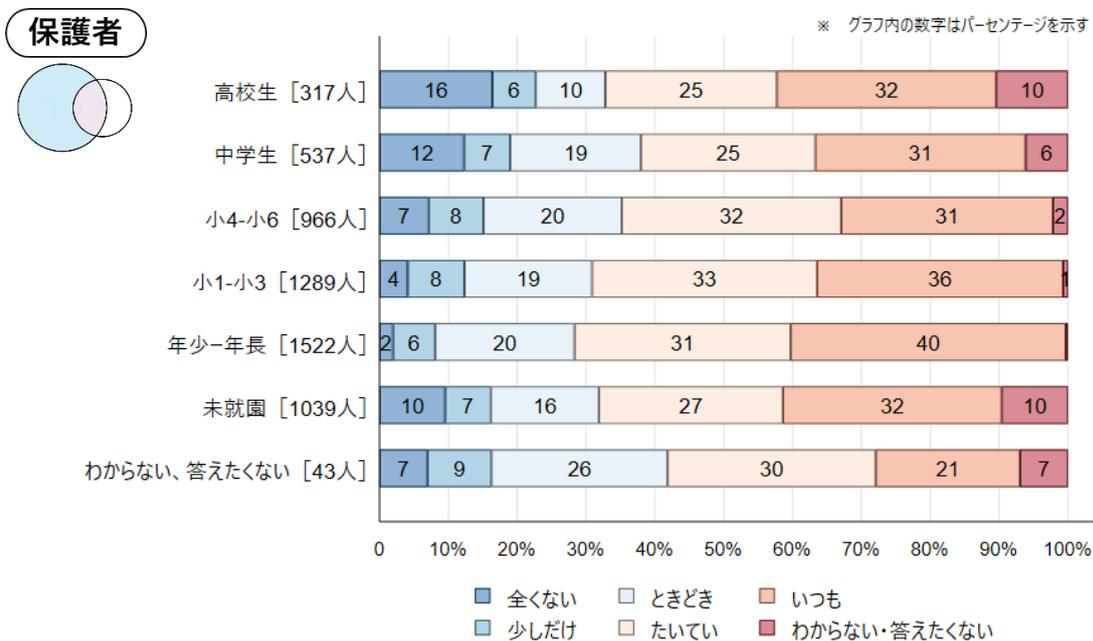
コロナに関する現在の状況を、お子さまに分かる言葉で説明するようにしていた



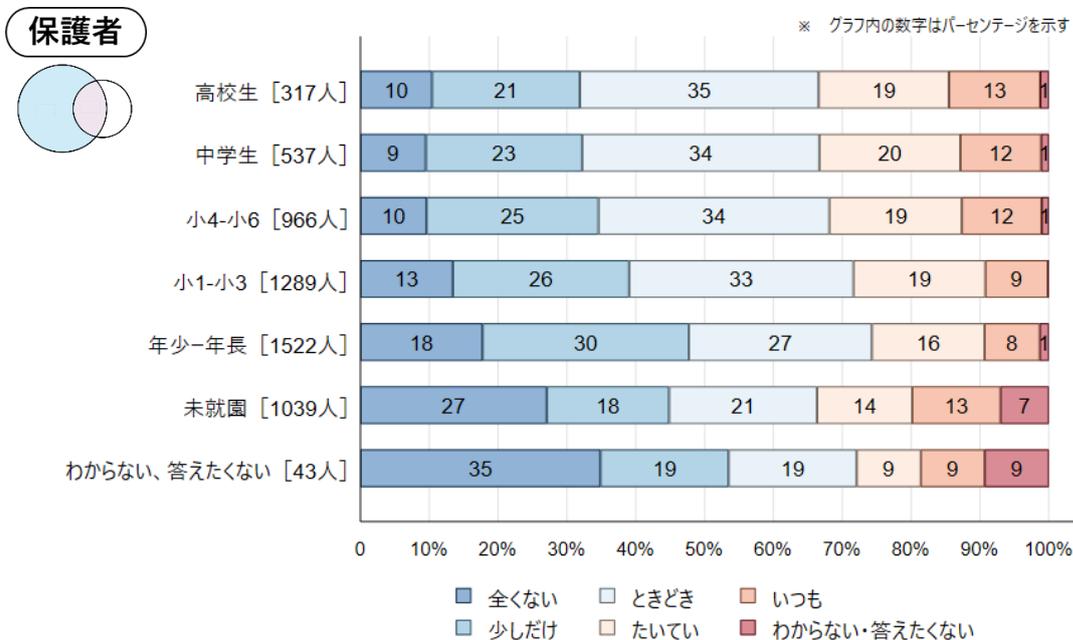
お子さまが表現した気持ちに、「そうだね、～の気持ちがしたんだね」などと、気持ちを否定せずに共感する機会を作っていた



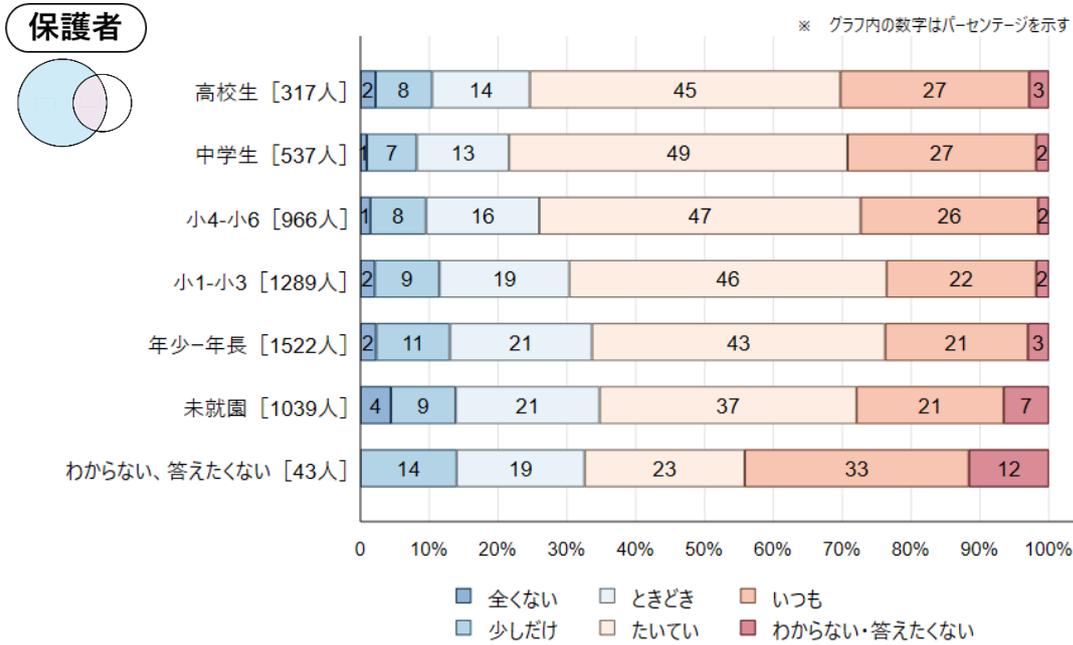
お子さまが自立的に、また自由な表現をできる遊びをさせていた（お絵描き、日記など）



これからのことについて、家族で一緒に話し合うようにしていた



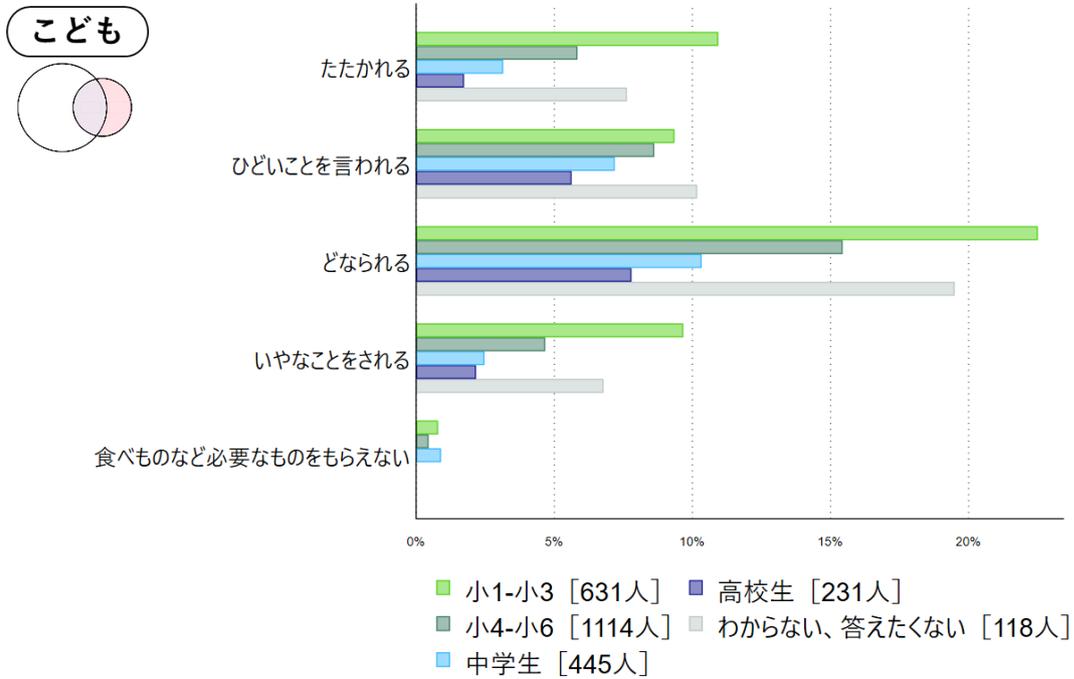
困りごとや問題があっても、なるべく前向きに考えるようにしていた



・「これからのことについて、家族で一緒に話し合うようにしていた」に「全くない」と回答した割合は全体の16%で、中学生、高校生でも各々9%、10%だった。

好ましくない関わり

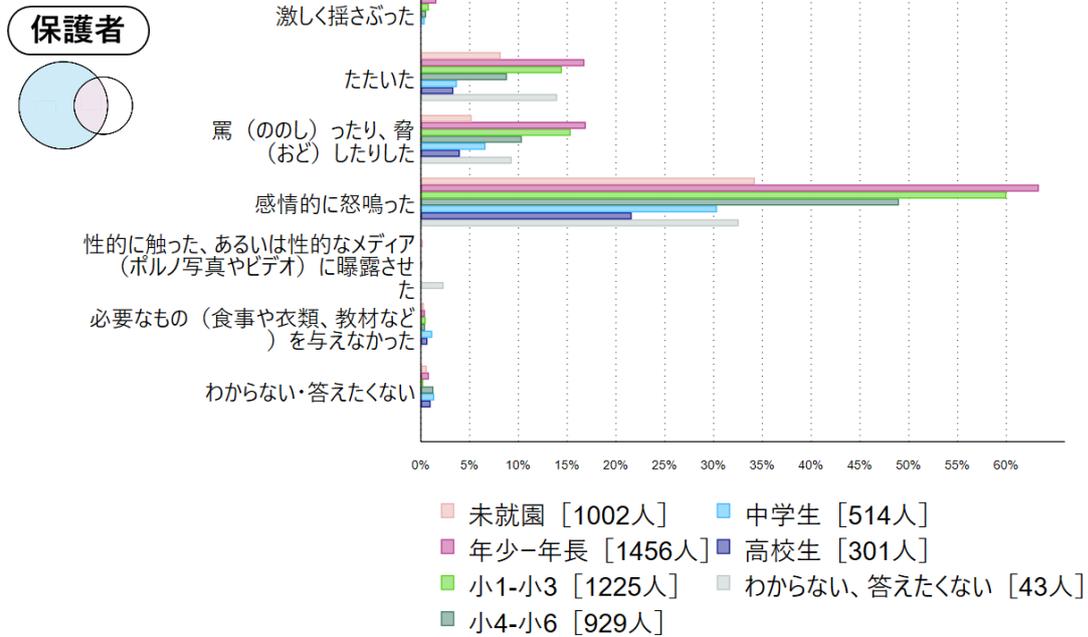
おうちでのあなたにあてはまるものを全部選んでください。



・子どもの回答ではどの学年でも「どなられる」が最も多く、小1-小3、小4-小6ではそれぞれ23%、15%だった。

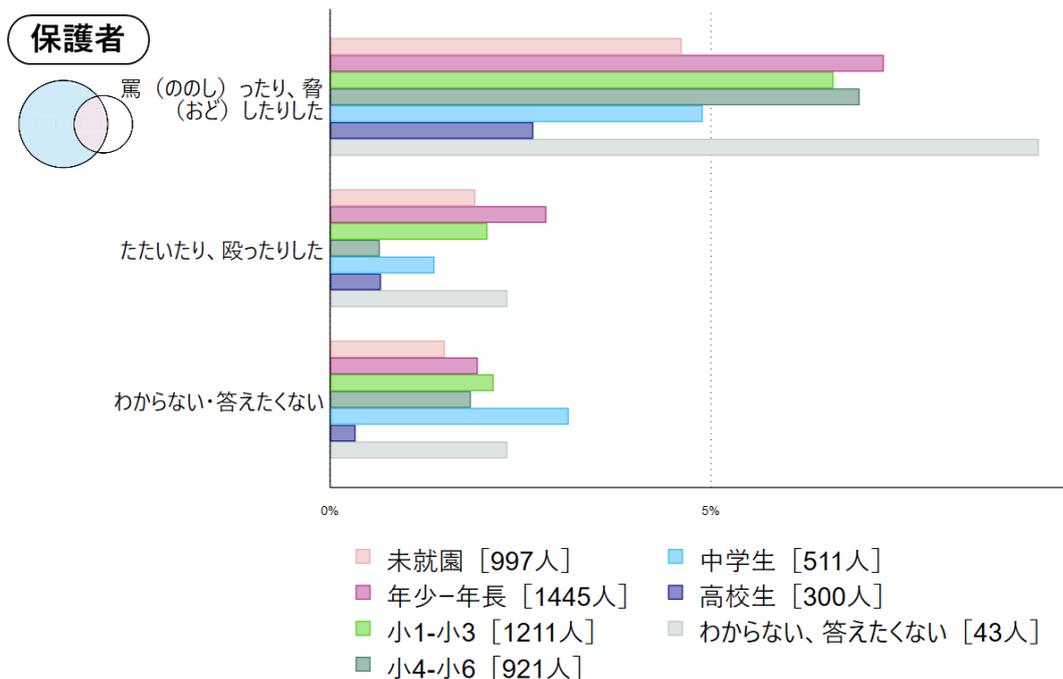
保護者には、最近1ヶ月間の家庭の様子について、下記のように訊いた。

1) あなたやご家族のおとなが、お子さまに対して、次のようなことをしたことがありましたか？

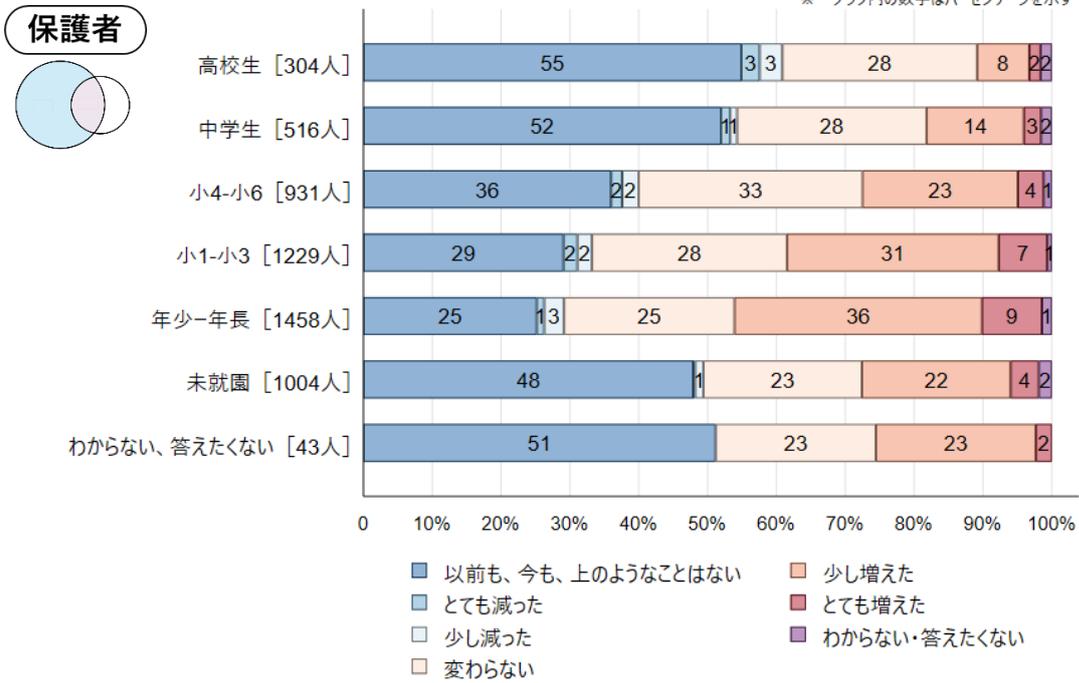


2) あなたやご家族のおとなが、お子さま以外の誰か(ほかのおとな)に対して、次のようなことをしたことがありましたか？

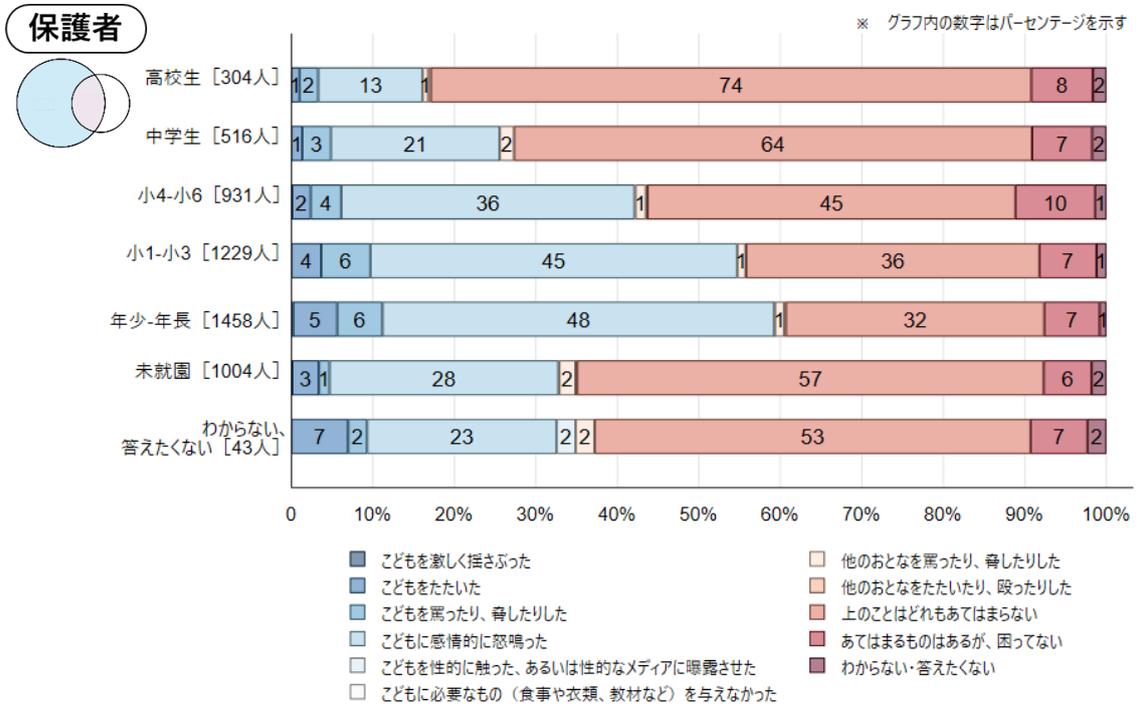
あてはまるものを、すべて選んでください。



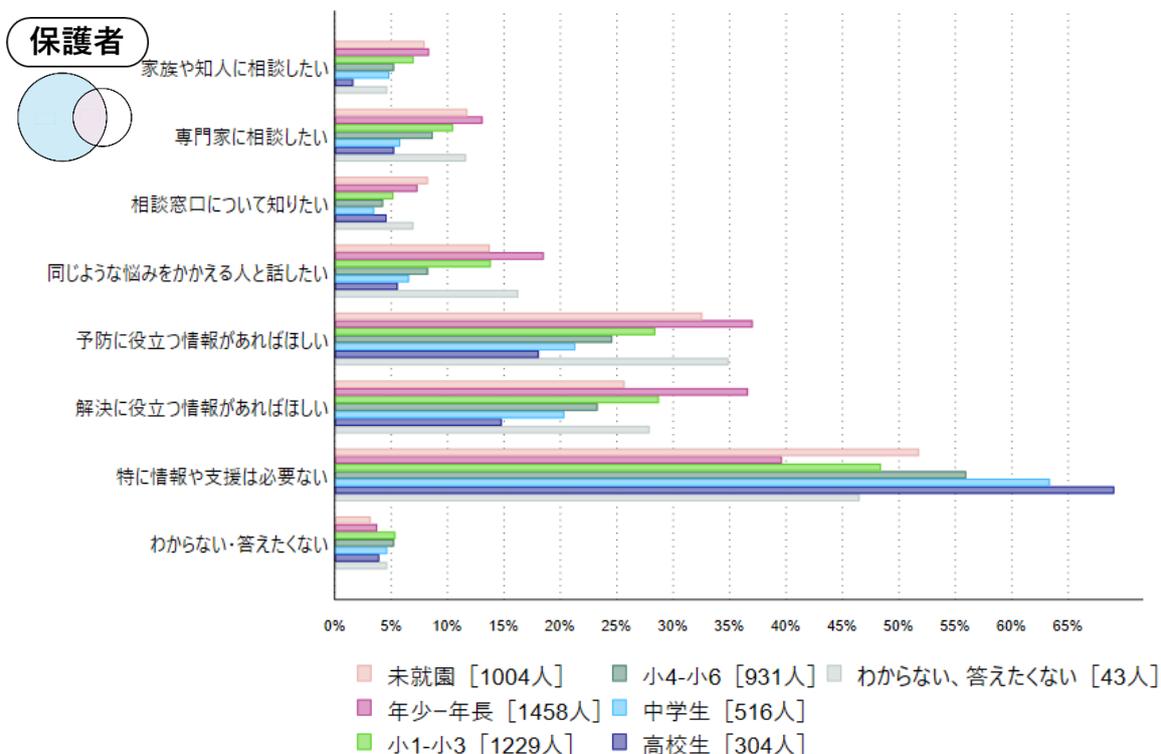
上の1) 2) であてはまったことの頻度は、2020年1月時点と比べて、どうですか？



上の1) 2) であてはまったことの中で、あなたが1番困っているのはどれですか？



上の1) や2) のようなことについて、情報や支援がほしいですか？
 あてはまるものを、すべて選んでください。



- ・保護者の回答では、49%が子どもに対して「感情的に怒鳴った」と回答した。
- ・他の大人に対しては、「罵ったり、脅したりした」との回答が6%に見られた。
- ・トラブルの頻度については、「少し増えた」「とても増えた」と回答した保護者の割合が、未就学児、年長、小1-小3、小4-小6で各々26%、45%、38%、27%だった。
- ・家庭内のトラブルに関して欲しい情報や支援については、「予防に役立つ情報があればほしい」「解決に役立つ情報があればほしい」が各々30%、28%だった。

保護者のメンタルヘルス

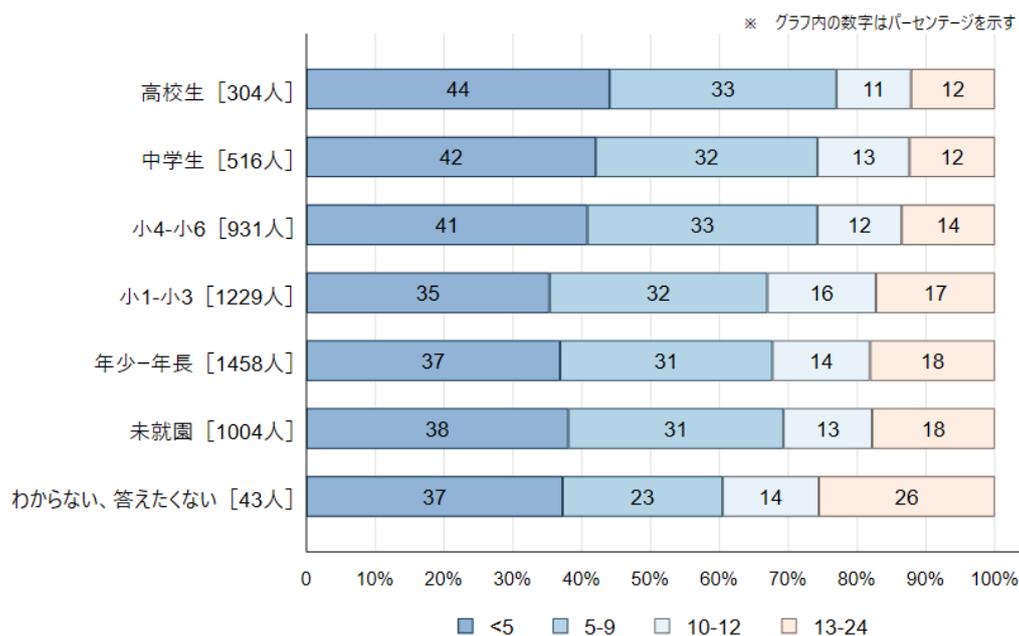
ここでは、すべて **保護者** の回答を集計した。

こころの状態

日本語版「K6」尺度により、保護者自身のこころの状態を尋ねた。直近1ヶ月について、6つの質問について、5段階[全くない、少しだけ、ときどき、たいてい、いつも]で尋ね、点数化した。

合計点数は0～24点で、高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

- ・ 5点以上：中等度(こころに何らかの負担がある状態)
- ・ 10点以上：高度(気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている状態)
- ・ 13点以上：極高度(深刻なこころの状態のおそれがある)

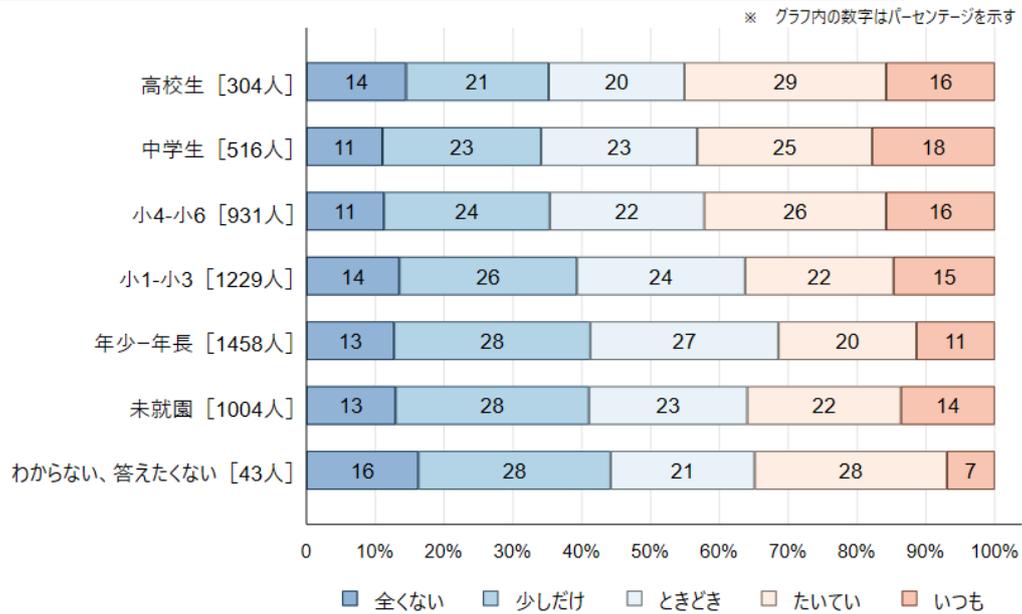


- ・ K6尺度で5点以上が全体の62%を占めた。
- ・ 未就園児、年少-年長、小1-小3では、13点以上がそれぞれ18%、18%、17%だった。

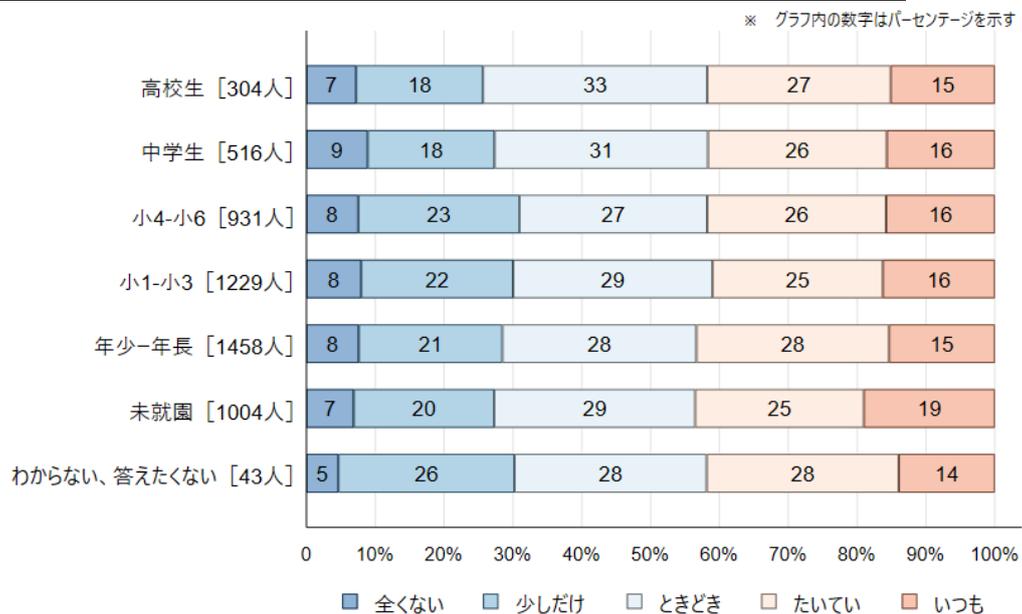
保護者のストレスケア

上と同様に、直近1ヶ月について、5段階で尋ねた。

あなた自身のセルフケアやストレス対処の方法を大事にしていましたか？



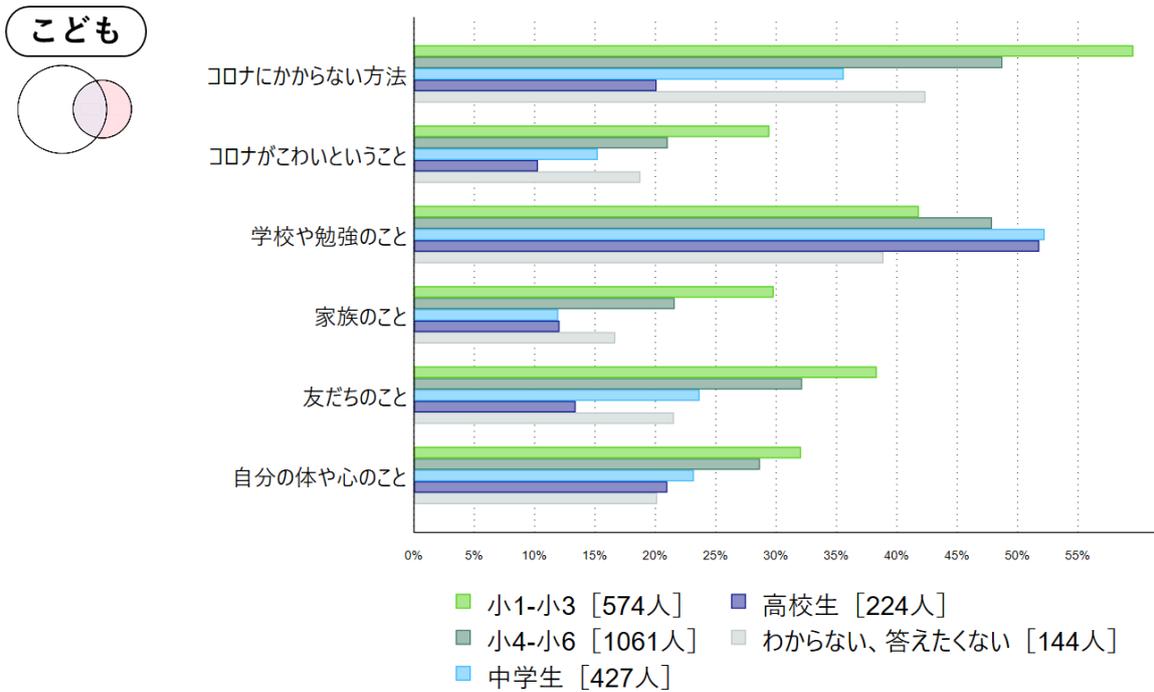
近いと感じる・信頼できる人と、望む程度の連絡をとっていましたか？



子どもたちが必要としている支援や情報

相談したいこと

だれかに相談したいことはありますか？あてはまるものを全部選んでください。

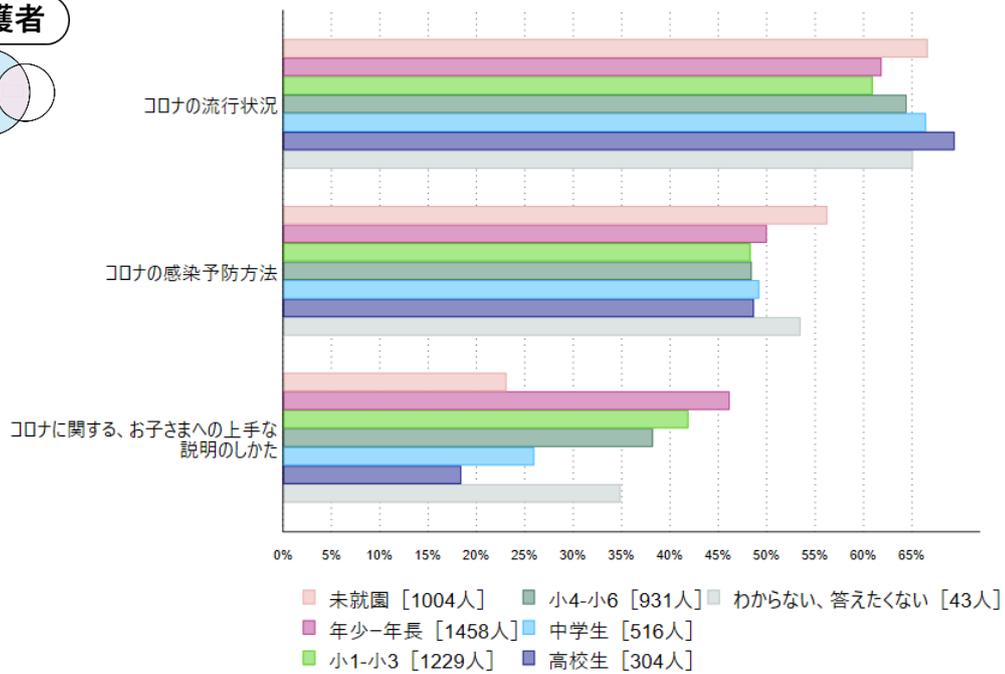
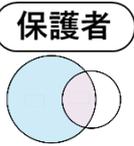


- ・小1-小3、小4-小6は「コロナにかからない方法」が各々60%、49%で最多だった。
- ・中学生、高校生では「学校や勉強のこと」がいずれも52%で最多だった。

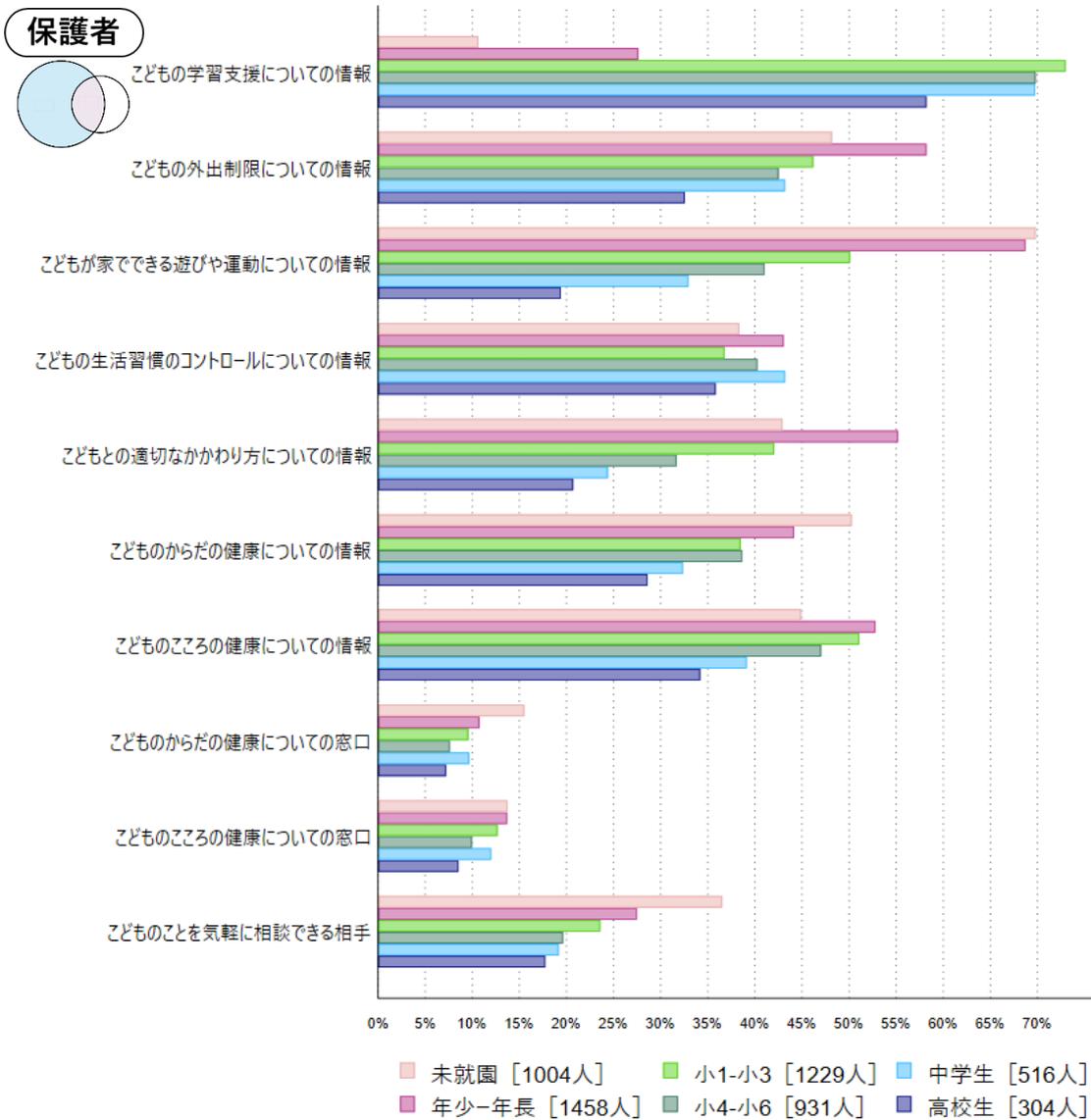
保護者が必要としている支援や情報

コロナに関連することで、あなたが今知りたいことは何ですか？

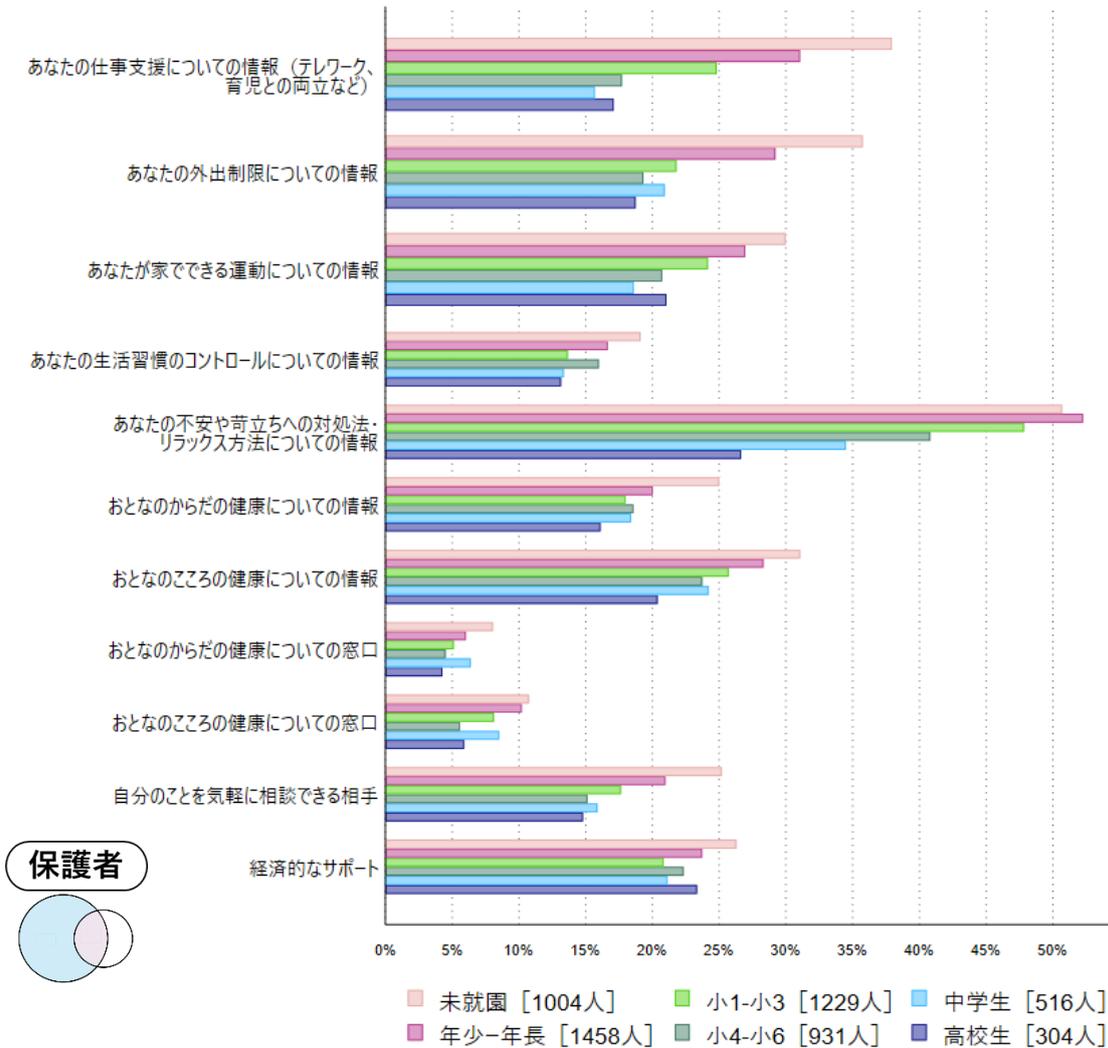
あてはまるものを、すべて選んでください。



お子さまの支援に関することで、あなたが今知りたいことや必要なものは何ですか？
あてはまるものを、すべて選んでください。



あなたへの支援に関連することで、あなたが今知りたいことや必要なものは何ですか？
 あてはまるものを、すべて選んでください。

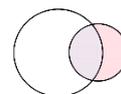


保護者

- ・コロナに関連して知りたい情報については、「コロナの流行状況」がどの学年でも6割以上で最も多かった。次いで、「コロナの感染予防方法」が5割程度だった。
- ・「コロナに関する、お子さまへの上手な説明のしかた」は年少-年長で46%、小学生では40%前後だった。
- ・こどもの支援に関して知りたいこと・必要なものについては、小学生以上では「こどもの学習支援についての情報」が7割程度で最多だった。
- ・未就学児は「こどもが家でできる遊びや運動についての情報」が約7割で最多だった。
- ・保護者自身の支援に関して知りたいことや必要なものについては、「あなたの不安や苛立ちへの対処法・リラックス方法についての情報」が45%で最も多かった。
- ・未就園児では、「あなたの仕事支援についての情報 (テレワーク、育児との両立など)」、「あなたの外出制限についての情報」、「あなたが家でできる運動についての情報」、「おとなのこころの健康についての情報」も、3割以上の回答が見られた。

こどもたちの声

こども



※たくさん声をいただいたので、すべてはご紹介できないことをご了承ください。

知りたいこと・ほしいもの

あなたがいま知りたいことやほしいものがあれば、教えてください。(自由記載)

【友だちのことについて】

- ・友達と会う時間が欲しい (小6女子、東京都)
- ・友達が何をしているのか、知りたい。(小6女子、不明)
- ・お友達が元気か (小3女子、不明)
- ・知りたいこと、と言うか意見ですが。私は休校も嫌だけど、休校のせいで夏休みも土曜日も友達との思い出も無くなるのはもっと嫌です。分散登校も、友達と話せないなら意味ないと思います。9月始まりにして欲しいです。学習も大事だけど、私たちから友達との時間を奪わないで欲しいです。(中2女子、愛知県)
- ・みんなであそびたい (小5男子、神奈川県)
- ・早く友だちに会いたい。(小3女子、東京都)

【家族のことについて】

- ・東京で働いているパパがいつ帰ってこれるか (小6女子、不明)
- ・母が会社で無理をしていないか (高3男子、不明)
- ・父がたまに外出自粛や飲み会自粛でイライラしてることもあるのでみんなの幸せがほしいです (小5女子、大阪府)

【学校について】

- ・学校に行きたい (小4男子、三重県)
- ・学校がいつはじまるのか (小4女子、北海道)
- ・学校をオンラインでやってほしい。(小5女子、不明)
- ・いつ学校に行けるのでしょうか。画面上でしか友達に会えません。早く、学校に行きたいです。引きこもりになってしまいそうで怖いです。(中2女子、東京都)
- ・9月入学、新学期になってしまうのか (小5女子、埼玉県)
- ・修学旅行に行きたかった (高3男子、不明)
- ・部活をしたい。いつできるのか知りたい。(中1男子、福岡県)
- ・学校再開については完全に感染拡大が終息してからでないと学校は3密の状態であるため危険だと考える。また、学校行事についてもただ生徒の思い出になるだけでなく社会に出る

上で必要なことをたくさん学べる機会だと思う。勉強面だけでなく社会性について学ぶ機会についても私達から奪わないで欲しいと思う。(高3女子、東京都)

・いつ学校に行けるかです。私は頑張って受験して、合格して入学した中学校なのにまだ入学式しか行っていません。早く学校に行きたいです。政府対策も良いと思いますが、6年生の最後のたくさん行事があったはずの2週間を潰され、卒業式もまともに出来なく、学校にも行けない子供達の気持ちや精神面を考えてください。もう、みんな限界です。(中1女子、不明)

・なぜ学校は勉強を押し付けるのか。(中2女子、不明)

【学習・進路について】

- ・勉強は少なくとも何時間くらいしたほうがいいのか。(小3男子、神奈川県)
- ・勉強のやる気を出す方法(高2男子、栃木県)
- ・勉強ができる場(中1女子、不明)
- ・大学受験がどうなるか、早く教えて欲しい。(高3女子)
- ・オンラインで学校のお友だちと勉強がしたいです(小3女子、東京都)
- ・べんきょうをおしえてほしい(むずかしい)(小2男子、岐阜県)
- ・高校3年で、今年大学受験だが授業も進まない。だが、周りの高校ではオンライン授業を行っていたりする。このどうしようもない、差が付くような不安をどうすればいいのか知りたい。(高3男子、不明)
- ・学校でオンライン授業をやってほしい。(小6女子、山形県)
- ・勉強がついていけるのか(高1男子、東京都)

【時間を潰すもの・ことについて】

- ・暇なので、退屈しない工作がほしいです。(小5女子、東京都)
- ・一人で遊ぶ遊び方(小6女子、東京都)
- ・スマホ タブレットがほしいです(小6女子、不明)
- ・本がほしい(中1女子、東京都)
- ・新しいゲームが欲しいです。(小5女子、北海道)
- ・無理な事は分かってるけど、お出かけがしたい(小4女子、東京都)
- ・勉強も大事だけど息抜きのためのDVDが欲しい。けど外にも出れないし、通販でもお母さんをお願いしないといけないけどお願いしたってなかなか了解してくれない。とりあえず、息抜きするものが欲しい(中1女子、不明)
- ・ゲーム課金がしたい(小3男子、東京都)
- ・家で面白く遊べる方法(小5男子、神奈川県)

【新型コロナウイルス関連について】

- ・コロナについて知りたい(高1女子、不明)

- ・防護服がほしい（友だちと遊べる）（小5男子、東京都）
- ・大量のマスク、コロナウイルス予防グッズ（小3女子、沖縄県）
- ・新型コロナウイルス感染症にかからないようにする方法を知りたいです。（小2男子、不明）
- ・コロナがどうやったら治るのか（小2女子、東京都）
- ・コロナはいつ収束しますか？いつ普通の生活に戻れますか？（小6女子、埼玉県）
- ・コロナウイルスのワクチンはいつ作られますか？（小4男子、東京都）
- ・新型コロナウイルスがなくなって欲しい（小6女子、不明）
- ・いま、日本に、いくらコロナの患者がいるか。（小2女子、不明）
- ・新型コロナが見えるマシーンがほしい（小3男子、東京都）
- ・okayama-stopcovid19.jp みたいなコロナウイルスについて全国のことをわかりやすくまとめたページ（高3男子、岡山県）
- ・家族や友達がなったら、一人ぼっちなの？🤖（中1女子、不明）
- ・PCR 検査を全員受けられるようにぼくにできることは何か知りたいです。（小4男子、東京都）
- ・なぜ体調が悪いのに、検査を受けられないのか。（中2不明、埼玉県）

【政治・政策などについて】

- ・政府のコロナ対策について（中1男子、東京都）
- ・緊急事態宣言がいつ終わるか（小3男子、東京都）
- ・これからの私たちの将来がどうなるのか。考えたところで答えが出るとはかぎらないけど、大人の方々(特に政治家)には、もっと私たち子供・学生のことを、考えて欲しい。（高3女子、茨城県）
- ・政治をする人は人の気持ちが理解できる人なんですか？（小6女子、大阪府）
- ・外国のコロナの現状、世界の政府のコロナへの対応（中1男子、不明）
- ・全国の親にお金を給付して少しでも安心して生活が出来るような環境にして欲しいです。（小6女子、不明）

【健康について】

- ・おねしょして こまった。（不明、京都府）
- ・自殺念慮が酷いが病院に行っているのか（高2女子、東京都）
- ・もしも家族や自分が症状が出たときどうすればいいか（中3女子、東京都）
- ・がっこうにいて、コロナになったら、ぼくはどうなりますか？ぜんそくがひどくなってくるようになってしぬのがこわいです。（小1男子、群馬県）
- ・1日どのくらい日に当たれば眠くなるか（小5女子、神奈川県）
- ・毎日気持ち悪くなるのはなぜか（小2女子、東京都）
- ・ストレスを、かんわする方法（小5男子、不明）

- ・心を落ち着かせるためにはどのようにすれば良いか（中1男子、東京都）
- ・怒らなくなる方法（小5女子、不明）
- ・イライラをなくす方法を知りたい（中1女子、不明）

【その他】

- ・お金が欲しい（小6女子、不明）
- ・自由（小5女子、島根県）
- ・平和（小4女子、不明）
- ・ペット 完璧な頭脳（中2女子、神奈川県）
- ・子犬（小5男子、徳島県）
- ・欲しいもの:一人の時間（高1不明、不明）
- ・なんで大人はパチンコに行ってるのかがしりたいです！（小4女子、長崎県）
- ・私たちが医療現場などにお金を寄付することはできるのか。（小6女子、不明）
- ・自分たちが今誰かのために出来ること（小5男子、不明）
- ・どうしてこどもだけががまんしないといけないのかわからない（小2男子、不明）
- ・かき氷機、1日分の食料(食費が浮くから)（小6男子、福岡県）
- ・ふつうに外に出たい（小3女子、埼玉県）
- ・欲しいものは時間と死ぬ勇気（中2女子、不明）

本調査への意見

このアンケートについて、気になることや言いたいことがあれば、教えてください。

（自由記載）

【調査への意見・要望・感想】

- ・頑張ってください！（小4女子、埼玉県）
- ・がんばってこたえたけど、コロナウィルスのしつもんにかたえてきもちがおさまった（小2女子、神奈川県）
- ・少しでも多くの人にこのアンケートが役立って欲しい。（中3女子、神奈川県）
- ・個人情報保護は、されますか？（中1男子、不明）
- ・長い（中1男子、大阪府）
- ・率直に思った事として、もし虐待を受けている子や、コロナ休校になって、家庭環境で困っている子は、そもそもこのサイトにアクセスできないし、出来たとしても虐待を受けているなんて回答できないと思うので、このアンケートは本当の目的には適応しないと思います。（中2女子、東京都）
- ・自分の意見を言うことができたので、よかったです。（中1女子、北海道）

・普通に今の生活を過ごしていたら考えていない自分が思っていることをこのアンケートで出して心の整理が出来たので良かったです。(小5女子、福島県)

・もし、ご飯も食べさせてもらえないような子が居たとしたら、このアンケートに答えて助けを求めたくても、このアンケートに辿り着くことすらできないのでは？ご飯すら食べさせてもらえないのなら、スマホだって持っていないかもしれない。このやり方で本当に助けが必要な子の存在を知ることができるのかな？(小2女子、神奈川県)

・心が少し落ち着いた(中1女子、不明)

【心情】

・いえにいても、つままない(小1男子、東京都)

・学校には行きたいけれど、からだを守りたい気持ちが、かちます。(小5女子、不明)

・ママが仕事を休んだので、ずっと家に一緒にいれて嬉しい(小1女子、新潟県)

・毎日、コロナがおさまったらやりたいことばかりを考えワクワクしながら過ごしています。(小4男子、東京都)

・私は吹奏楽部の副部長で、部活が何よりも大好きです。でも、コロナの影響で、ずっと目標にしてきた定期演奏会やコンクール、イベントがなくなりました。家で楽器を吹くことは騒音の問題もあり、できません。私は中学3年生の受験生です。大量の宿題をただただ解くだけの毎日です。学校は勉強をするところとは分かっていますが、私にとって部活は何よりも大切なものでした。なので一人で勉強だけの毎日はとても辛いです。ニュースでは、パチンコ店にできる大行列やバーベキューをする大人たちの姿があり、とても悔しいし、怒りが湧きます。ほぼ毎日、1人で泣いています。(中3女子、不明)

・コロナ自粛のせいでおばあちゃんのお見舞いやお葬式に行けませんでした。いっぱい話をします。でも自粛も休校も再開も全部どうしてなんだろうという気持ちになります。(小5女子、不明)

・私は、コロナウイルスに対しての周りの人の意識が非常に低いと思います。どういうことか言うと、特に学校でコロナウイルスを関連付けさせたことを平気に喋っていてそれについて笑っている人がいて非常に驚きました。このようなことなどがあり私が住んでいる所は意識が低すぎると思います。ちなみに学校でコロナのことは動画を見て学んでいます。(中1女子、岡山県)

・言い訳に聞こえるかもしれないが私は去年不登校で学校は行っていなかった。今年から難しくなるなど思っていたのにコロナのせいで休みになり、冬休み夏休み他行事等ほぼ無くなった。楽しい事は全部なくなった癖に勉強という嫌なことだけは子供達にさせる。みんなコロナで休んでいて課題やオンラインで追われている。自殺する人もいる。なぜ皆同じ状況なのに上に行こうとするのか。学業優先で勉強しろ勉強しろ遅れているのが分かっているのかももう聞きあきた！学校が義務教育と言うのならいじめや自殺を止めたいのなら一人一人を考えてやって欲しい。最近死にたいということしか考えていない。死にたいけどお母さんや姉など大切な人がいて死ねない。けど学業は追いつけず学校にも終われ夏休み冬休みも無

いせいで母にも会えない。こんななるならコロナがもっと広まってみんな死んじゃえば良いのに (中2女子、不明)

【新型コロナウイルス関連について】

- ・ コロナにかからないようにしたい (小5女子、東京都)
- ・ 新型コロナウイルスの薬は、だいたいいつ出来ると予想していますか? (中1女子、不明)
- ・ 今、コロナにまけていますかそれともかっていますか (小2女子、不明)
- ・ なぜコロナを悪者にするの? (小4女子、東京都)
- ・ コロナいつ終わりますか。(小3女子、大阪府)
- ・ コロナはどのくらいこわいの? (小2男子、東京都)

【学校について】

- ・ はやく学校に行きたい (小5男子、東京都)
- ・ 早く学校に行って友達に会いたい (中1女子、東京都)
- ・ コロナにかかるから学校に行くのが怖い (小1女子、埼玉県)
- ・ 学校に行きたいです。部活がしたいです。友達と会いたいです。(中3女子、不明)
- ・ 私は学校に行きたくないです (小4女子、不明)
- ・ 3ヶ月も学校が休みになって、5年生の3月からの時間を返して欲しい。学校行事をいつものようにやって欲しい。(小6男子、東京都)

【学習について】

- ・ 先生と授業したい! (小4男子、東京都)
- ・ 早く学校からオンライン授業をしてほしいです (中2女子、三重県)
- ・ 現在は学校が休校なので私達の学力が低下しないか心配です。特に勉強が苦手な人と得意な人との差が今後激しくなると思うのでそれも心配です。(中1不明、不明)
- ・ 学校の宿題が多いのが大変 (小5男子、千葉県)
- ・ 勉強についていけるか心配です。(中1女子、北海道)

【医療従事者へ】

- ・ 医療従事者の方、応援しています! (中2女子、不明)
- ・ 医療従事者様に伝えてください。色々大変なのにありがとうございます。余計なお世話かもしれませんが、頑張ってください。後、お体に気をつけてください。(不明、不明)

【政治・政策などについて】

- ・ にほんのえらい人たちにもうちょっとみんなのこと考えてほしい (小3女子、神奈川県)
- ・ 政治家の意見ばかりではなく、ちゃんと子供にも意見を聞いてほしい(中3女子、広島県)
- ・ 私は病気なので、病気かもしれないではなく、病気です。あと、家はひとり親家庭なので、

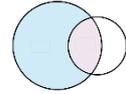
他のひとり親家庭の人たちにも、支援をしてほしいです。(小6女子、山形県)

【その他】

- ・外であそんでいてもいいんですか？(小3男子、東京都)
- ・なぜお母さんは僕が好きなのに怒るの？(小2男子、愛知県)
- ・いつ、公園で安心して遊べるようになりますか？(小4女子、東京都)
- ・仕事の無い人の支援もし、高齢者の人を、安心させたいです。(小5女子、東京都)

保護者の声

保護者



※同じく、すべてはご紹介できないことをご了承ください。

知りたいこと・必要なもの

あなたが今知りたいことや必要なものがあれば、教えてください。（自由記載）

【保育園・幼稚園に関して】

[再開や自粛解除]

- ・保育園登園自粛に意味があるのか納得できず、つらい（未就園男子、埼玉県）
- ・保育園が休園になり、エッセンシャルワーカーしか預けられないことが納得できません。自営業者も仕事ができず死活問題です。子の発症が少ない中、ここまで保育園を休園するメリットがわかりません（年少男子、東京都）
- ・休校や休園の効果（年少女子、東京都）

[感染予防対策]

- ・幼稚園での感染対策に不備がある時の対処法（年少女子、愛知県）
- ・保育園を登園自粛しているが、子ども同士の感染をどこまで警戒すべきなのか（年中、東京都）

【通常の支援やこどもの預かり先が得られない】

[こどもと離れる時間が必要]

- ・親子ともに、物理的に離れる時間が必要（小1男子、東京都）
- ・子どもと一緒にいてイライラしてしまう。虐待1歩手前。我慢の限界だけど、我慢するしかない。辛い。（年少男子、大阪府）
- ・もともとイライラしやすい性格…自分のイライラが止められず子どもの心を傷つけてしまうのが辛い。やめたい。子どもも怒りをコントロールできず、自分と同じようになっているのを見るのも辛い（年長男子）
- ・子どもとしばらく離れる時間があれば怒鳴ることも減るに決まってる。どこにも行けず誰も代わってくれない今、虐待とか言わないでほしい（小3男子、三重県）

[こどもを預かってくれる場所や人]

- ・短時間でも子どもを預けられる場所や機会（小2男子、神奈川県）
- ・育休中なので保育園を登園自粛していますが、乳児もいるので週1回半日だけでも預かってもらえると、色々解消すると感じます。（年中女子、栃木県）
- ・安全な子供を預かってくれる場所（年中男子）

- ・子どもと少しでも離れる時間、子どもの相手をしてくれる人。在宅での仕事が集中してできない。(小1男子、埼玉県)

[在宅勤務と子育ての両立困難]

- ・リモートワークと育児の両立が限界に来ている。(小1男子、東京都)
- ・子供が夜に寝た後じゃないと仕事ができない。自分の睡眠時間が4時間です。辛いです。なんとかしてほしいです。(年中女子、長崎県)
- ・テレワーク(業務過多気味)と自宅保育で、育児と仕事の両立はどう考えても難しくどちらも中途半端な状態が長期間続くことによる親の精神的な負荷とそれが原因で起こる子どもとの関わりの悪化への対処法(年中男子、東京都)

[育児休業延長に関して]

- ・保育園が休園しており、育休から復職できていないのですが、そういう人たちのネットワークや情報がほしい。(小2女子、東京都)
- ・育休中で、保育園の内定をキープしたまま育休の延長をできる期限が少しずつ延びていくので会社との交渉がストレスになっています。(未就園女子、東京都)
- ・現在、育休中であり、相次ぐ休園の中、保育園の応募をどうすべきか。(未就園男子、東京都)
- ・出勤させたい会社と、子供の世話で休みたい私の交渉の方法(未就園女子、兵庫県)

【学校に関して】

- ・就学に関する事。横浜市の小学校へ入学したが、休校が数週間おきに延長され、全く先の予定が立たない(小1男子、神奈川県)
- ・学校の開始時期や、現在の休校から生じる夏休みの短縮についての実際の情報のみ(小4女子)
- ・学校は再開しても大丈夫なのか、そこが一番不安です(中1男子、広島県)

【こどもの発達・発育やこころへの影響への心配】

- ・同じ年齢の子と遊べないので子供の発達が気になる(未就園女子、千葉県)
- ・コロナ渦で親以外との関わりがない子へのアドバイス(未就園男子、東京都)
- ・外に一歩も出ていないが、家に籠ることでどういった悪影響があるか知りたい。日光浴はどれくらいすべきとか。(小1女子)
- ・テレビを見せ続けざるを得ない状況でどこまでなら子どもに悪影響がないか知りたい(年中男子)

[気になる行動]

- ・子供が素直に意見を聞かなくなりワガママになった気がする。意見が通らないとすぐ泣きわめくようになった(年長女子、東京都)

- ・8歳の子供がトイレに一人で行けない(2ldkのマンション)、おっぱいを頻繁に触りたがる、遊びの中でコロナを模倣する、などの行為が見られます。非常事態に対する子供の行動なのかと考え、受け止めています、どのように心のケア、接していくべきかの情報があれば、助かります。(小2男子、東京都)
- ・親以外と会っていないからか人形あそびでお友達と喋っているふりをすることが増えた。別の人格が生まれなかと心配になります。(年少女子、東京都)
- ・5歳の長男は休園になってから1週間ほどでチック(まばたき、咳払い、嚔き、頻尿)が始め、かなり激しくなっています。そのことで私自身も責められているように感じることもあり、いつもの他愛ないわがままに対して、つい感情的に怒ってしまうことがあります。(年長男子、東京都)
- ・子供がこの1週間くらいで少し情緒不安定になってきました。コロナで閉園してる施設など行きたいところへ行けないとわかった際に凄く怒ったり泣きやすくなっています。今まで見た事のない反応でフォローがあつてかわからないので、不安定な子供への適切な接し方が知りたいです。(年中男子、愛知県)

[家での遊び方や過ごし方]

- ・登園自粛などで育児をする時間が増えた場合に子どもとどのように過ごせばいいのかわからない。児童館や図書館も閉鎖されておりとても困っている。(未就園女子)
- ・毎日同じような日々を繰り返す中でのメリハリの付け方(小5女子、茨城県)
- ・1歳児が家で楽しめる遊び、アイデア(未就園女子、東京都)
- ・マンションなので走り回って下の階に迷惑をかけてしまっている。迷惑をかけない運動があれば教えて欲しい(未就園男子)

[こどもを安全に遊ばせられる場所]

- ・子供があればこれ言わずに遊べる屋外スペース。このエリアの住人はこの公園、この年代はこの時間など、指定されても良いから手を振って遊べる場所が欲しい。(未就園女子、石川県)
- ・公園の遊具閉鎖が科学的根拠に基づくものなのかどうか、エビデンスを示してほしい。納得がいかない(未就園、東京都)
- ・外遊びは具体的にどのような内容なら大丈夫なのか(小2女子、東京都)
- ・外出制限の方法ではなく、行ける場所ややっていい事は何かを知りたい。(高3、愛知県)

[こどもにわかりやすい説明の仕方]

- ・簡単な言葉を少しずつ理解し始めた1歳児にこの状況をどのように説明すべきか、専門家に教えてほしい。(未就園女子)
- ・こどもに、今後の見通しをどう話せば良いか(年少女子、東京都)

[保育園の先生やお友だちとのオンラインでのつながり]

- ・自分だけならまだしも、お友達と遊んだり人間関係を構築し始める時期にそれを絶たないといけないのがつらい。オンラインで保育園のお友達と話せたりできると良いのだが…。(年少女子、愛知県)
- ・登園自粛中の保育園からの子どもへの電話などのサポート (年中男子、愛知県)
- ・オンラインで良いので保育園の先生と子どもとのやり取りの場(年中)女子、埼玉県)

[小さなこどもへの予防行動のさせかた]

- ・イヤイヤ期でなかなか言うことを聞かない時期の子供の感染予防のさまざまな方法。(年少男子、福岡県)
- ・0歳児の赤ちゃんのコロナウイルスの感染予防の方法 (未就園女子、長野県)

[家でこどもだけで過ごすことへの不安]

- ・子どもだけの留守番は安全でなく、地震や犯罪が心配です(小5男子、茨城県)
- ・留守の間の子供達はどう過ごしているのか。学校に行ってくれている方が安心できる(中1男子、新潟県)

[学校とのつながり]

- ・中学からの連絡や指示が乏しくて、放っとかれているように感じる。もう少し自分の学校の生徒たちに対して、気遣いやアクションがないものかとイライラしている(中3男子、大阪府)
- ・休校中の学校からのサポート。休校の3ヶ月間、月に2回の登校日があるだけです。子どもはやはり学校を通して社会と繋がっているのです、学校からのサポートが必要だと思います。(小6男子、群馬県)

[学習支援]

- ・オンライン授業など学習の機会。塗り絵 20 枚程度渡されて終わり。家庭学習をしているので学力面で心配はないけれど、学校には何も期待できないなど失望しています。(小1男子、東京都)
- ・子供の学習を見てくれる取り組み(小1男子、京都府)
- ・登校が再開した時に、学力の差が家庭での関わりによってどのくらい違ってくるのか、休校分の学習をどのペースで進めていくのか、ゆっくりペースの子なので、ついていけるか心配。(小3男子、長野県)
- ・親が休業であれば子供の家庭学習をみてやることもできるが、学校の預かりや児童クラブにやる場合は学習指導が無いので子の学習をどのように支えれば良いのか分からない(小2男子、京都府)

【親が COVID-19 に感染した場合に関する情報・支援】

- ・自分や家族が感染した場合どう行動すればいいか、こどもだけ感染していない場合どうすればいいか知りたい（未就園女子、愛知県）
- ・子どもの祖父母と同居していますがひとり親なので自分が感染したときに備えておくべきことを相談したいです（年中男子、福岡県）
- ・親が感染したときの子供の生活支援など詳しい事（小3女子、東京都）

【子が COVID-19 に感染した場合に関する情報・支援】

- ・子供だけがコロナにかかったときに親も一緒に入院できるのか（年少男子、神奈川県）
- ・親が陰性、子が陽性だった場合、子だけの入院生活になるのか？ひとりきりで入院生活出来るのか？下の子はまだ3歳なので特に気になる。もし親が付き添いできない場合、看護師さんは付いてくれるのか？（小1男子、富山県）
- ・未就学児が罹患した場合の影響について。（未就園男子、東京都）

【地域の医療機関情報や医療体制に関する情報】

- ・コロナ対応している病院への子供の通院について（年少男子、大阪府）
- ・病気になったときに今までのように受診できる医療機関（中2男子、大阪府）
- ・地域の医療状況（すぐに検査してもらえない・体調が悪くても自宅療養という状況が、子供も同じになってしまうのが非常に心配です。）（小5女子、東京都）

【こどもの健診やワクチンの情報】

- ・乳児の検診や予防接種に行くべきか（小3男子）
- ・比較的喫緊度の低いと思われる定期検診について延期した方がいいのかがわからない。（年中女子）
- ・まだ育児経験が少ない中、今回の騒ぎで集団検診がなくなり、発達相談ができる機会が少なくなっていて困っています。何か刺激を与えなきゃ…と思いつつももうネタ切れでこどもと過ごす時間がつらいです。（未就園男子、東京都）

【経済的な支援やその情報】

- ・経済的な支援はどこまで継続してもらえるのか？スーパーの特売も密になるのを避ける為に無くなり、食費が跳ね上がり、ギリギリ公的支援はしてもらえない家計の人は綱渡り状態です。（高1女子、大阪府）
- ・経済支援についても、毎日3食子供との生活。どこからもお金は出ない。生活が苦しい。生まれてくる子の必要物品も手に入らない。（小2女子、山形県）
- ・仕事がゼロで収入が無いのに子供の習い事は家庭学習なのに普通に月謝がかかり、悩む。（小4女子、神奈川県）

【妊娠・出産に関する支援やその情報】

- ・ 出産前後で家族または私がコロナにかかった場合の支援や相談先（未就園男子、東京都）
- ・ 妊婦が罹患した場合のリスク、胎児への影響、治療の方針（未就園男子、大阪府）
- ・ 妊婦向けの各種情報、里帰り出産について（未就園男子、東京都）
- ・ 助産師訪問などサービスがなくなったので、代替案がほしいです、（未就園男子）

【特別な配慮が必要な子どもへの情報・支援】

- ・ 実際に誰かがコロナにかかった際、障害児を育てている家庭はどこに支援をお願いしたらよいか分からない。（高3女子、神奈川県）
- ・ 自閉スペクトラム症の子供を持つ親はどう対処してるか知りたい。（小6女子、神奈川県）
- ・ 疾患を抱える子どもをもつ親や対応についての情報（中1女子）
- ・ このコロナウイルス休校は、学校に行くことを辛く思っていた ADHD（内服のみ特別支援なし）の我が子には、とても嬉しい休暇となりました。むしろこの時間で回復が出来たと発言しています。ですが今後、いつものペースへ戻そうとする国全体の動きがあると思うので、学校再開をした時にかかるしわ寄せで、再び学校へ行くことが辛くなった時に、うまくその兆候を捉えて、然るべきサポートをする事ができるのか、それがこの先の個人的な課題です。（小5男子、岐阜県）
- ・ 子供が療育に通っているが新型コロナの影響でストップしているので不安です。（年少男子、東京都）
- ・ 健常児でも大変な状況であろう強い自粛要請、発達障害児は本人も家庭ももう限界です。（年長男子、東京都）

【メンタルヘルスを保つための支援やその情報】

- ・ 大人のこころのサポート（小2男子、東京都）
- ・ 家族（大人）がイライラしているときの対処法。（年少男子、埼玉県）
- ・ 親自身の心の健康も不安定で生活がしんどいです（小1男子、神奈川県）
- ・ ストレスコーピング（年少男子、神奈川県）

【自粛期間中後の生活の戻し方の情報】

- ・ コロナ禍が終わった後の日常生活へのスムーズな戻り方（未就園女子、愛知県）
- ・ コロナによって延期している育児休業からの復帰のタイミング、それにより慣らし保育ができるかどうか（未就園女子、兵庫県）
- ・ コロナが落ち着き、再び保育園に通うことを嫌がる子供との向き合い方（年長男子、千葉県）

【社会への貢献の仕方の情報】

- ・近所のレストランへの支援方法、テイクアウト情報（小3男子、神奈川県）
- ・何か社会に貢献できる方法。寄付とかではなく N99 マスクを手作りするとか（年少女子、東京都）
- ・何らかのボランティア、寄付など、自分が地元に対して出来ることがあれば知りたい。（小4男子、東京都）

本調査への意見

そのほか、この調査についてご意見やご要望がありましたら、ご記入ください。

（自由記載）

- ・調査結果がまとまりましたら、ぜひ広く公表してください。お待ちしております。
- ・県によって、子供の影響など大きく違ってくるのでしょうか。感染者数の多い県のアンケート結果等気になるところです。
- ・時間とって回答してるから、きちんとフィードバックしてください
- ・特にないが、集計の結果が知りたい本アンケートでこどもが、親が思っている以上に新型コロナの影響を多く受けて、悩んでいることがわかりました。テレビ番組の選択の際に、不要に報道番組を選ぶことを避けようとおもいました。
- ・こどもを大切に考えているよ、というメッセージをアンケートで感じられ、少し救われました。
- ・先ほど、第二子に子ども向けアンケートをさせてみました。自分のことを表現できて嬉しかったようです。このような機会をありがとうございます。
- ・この調査を通じて、自身や家族の状況や問題点が明らかになり、また対処しなければならぬという動機付けできました。いい機会をいただけてありがとうございます。少しでも改善できたらと思います
- ・お疲れさまです。このアンケートに答えたことで子どもも精神的に不安定かもしれないこと、自分が精神的にダメージを受けているのを自覚しました。自分のケアをしつつ子のケアもできるよう工夫していこうと思います。
- ・敏感で繊細な子どもたちの不安な気持ち、知らずにストレスを溜めていた自分の気持ちに気付かせてもらいました。
- ・少し項目が多かったですが、子どもも頑張って答えてました。見ないでと言いながら。アンケートの後、コロナのことを今まではあまり話さなかったけど、少し話していました。話すきっかけになったと思います。
- ・回答する上で自身を振り返るきっかけとなった。ありがとうございます。この調査が有用な情報となり、困っているおとな、こどもの支援へと繋がることを願い回答致しました。

おわりに

今回の調査で、COVID-19 流行に伴う社会混乱におけるこどもたちの生活や健康の様子を知ることができました。特に、ストレス反応を呈しているこどもたちが少なくなかったことは留意すべき点です。COVID-19 パンデミックはある種の災害と捉えることができますが、過去の大災害において、こどもたちが受ける心理社会的影響は中長期的に続くことが示されています。急性期には目立たなかった影響が、少し時間が経ってから顕在化してくることもあります。今後もし感染が早期に完全に終息して日常が取り戻されたとしても、こどもたちの様子はしばらくのあいだ注意深く見守っていく必要があります。

また、今回の調査にご協力くださった方々の回答が、全国のお子さま・保護者の方の状況を真に反映しているか、という問題も重要です。(回答くださったこどもたちからも、複数鋭いご指摘をいただきました。) より強いストレスや苦しい生活状況に直面しているお子さまや保護者の方には、この調査のご案内が届かなかつたり、ご協力いただけなかつたりした可能性があります。つまり、今回の調査結果は、社会全体を反映していない、もしかしたら過小評価になっているかもしれないことに注意が必要です。

このため、私たちは今後もこの調査を続けていく予定です。調査の結果は速やかに公開し、現場でのこどもたちへのケアや施策提言に活かしていただけるよう努めたいと思います。さらに、前の調査の結果や社会状況を踏まえながら、次の調査を計画・実施していきます。また、お子さまや保護者の声をより多く集め、より多く活かすために、外部の団体との連携・協力を積極的に行っています。こどもたちの声を聴いて、それをこどもたちのために活かすことにご賛同いただける団体様・自治体様のご協力、ご連絡を心よりお待ちしております。

引き続き、【コロナ×こども本部】・【コロナ×こどもアンケート】へのご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月22日

国立成育医療研究センター コロナ×こども本部 一同
co_kodomo@ncchd.go.jp